モバイルデータアダプタPC カード

PCMA-9664P2

取扱説明書

80749-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社PLANT コールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,Mac,Mac OS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Getweb!は、web technology Corp.の商標です。
- cdmaOne は、CDG(CDMA Development Group)の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

PCMA-9664P2　取扱説明書
2000.Sep.11 80749-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール

Ｖｅｒシール

もっと近くへ── More Communication
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.co.jp/support/

●技術的なお問い合わせは専用サポートダイヤルへどうぞ●

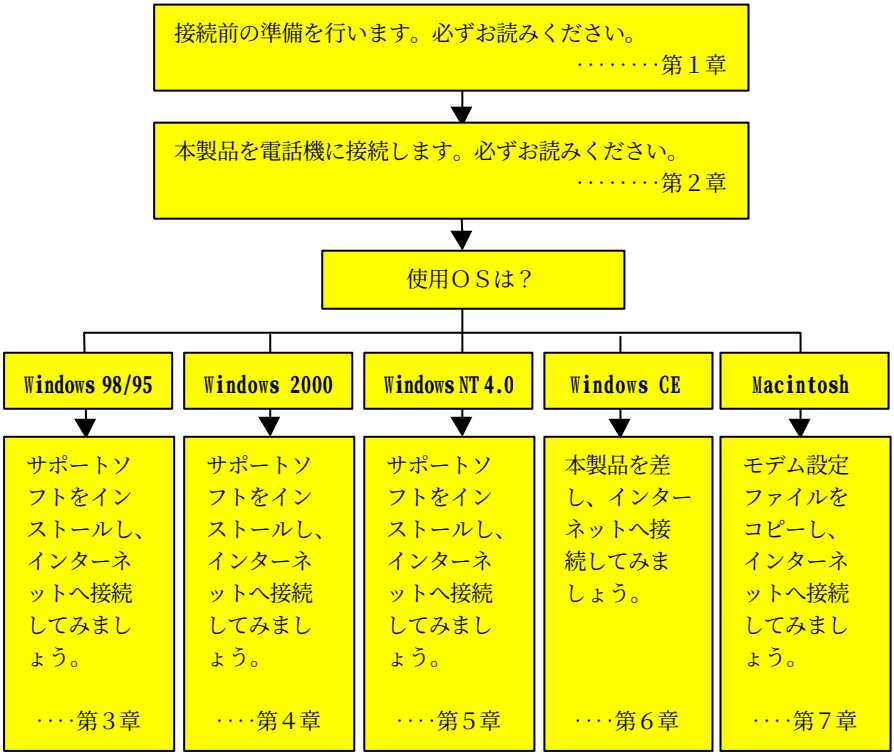
PLANTコールセンター 金 沢／TEL.076-260-3644 FAX.076-260-3360
PLANTコールセンター 東 京／TEL.03-3254-1144 FAX.03-3254-9055
TEL受付時間／9:30～19:00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）

はじめに

このたびは『PCMA-9664P2』をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品はPCカード規格TYPEⅡに準拠したPCカードで、デジタル携帯電話(PDC)、cdmaOne、PHS、H"およびデジタル携帯電話とPHSの複合機（ドッチーモ）で使えるカードモデムです。
ご使用の前に、本書を良くお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

以下のフローに沿って、必要な個所をお読みください。



本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 98/95	Windows 98, Windows 95 の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0
Windows CE	Microsoft® Windows CE® Operating System
Windows	Windows 98, Windows 95, Windows 2000, Windows NT 4.0, Windows CE の総称
CardDock ｼﾘｰｽﾞ	弊社製 CardDock2-EX/DV,IN/DV および CardDock2-EX/98 の総称
電話機	本製品が対応している、携帯電話や簡易型携帯端末（PHS など）の総称
複合機	デジタル携帯電話と PHS の２つの機能を使える電話機（NTT ドコモのドッチーモなど）の総称

はじめに ・・・・・・・・・・・・ i
目次 ・・・・・・・・・・・・・・ iii
本製品のご紹介 ・・・・・・・・ ix

1 ご使用になる前に 必ずお読みください

箱を開けたら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
ユーザー登録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
対応している機種とＯＳ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
注意していただきたいこと・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

2 電話機と接続する 必ずお読みください

各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
接続ケーブルの見分け方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
接続ケーブルを取り付ける・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
電話機と接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１
電話機から接続ケーブルを取り外す・・・・・・・・・・・・ １３

3 Windows 98/95 で使うには

本章の目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５

インストール編（必須）

サポートソフトのインストール・・・・・・・・・・・・・・ １７
インストール終了後の確認と設定・・・・・・・・・・・・・ ３０
使用中に取り外す場合の注意事項・・・・・・・・・・・・・ ３８
インストールした情報を削除する場合・・・・・・・・・・・ ４０

インターネット編

インターネットを楽しむまでの手順・・・・・・・・・・・・ ４２
必要なソフトウェアの確認・・・・・・・・・・・・・・・・ ４３
ダイヤルアップネットワークの設定・・・・・・・・・・・・ ４４
インターネットを楽しもう・・・・・・・・・・・・・・・・ ５０

添付ソフト編

回線モニターを使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５４

4 Windows 2000 で使うには

本章の目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５９

インストール編（必須）

サポートソフトのインストール・・・・・・・・・・・・・・ ６１
インストール終了後の確認と設定・・・・・・・・・・・・・ ６６
使用中に取り外す場合の注意事項・・・・・・・・・・・・・ ７３
インストールした情報を削除する場合・・・・・・・・・・・ ７６

インターネット編

インターネットを楽しむまでの手順・・・・・・・・・・・・ ８１
ダイヤルアップ接続の設定・・・・・・・・・・・・・・・・ ８２
インターネットを楽しもう・・・・・・・・・・・・・・・・ ９１

5 Windows NT 4.0 で使うには

本章の目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９５

インストール編（必須）

サポートソフトのインストール・・・・・・・・・・・・・・ ９７
インストール終了後の設定・・・・・・・・・・・・・・・ １０１

インターネット編

インターネットを楽しむまでの手順・・・・・・・・・・・ １０７
ダイヤルアップネットワークのインストール・・・・・・ １０８
ダイヤルアップネットワークの設定・・・・・・・・・・・ １１１
インターネットを楽しもう・・・・・・・・・・・・・・・ １１６

6 Windows CE で使うには

本章の目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１９

接続編（必須）

パソコンへ接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２０

インターネット編

インターネットを楽しむまでの手順・・・・・・・・・・・ １２１
リモートネットワークの設定・・・・・・・・・・・・・・ １２２
インターネットを楽しもう・・・・・・・・・・・・・・・ １２５

7 Macintosh で使うには

本章の目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２７

インストール編（必須）

必要なファイルをコピーする・・・・・・・・・・・・・・ １２９
パソコンへ接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３０
インストールした情報を削除する場合・・・・・・・・・・ １３１

インターネット（Mac OS）編

インターネットを楽しむまでの手順・・・・・・・・・・・ １３２
[インターネット接続アシスタント]での接続手順・・・・ １３４
PPP ダイヤラでの接続手順 ・・・・・・・・・・・・・・ １４１

インターネット（漢字Talk）編

インターネットを楽しむまでの手順・・・・・・・・・・・ １４８
接続のための設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４９
インターネットを楽しもう・・・・・・・・・・・・・・・ １５９

8 付　録

困ったときには＜目次＞・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６２
困ったときには＜内容＞・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６４
サービス品（添付ソフト）について・・・・・・・・・・・・ １７９
追加設定が必要な場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８２
ハードウェア仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８４
用語解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８６

PLANT コールセンターへのお問い合わせ・・・・・ １８８
サービス品に関するお問い合わせ・・・・・・・・ １８９
サポートソフトのバージョンアップ・・・・・・・ １９０
保証について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９１
修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９２

本製品のご紹介

● あらゆる電話機に対応した、４種類のケーブルを標準添付

PDC方式のデジタル携帯電話はもちろん、cdmaOne方式の携帯電話、PHS、H"（エッジ）端末、ドッチーモなど、対応電話機は多彩です。４種類のケーブルを標準添付しているので、種類の違う電話機を使い分けている場合でもＯＫ。電話機に応じたケーブルを選び、通信アダプタに差し込むだけです。
（※アナログ方式の電話機ではご使用いただけません）

● Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows CE、Macintosh対応

● 高速モバイル通信を実現

PDC方式の携帯電話では：最大28.8Kbpsのパケットデータ通信（ドコモパケットデータ通信サービス使用時）
最大9600bpsのデータ通信
最大9600bpsのG3 FAX通信※1

cdmaOne方式の携帯電話では※3：最大64Kbpsのパケットデータ通信※2
（PacketOne使用時）
最大14.4Kbpsのデータ通信

PHS、H"端末では※3：最大64Kbpsのデータ通信

※1：Macintoshでは、FAX通信には対応しておりません。
※2：Macintoshでは、cdmaOneのパケット通信には対応しておりません。
※3：cdmaOne方式の携帯電話、PHS、H"端末は、FAX通信に対応しておりません。

● 通信を楽しくするソフトウェアを多数添付

□ 通信中の状況が一目でわかる「回線モニター」（Windows 98/95対応）
通信速度はもちろん、今月累計時間など、細かい情報が一目で確認できるソフトウェアです。インターネットのお供に。

□ ベストセラーFAXソフト「まいと～くFAX 2001 Lite」

（Windows 98,Windows 95[OSR2以降],Windows 2000,Windows NT 4.0対応）

パソコン上で作成した文書やイラストを印刷しなくても、ダイレクト＆簡単に相手ファックスに送信できます（PDC方式携帯電話使用時のみ）。

□ ホームページ自動ダウンロードソフト「Getweb!」

（Windows 98/95,Windows 2000,Windows NT 4.0対応）

見たいホームページのURLを指定しておくだけで、自動的にダウンロードしてくれます。電話回線を切ってからゆっくりとホームページが閲覧できるので、電話料金の節約には欠かせないソフトです。

□ 「10円メールマスター」（Windows 98/95対応）

NTTドコモの電話機と接続し、パソコン上から10円メールを利用するためのソフトウェアです。

□ Lotus NOTESのモデム設定ファイル（Windows 98/95対応）

Lotus NOTESでモバイル通信を行うための設定ファイルを添付。指定フォルダにコピーし、簡単な設定を行うだけです。

注意！

1．「10 円メールマスター」を使用するには、マスターネット（株式会社ゼロ）との契約が必要です。

2．本製品は、Macintosh 用として、モデム設定ファイル（Apple Remote Access CCL ファイル）およびドライバソフトのみ添付しております。通信ソフトウェアなどのアプリケーションは添付しておりませんので、別途ご用意ください。

■ATコマンド準拠

□ Hayes社のATコマンドを採用。市販の通信ソフトを利用できます。

注意！

本書にはＡＴ コマンドの使い方については記述しておりません。ＡＴ コマンドに関しては、「サポートソフト」CD-ROM ディスク内のmanual フォルダ内のReadme.txt ファイルを参照してください。

1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

P2　箱を開けたら

箱の中に入っているものを確認してください。

P3　ユーザー登録

ユーザー登録の方法を説明してありますので、必ず、登録をお願いします。

P4　対応している機種とＯＳ

対応機種や対応OSについて説明します。本製品を接続する前に、ご使用のパソコンがこれらの条件を満たしているか確認してください。

P6　注意していただきたいこと

接続時や使用時に、してはいけないことなどを説明しています。必ずお読みになり、安全で快適にご使用ください。

箱を開けたら

中身を確認してください

内容物	詳細	個数
PC カード通信 アダプタ	本体	1 個
電話機接続用 ケーブル	ケーブル長約 50cm 各ケーブルの見分け方は 8 ページ参照	4 本
サポートソフト （CD-ROM）ディスク	PCMA-9664P2 サポートソフト （「Getweb!」「10 円メールマスター」等含む）	1 枚
その他	取扱説明書（本書）	1 冊
	「まいと～く FAX 2001 Lite」CD-ROM ディスク	1 枚
	ハードウェア保証書	1 枚
	ユーザー登録カード	1 枚
	Ver シール	2 枚
	ハードウェアシリアル No.シール	1 枚
	安全で快適にお使いいただくために	1 冊

万が一、不足品がございましたら、弊社 PLANT コールセンターまでご連絡ください。

注意！

1．箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

2．本製品には、Macintosh 用としてモデム設定ファイル（Apple Remote Access CCL ファイル）のみ添付しております。通信ソフトウェアなどのアプリケーションは添付しておりませんので、別途ご用意ください。Macintosh のFAX 通信には対応しておりません。）

ユーザー登録

弊社では、「サポートソフト」のバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに以下の手順で必ず登録を行ってください。

1 添付のVerシールを貼ってください。

ユーザー登録カード、本書の巻末に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 ● オンライン登録する場合（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を入力して、ユーザー登録を行ってください。

※ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

● ハガキで登録する場合

ユーザー登録カードに必要事項をご記入の上、弊社まで必ずご返送ください。

注意！

1.ユーザー登録の際、必要事項の入力漏れ（ユーザー登録カードの場合は、必要事項の記入漏れやシールの貼り忘れ等）があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

2.ハガキでの登録については、登録完了の通知は行っておりません。

対応している機種とＯＳ

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

■Windows■

対応機種	PC CARD 規格 TypeⅡ以上の PC カードスロットを持つ以下の機種 ● NEC PC98-NX シリーズ ● DOS/V マシン※1 ● NEC PC-9821 シリーズ（PC-9821Ne を除く） ● 弊社製 PC カードアダプタボード CardDock シリーズが使用できる機種※2
対応 OS （日本語版）	Windows 98（Second Edition 含む）， Windows 95， Windows 2000， Windows NT 4.0※3
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要。

※1　弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。

※2　CardDock2-EX/DV,IN/DV は Windows 2000 でご利用いただくことはできません。CardDock2-EX/DV,IN/DV,EX/98 は Windows NT 4.0 でご利用いただくことはできません。

※3　環境によっては、パソコンに付属の PC カードドライバをインストールする必要があります。詳細については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ハンドヘルドPC■

対応機種	PC CARD 規格 TypeⅡ以上の PC カードスロットを持つ機種
対応 OS （日本語版）	Windows CE 2.0 以降

※　ハンドヘルド PC を長時間ご使用になる場合は、AC アダプタをご利用ください。

■Macintosh■

対応機種	PC CARD 規格 TypeⅡ以上の PC カードスロットを持つ Macintosh シリーズ
対応 OS	漢字 Talk 7.5.1 以降, Mac OS 7.6 以降
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要。

■対応電話機■

下記の「注意」も合わせてご参照ください。

デジタル携帯電話	NTT ドコモ	●PDC 方式デジタル （800MHz、1.5GHz タイプ：201HYPER 以降） ●ドコモパケットデータ通信サービス ●ドッチーモ
	au	●PDC 方式デジタル ●cdmaOne 方式デジタル
	J-PHONE	●PDC 方式デジタル
	ツーカー	●PDC 方式デジタル
PHS	NTT ドコモ	●PIAFS 32K/64Kbps ●ドッチーモ
	アステル	●PIAFS 32Kbps
	DDI ポケット	●PIAFS 32K/64Kbps （H"端末、α-DATA32 対応電話機）

注意！

1．アナログ方式の携帯電話ではご使用いただけません。

2．一部の機種の電話機では正常に動作しない場合があります。動作確認済機種リスト（ダイヤルアップ接続検証済みプロバイダ一覧）を弊社ホームページで公開しておりますので、ご確認ください。

[URL]http://www.iodata.co.jp/products/network/

3．FAX 送信時は、相手FAX が自動切換タイプ※の場合、切換が出来ず、送信が失敗してしまう場合があります。相手FAX を自動着信に変更してもらってからFAX 送信してください。※FAX 側で、FAX/電話を自動で判別する設定になっています。

注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。
ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

1）以下の注意事項を守ってお使いください。

- 本製品は次のような場所で使用しないでください。
  - ・腐食性ガス（Cl_2,H_2S,NH_3,SO_2,NO_xなど）の多い場所
  - ・静電気の影響が強い場所
  - ・「安全で快適にお使いいただくために」に記載されている使用禁止場所
- 電話機の電波が弱い地域では正常にデータ通信できない場合があります。接続するときは電波の強い状態を確認してから行ってください。
- 本製品はアナログ方式の携帯電話ではご使用になれません。
- Macintoshでは、FAX通信には対応しておりません。
- Macintoshでは、cdmaOne方式のパケット通信には対応しておりません。
- １台のパソコンに本製品を複数個接続して使用することはできません。
- cdmaOne方式の携帯電話、PHS、H"端末は、FAX通信に対応しておりません。

2）本製品の内部の修理は弊社修理係にご依頼ください(192ページ参照)。
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

2 電話機と接続する

この章では、本製品を電話機に接続する方法を説明します。本書の図を見ながら、作業を行ってください。
なお、この章ではまだ本製品とパソコンは接続しません。

P8　各部の名称

本製品の各部の名称を説明します。

P8　接続ケーブルの見分け方

本製品には接続ケーブルが４本付いています。接続する電話機によって、使用する接続ケーブルが異なりますので、必ずご確認ください。

P10　接続ケーブルを取り付ける

使用する電話機に対応した接続ケーブルを本製品に接続する方法を説明します。

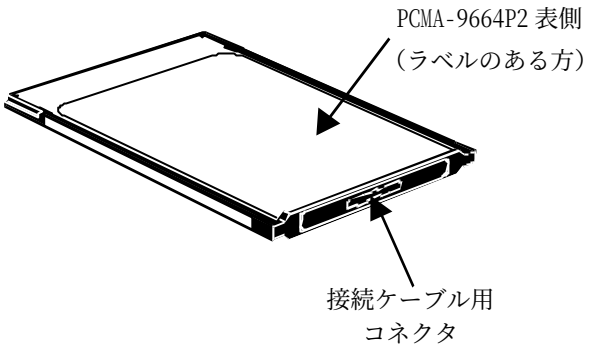
P11　電話機と接続する

本製品を電話機に接続します。電話機側の接続コネクタの位置は電話機によって異なりますので、電話機の取扱説明書も合わせて参照してください。

P13　電話機から接続ケーブルを取り外す

電話機に接続したケーブルを取り外す方法を説明します。

各部の名称

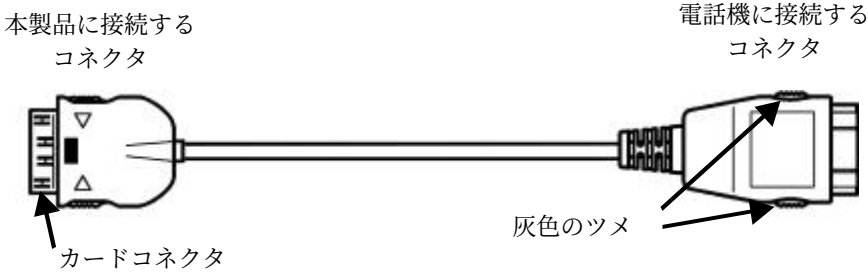


接続ケーブルの見分け方

本製品には接続ケーブルが４本添付されております。使用する電話機によって、接続ケーブルが異なりますので、必ず、確認してください。
接続ケーブルは、コネクタの形状で見分けることができます。

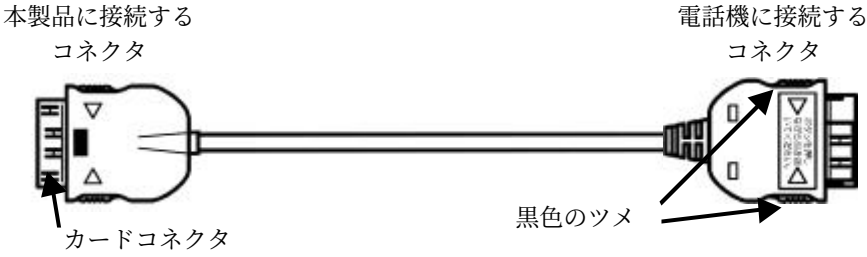
■ PDC方式の携帯電話、ドッチーモ、ドコモパケットデータ通信サービス対応電話機の場合

コネクタの左右に灰色のツメがついているものをお使いください。



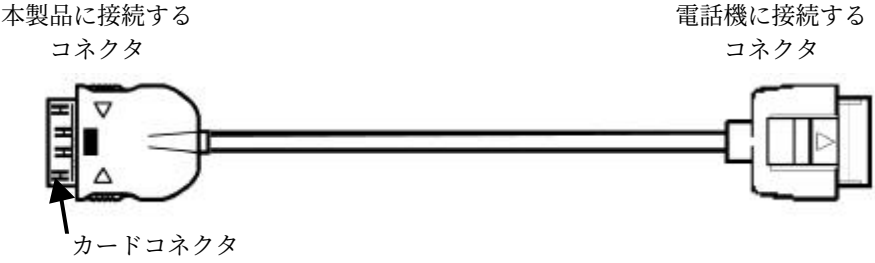
■ cdmaOne方式の場合

コネクタの左右に黒色のツメがついているものをお使いください。
PDC 方式用の接続ケーブルとコネクタの形状が似ていますが、cdmaOne 方式の接続ケーブルの方が電話機側のコネクタが小さく、左右のツメは黒色です。



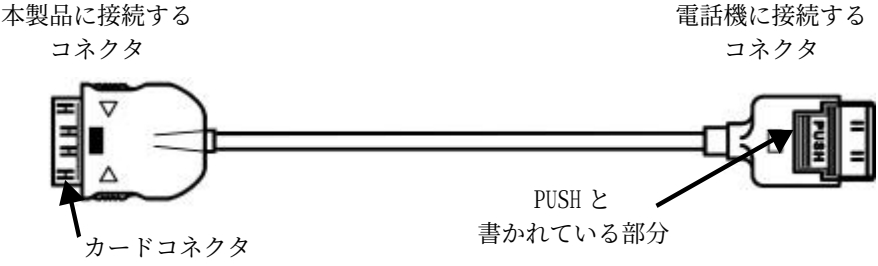
■ PHS（NTTドコモ、アステル）の場合

少し広めのコネクタのついているものをお使いください。



■ H"&α-DATA32対応電話機（DDIポケット）の場合

コネクタに「PUSH」と書かれているものをお使いください。



接続ケーブルを取り付ける

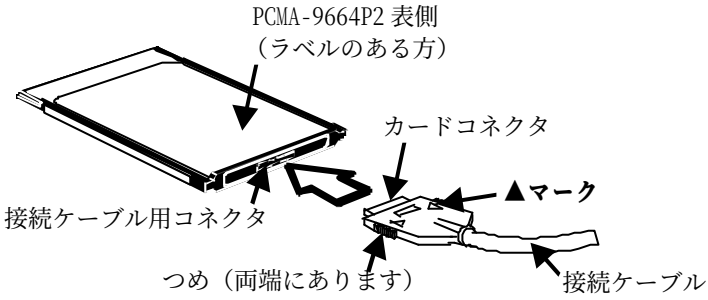
使用する電話機に合った接続ケーブルが確認できましたら、その接続ケーブルを本製品に接続します。

■ 本製品に差し込む方のコネクタは

【接続ケーブルの見分け方】(8 ページ)を参照し、本製品に接続するコネクタを確認します。

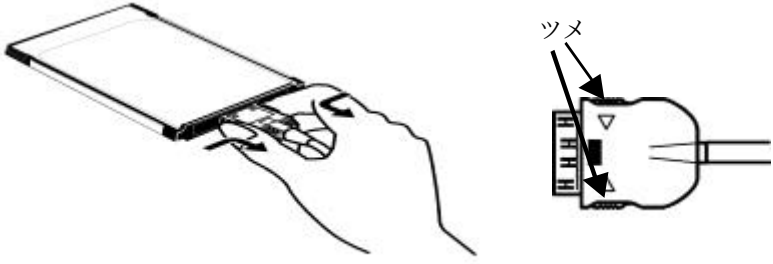
■ 本製品に差し込むには

本製品の接続ケーブル用コネクタに、接続ケーブルのカードコネクタを接続します。専用ケーブルのカードコネクタは、▲マークがある方が上です。
専用ケーブルを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。入りにくいときは無理な力で挿入せず、ケーブルの種類やコネクタの向きを確認してください。



■ 本製品から取り外すには

コネクタ左右の黒いツメを押しながら、まっすぐに引き抜きます。



電話機と接続する

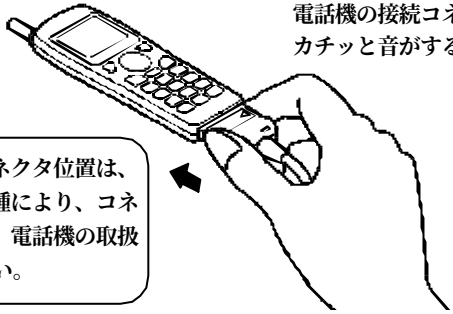
電話機と本製品を接続しましょう。ここでは、まだ本製品をパソコンのPCカードスロットには挿入しないでください。

1 電話機の接続コネクタに付いているカバーを開けます。

電話機の接続コネクタの位置は、電話機の取扱説明書をご参照ください。
カバー部分が取り外せる場合、カバーをなくさないように保管してください。

2 電話機の接続コネクタに、本製品に取り付けたケーブルを接続します。

カチッと音がするまで差し込んでください。入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向きや裏表を確認してください。



注意！

1. **本製品と電話機を接続する場合は、コネクタの向きや裏表に注意してください※。向きや裏表が違ったまま、無理に差し込むと、故障の原因になります。電話機によってコネクタの位置や向きが異なりますので、電話機の取扱説明書で必ず確認してください。**
   ※H"の場合、(電話機に対し)付属ケーブルの「push」ボタンを必ず裏側にして接続してください。
2. **電話機から接続ケーブルを取り外す場合は13 ページを参照してください。**

次は、パソコンへのインストールです（電話機の電源は、入っている状態でも切れている状態でもかまいません）。インストールはご使用の環境によって異なりますので、必要なページを参照してください。

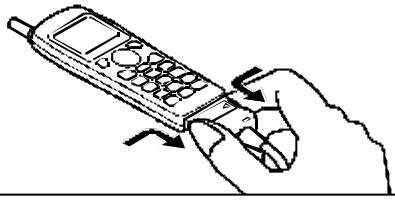
- Windows 98/95で使用する場合:【Windows 98で使うには】（15ページ）～
- Windows 2000で使用する場合:【Windows 2000で使うには】（59ページ）～
- Windows NT 4.0で使用する場合:【Windows NT 4.0で使うには】（95ページ）～
- Windows CEで使用する場合:【Windows CEで使うには】（119ページ）～
- Macintoshで使用する場合：【Macintoshで使うには】（127ページ）～

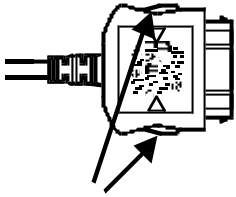
電話機から接続ケーブルを取り外す

電話機から接続ケーブルを無理に取り外そうとすると、接続ケーブルやコネクタを傷める原因となります。取り外す場合は、必ず、下記の通りに行ってください。

■ PDC方式の携帯電話、ドッチーモ、ドコモパケットデータ通信サービス対応電話機の場合

コネクタの左右にある、灰色のツメを押しながら、まっすぐに抜いてください。



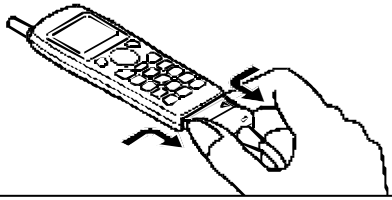


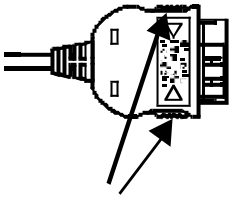
灰色のツメ

このイラストの接続コネクタ位置は一例です。電話機の機種により、コネクタの位置や向きが異なります。

■ cdmaOne方式の携帯電話の場合

コネクタの左右にある、黒色のツメを押しながら、まっすぐに抜いてください。





黒色のツメ

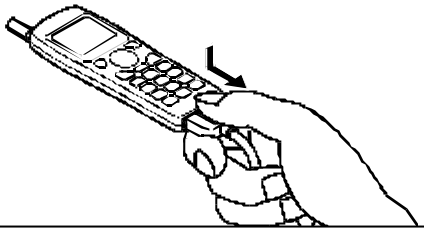
このイラストの接続コネクタ位置は一例です。電話機の機種により、コネクタの位置や向きが異なります。

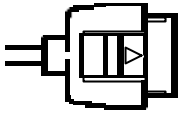
注意！

本製品を取り外す場合は、コネクタ左右のツメを押しながら、まっすぐに引き抜いてください。ツメを押さずに無理に引き抜くと、接続ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

■ PHS（NTTドコモ、アステル）の場合

まっすぐに抜いてください。



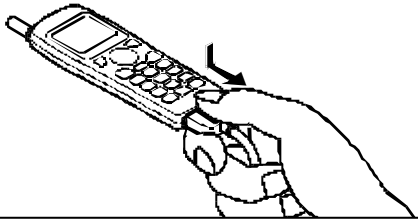


このイラストの接続コネクタ位置は一例です。電話機の機種により、コネクタの位置や向きが異なります。

■ H"&α-DATA32対応電話機(DDIポケット)の場合

コネクタの「PUSH」と書かれた部分※を押しながら、まっすぐに抜いてください。

※H"の場合、（電話機に対し）付属ケーブルの「push」ボタンは裏側になります。



PUSH
と書かれている部分

このイラストの接続コネクタ位置は一例です。電話機の機種により、コネクタの位置や向きが異なります。

注意！

本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（ボタンを押しながら）まっすぐに引き抜いてください。PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、接続ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

3 Windows 98/95 で使うには

この章では、本製品を Windows 98/95 で使用する場合のインストールからインターネット接続までの方法を説明します。

インストール編（必須）

本製品を Windows 98/95 で使用するときは、必ず、行ってください。

P17　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。

P17　Windows 98 へのインストール
P22　Windows 95 へのインストール

P30　インストール終了後の確認と設定

正しくインストールできたかどうかの確認と、モデムの設定を行います。

P38　使用中に取り外す場合の注意事項

Windows 98/95 を使用中に本製品を取り外す方法を説明します。

P40　インストールした情報を削除する場合

本製品のサポートソフトを再インストールする場合には、インストールした情報を削除します。ここではその方法を説明します。

インターネットに接続するまでの方法を説明します。インターネットを使わないときや、接続経験者は読み飛ばしても結構です。

P42　インターネットを楽しむまでの手順

インターネットへ接続する場合に、必要な作業の流れを説明します。

P43　必要なソフトウェアの確認

インターネットへ接続するために必要なソフトウェアを確認します。

P44　ダイヤルアップネットワークの設定

インターネットを行うときに必要な設定を行います。

P50　インターネットを楽しもう

実際に本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

添付ソフト編

本製品にはいろいろなソフトが添付されています。ここでは「回線モニター」の紹介や説明を行います。必要に応じてお読みください。

P54　回線モニターを使う

通信中にリアルタイムで通信時間や通信速度などを表示するユーティリティです。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

ここで説明するインストール作業は、本製品をパソコンにはじめて接続したときだけ行います。使用する電話機に合った接続ケーブルを、本製品に接続してから、インストールを始めてください。(10 ページ【接続ケーブルを取り付ける】参照)

Windows 98 と Windows 95 ではインストール手順が異なります。
以下の該当個所を参照してください。

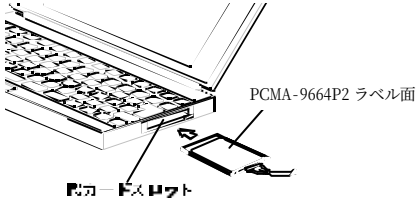
- 【Windows 98 へのインストール】→以下を参照
- 【Windows 95 へのインストール】→22 ページを参照

Windows 98 へのインストール

1 パソコンの電源を入れ、Windows 98 を起動します。

2 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PC カードスロットの奥までしっかりと差し込みます。PC カードスロットの位置はご使用のパソコンの取扱説明書を参照してください。

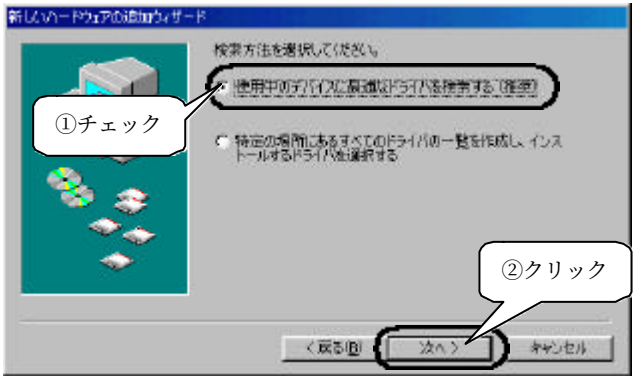


3 しばらくして下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

この画面が表示されない場合は…

【困ったときには】165 ページをご参照ください。

4 [使用中のデバイスに…]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

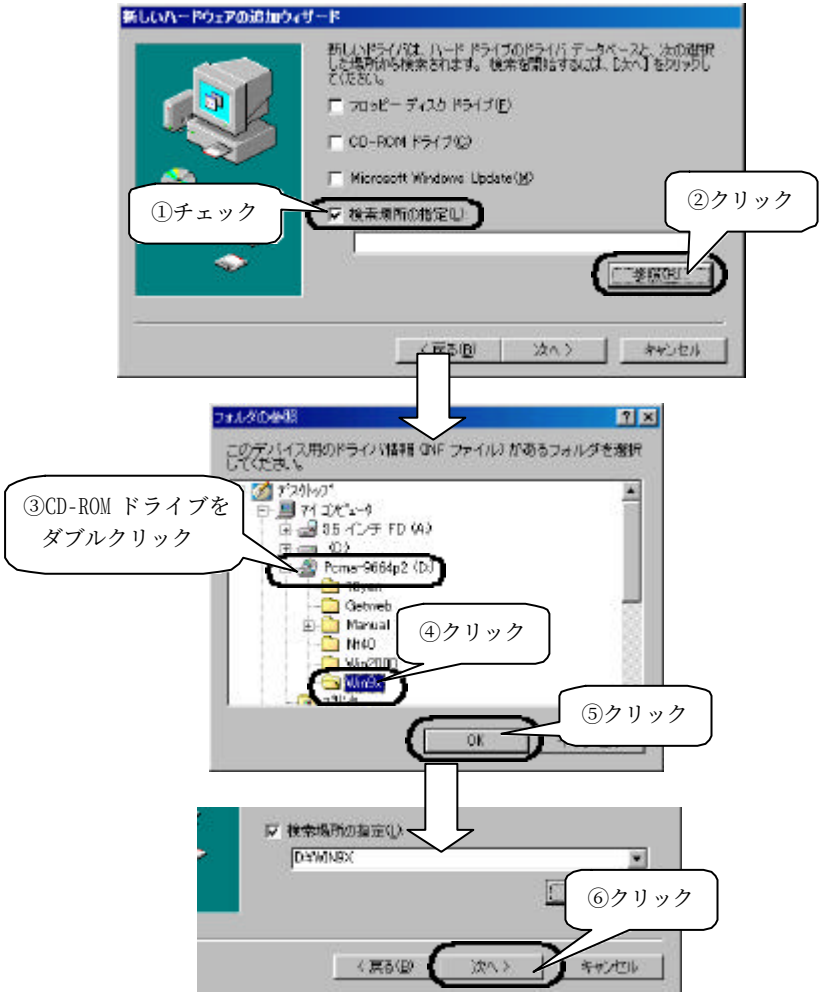


5

「PCMA-9664P2 サポートソフト」CD-ROMを
CD-ROMドライブにセットします。

6

[検索場所の指定]のみにチェックして、[参照]ボタンをクリックします。サポートソフトを挿入したCD-ROMドライブの[WIN9X]フォルダを指定します。最後に[次へ]ボタンをクリックします。

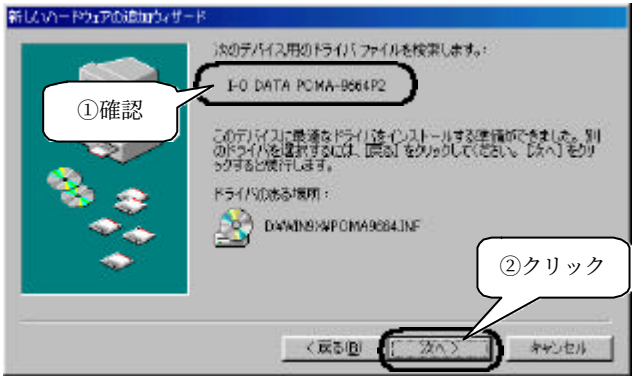


「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」または「指定の場所には…」と表示された場合は…

【困ったときには】166 ページをご参照ください。

7

[I-O DATA PCMA-9664P2]と表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



8

コピーを開始します。
しばらくして、下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。この後、自動的にモデムが追加されます。

9 「PCMA-9664P2 サポートソフト」CD-ROMを抜いてください。

以上で、インストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認し、モデムを設定します。
【インストール終了後の確認と設定】(30 ページ）へお進みください。

注意！

Windows 98 使用中に本製品の動作を終了しないでPC カードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。取り外す際には【使用中に取り外す場合の注意事項】(38 ページ) を参照してください。

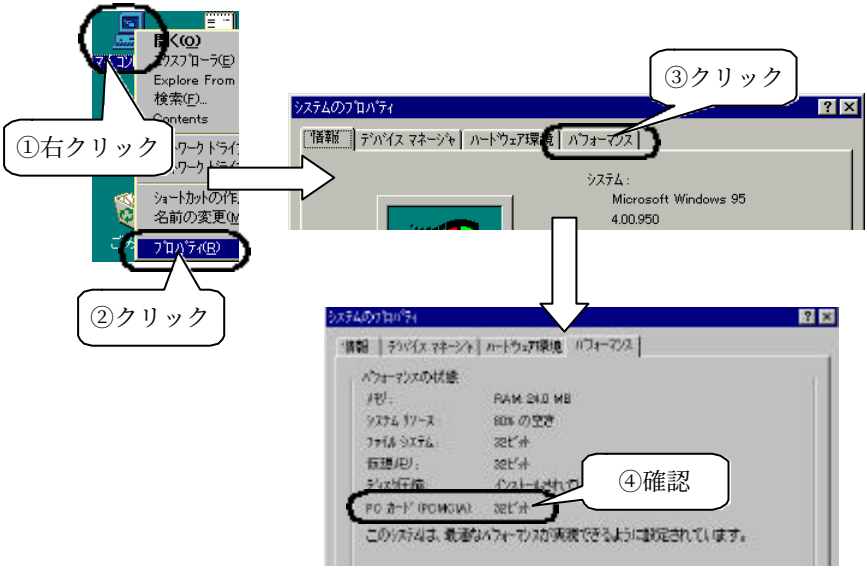
Windows 95 へのインストール

インストールの前に

本製品をパソコンに接続する前に、以下の内容をご確認ください。

■ PC カードのドライバの確認

①［マイコンピュータ］アイコンを右クリックします。
②表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。
③［プロパティ］タブをクリックしてください。
④［PCカード(PCMCIA)］のドライバが32ビットであることを確認してください。



32ビットになっていない場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてこの処理を終了し、［コントロールパネル］の［PCカード（PCMCIA）］アイコンをダブルクリックしてください。
PCカードウィザードが起動されますので、画面の指示に従って実行していただくと32ビットに変わります。

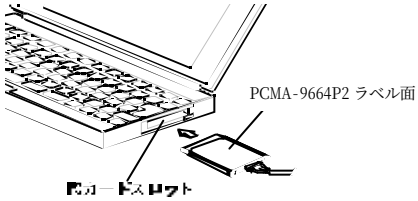
サポートソフトのインストール

ここで説明するインストール作業は、本製品をパソコンにはじめて接続したときだけ行います。使用する電話機に合った接続ケーブルを、本製品に接続してから、インストールを始めてください。（10 ページ【接続ケーブルを取り付ける】参照）

1 パソコンの電源を入れ、Windows 95 を起動します。

2 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PC カードスロットの奥までしっかりと差し込みます。PC カードスロットの位置はご使用のパソコンの取扱説明書を参照してください。



3 ここで表示される画面により、インストール手順が異なります。画面をご確認ください。

「インストール方法-その１-」（次ページ）へ進んでください。

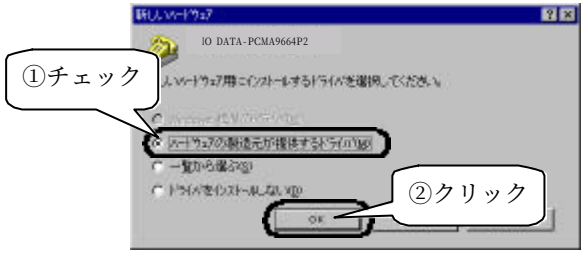
「インストール方法-その２-」（26ページ）へ進んでください。

この画面が表示されない場合は…

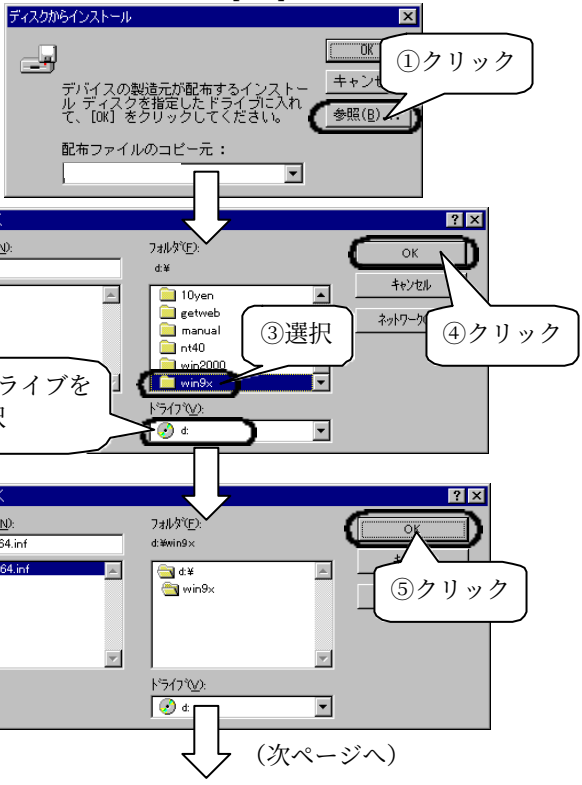
【困ったときには】165 ページをご参照ください。

■インストール方法－その１－

1 [ハードウェアの…]をチェックして、[OK]ボタンをクリックします。

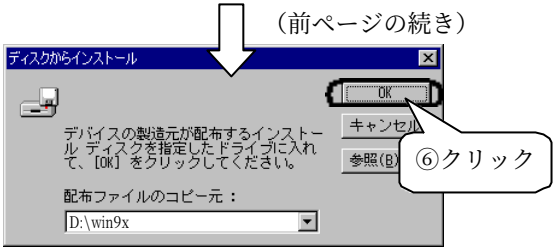


2 「PCMA-9664P2 サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットし、[参照]をクリックして、CD-ROM ドライブ(ここでは D:)内の[WIN9X]を指定します。指定後、[OK]ボタンをクリックします。



（次ページへ）

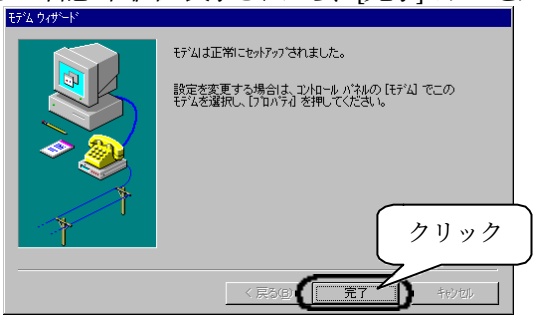
（前ページの続き）



3 コピーを開始します。

初めてモデムのインストールをする場合は、[所在地情報]の画面が表示されることがあります。32 ページ手順 **4**を参照し、必要な情報を設定します。

4 しばらくして下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



5 以上でインストールされますので、しばらくして表示画面が消えたら「PCMA-9664P2 サポートソフト」CD-ROM を抜いてください。

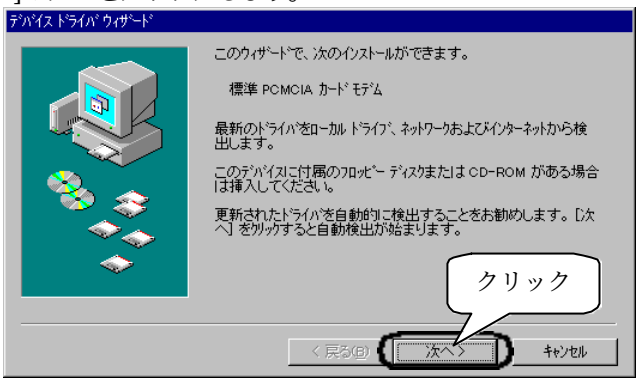
以上でインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認し、モデムを設定します。
【インストール終了後の確認と設定】（30 ページ）へお進みください。

注意！

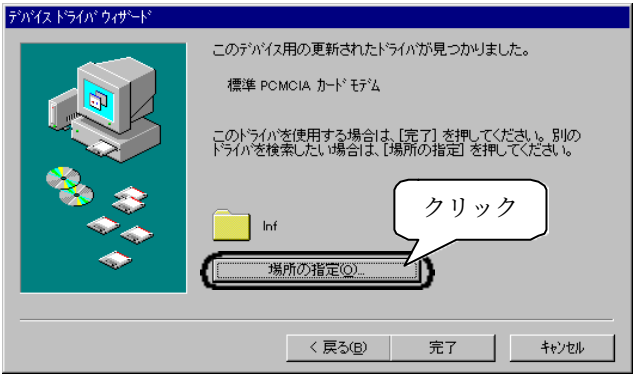
Windows 95 使用中に本製品の動作を終了しないでPC カードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。取り外す際には【使用中に取り外す場合の注意事項】(38 ページ) を参照してください。

■インストール方法－その２－

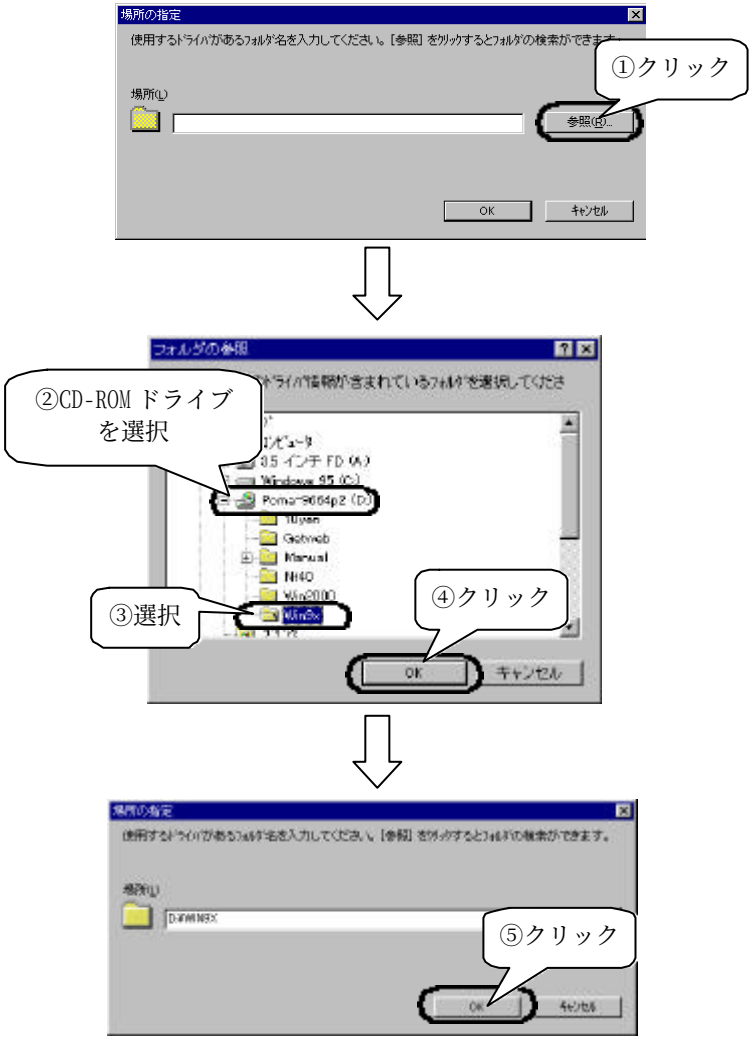
1 [次へ]ボタンをクリックします。



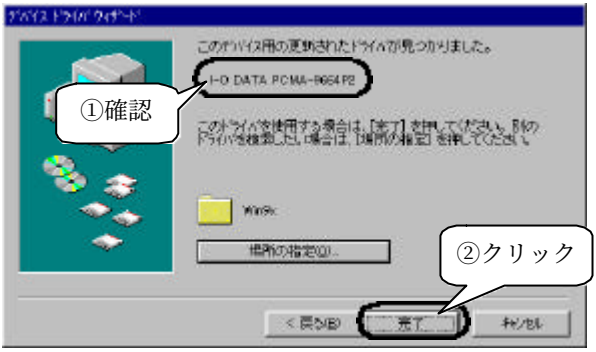
2 以下の画面が表示された場合は、[場所の指定]ボタンをクリックします。



3 「PCMA-9664P2 サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットし、[参照]をクリックして、CD-ROM ドライブ(ここでは D:)内の[WIN9X]を指定します。
指定後、[OK]ボタンをクリックします。



4 [I-O DATA PCMA-9664P2]と表示されることを確認して、[完了]ボタンをクリックします。



「標準 PCMCIA カードモデム」と表示されたときは…

[戻る]ボタンをクリック後 26 ページ手順 **2** から やり直してください。

5 コピーを開始します。

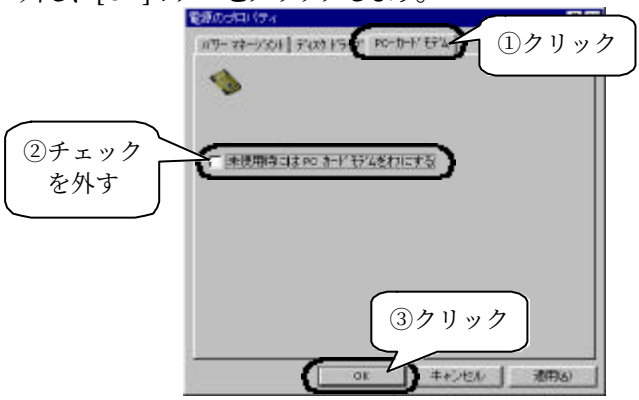
初めてモデムのインストールをする場合は、[所在地情報]の画面が表示されることがあります。32 ページ手順 **4** を参照し、必要な情報を設定します。

6 しばらくして下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

7 以上でインストールされますので、しばらくして表示画面が消えたら「PCMA-9664P2 サポートソフト」CD-ROMを抜きます。

8 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[パワーマネジメント]をダブルクリックします。

9 [PCカードモデム]タブをクリックし、[未使用時には…]のチェックを外し、[OK]ボタンをクリックします。



以上でインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認し、モデムを設定します。
次ページ【インストール終了後の確認と設定】へお進みください。

注意！

Windows 95 使用中に本製品の動作を終了しないでPC カードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。取り外す際には【使用中に取り外す場合の注意事項】(38 ページ) を参照してください。

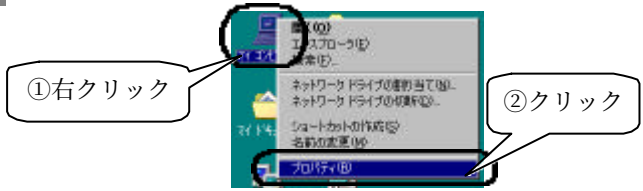
《インストール編》
インストール終了後の確認と設定

インストールが終了したら、本製品がパソコンに正しく認識されたかどうかの確認と、モデムの設定および電話機ごとに必要となる AT コマンドについて説明します。

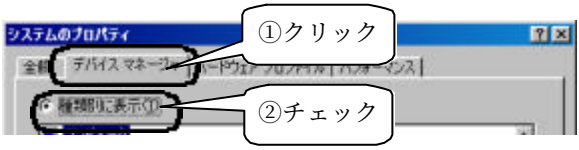
本製品をPC カードスロットに挿入した状態で行ってください。

デバイスマネージャによる確認

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をチェックします。



3 [モデム]をダブルクリックして、
[I-O DATA PCMA-9664P2]が表示されていることを確認します。

「I-O DATA PCMA-9664P2」の先頭に「！」マークが付いていた場合は…

【困ったときには】166 ページをご参照ください。

「I-O DATA PCMA-9664P2」が表示されない場合は…

【困ったときには】167 ページをご参照ください。

4 [OK]ボタンをクリックして、[システムのプロパティ]画面を閉じます。

これで本製品が正しくインストールされていることが確認できました。
次にモデムとしての確認および設定を行います。

モデムの確認と設定

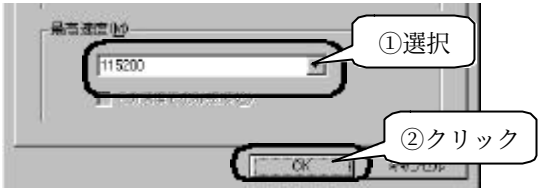
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[モデム]アイコンをダブルクリックします。

2 [I-O DATA PCMA-9664P2]を選択して、[プロパティ]ボタンをクリックします。

3 [最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定し、[OK]ボタンをクリックします。

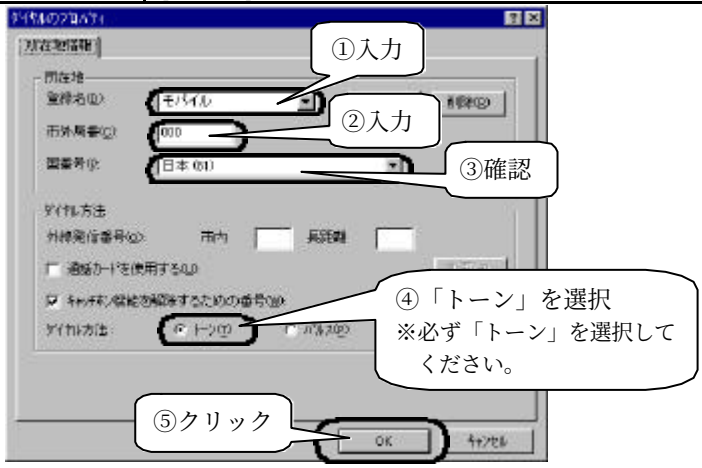
最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（115200bpsが望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

（この速度は回線速度ではなくパソコンと本製品間の速度です。）



4 [ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックし、必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

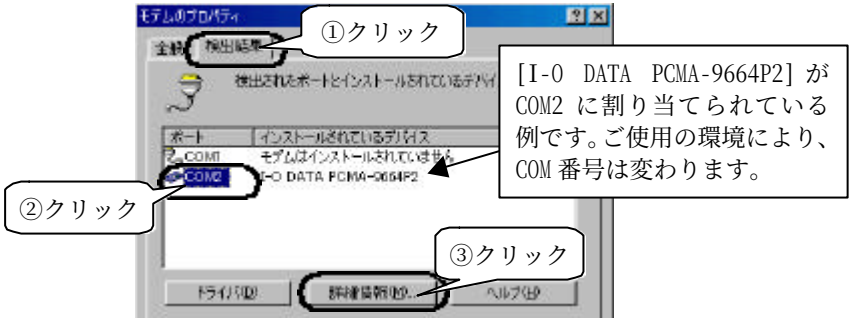
No.	項目	設定内容
①	登録名	任意の登録名を入力
②	市外局番	[000]等存在しない数値を入力 ※携帯電話や PHS は市外局番から発信するので、 このような値を仮に設定しておきます。
③	国名／地域	[日本]であることを確認
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



5

[検出結果]タブをクリックします。[I-O DATA PCMA-9664P2]が表示されているポート（下記例では COM2 の部分）をクリックし、[詳細情報]ボタンをクリックします。

※COM の後の数字はお使いの環境によって異なります。

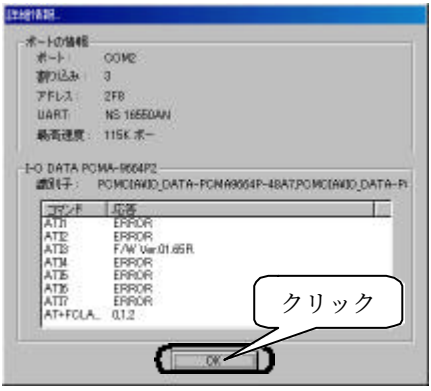


6

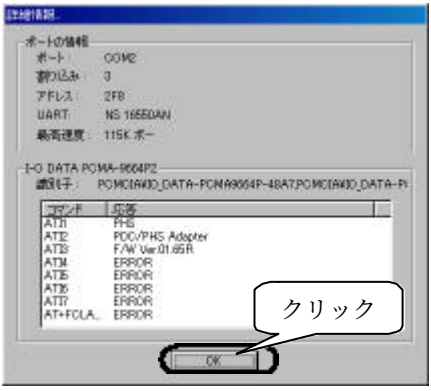
[モデムと通信しています]と表示され、しばらくして下記のように表示されます。確認後、[OK] ボタンをクリックします。

コマンド欄に「AT」から始まる英数字が表示されることを確認してください。表示されたら、本製品は正常に認識されています。

※次ページの「注意」もご覧ください。



デジタル携帯電話・cdmaOne・複合機の場合



PHS・H"の場合

「ポートが開けません」などと
表示された場合は…

【困ったときには】168 ページ
をご参照ください。

注意！

1. **この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、電話機を介して接続するテストではありません。**
2. **ポートの情報には最高速度として[115K ボー](115200bps)と表示されますが、実際の端末速度（パソコンと本製品間の速度）は、32 ページの*3* で指定した速度です。**
3. **応答に[ERROR]と表示される場合がありますが、動作上問題ありません。**

7 [閉じる]ボタンをクリックし、[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。

実際に本製品を使う前に、38 ページからの【使用中に取り外す場合の注意事項】をご参照になり、本製品の正しい取り外し方をマスターしてください。

AT コマンドによる追加設定が必要な場合は…

お使いの電話機や通信方式により、追加設定が必要な場合があります。
以下の場合は必ずご参照ください。

- パケット通信対応電話機（NTT ドコモ 208/209/302 シリーズ、cdmaOne など）を使用する場合
- PHS、H"で 64K/32K の通信方式を替えたい場合
- ドッチーモを使用する場合※

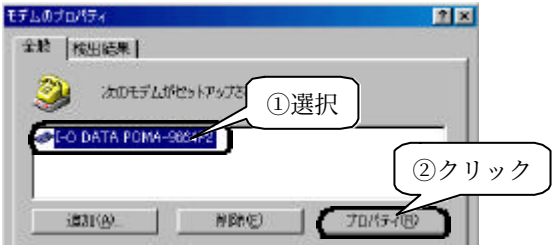
※本製品を使用してドッチーモによる通信をする場合、PDC 方式と PHS は自動的に切り替えることはできません。ここで説明する AT コマンドの入力により切り替える必要があります。

各パターンでの必要な AT コマンドは、182 ページ【追加設定が必要なケース(AT コマンド/電話番号末尾による設定】の「AT コマンド」欄をご参照ください。

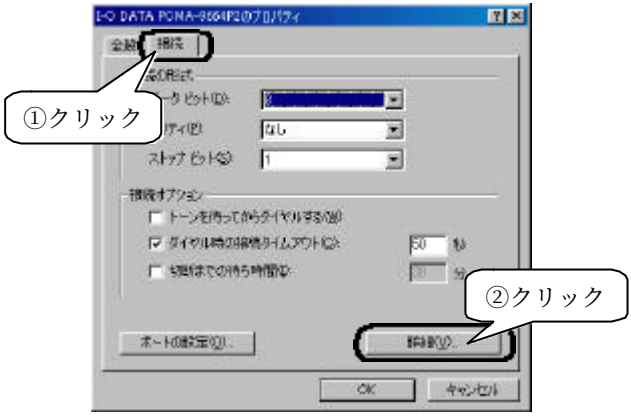
1 【追加設定が必要な場合】(182 ページ）をご参照いただき、必要な追加設定の AT コマンドをご確認ください。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[モデム]アイコンをダブルクリックします。

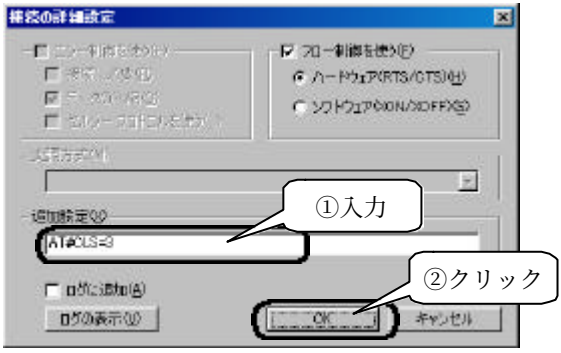
3 [I-O DATA PCMA-9664P2]を選択して、[プロパティ]ボタンをクリックします。



4 [接続]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。



5 [追加設定]欄に必要なATコマンドを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



ドッチーモなどの複合機で、PHS 通信（フォールバックなし）をする場合の例

注意！

1. **[追加設定 欄に入力する文字はすべて半角文字で入力してください。**
2. **[追加設定 欄に入力するAT コマンドの意味や詳細は、サポートソフトCD-ROMのmanual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。**

6 開いている画面をすべて閉じます。

※[キャンセル]ボタンや[×]ボタンで閉じると、入力した追加設定が保存されません。必ず[OK]ボタンで閉じてください。

本製品でインターネットを楽しみたい方のために、42 ページから【インターネット編】を用意しました。インターネットへの接続方法をわかりやすく説明してあります。はじめてインターネットをご使用になる方は是非、ご参照ください。

《インストール編》
使用中に取り外す場合の注意事項

Windows 98/95 を使用中でも本製品を取り外すことができますが、本製品の動作を終了せずに PC カードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

以下のいずれかの方法で取り外してください。

・【取り外し方法　－その１－】（下記）
・【取り外し方法　－その２－】（次ページ）

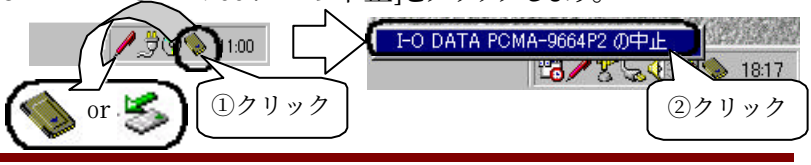
本製品を取り外す場合は、本製品を使用していない（回線切断中である）事を確認してから取り外してください。

注意！

取り外し作業を行うと、実際に本製品を抜かなくても PC カードの動作は終了したとみなされ、本製品は使えなくなります。
再度使いたいときは、いったん本製品を抜いてから再び差し込んでください。

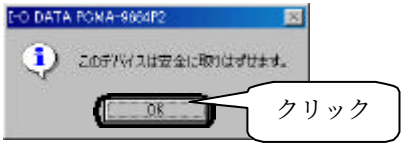
取り外し方法　－その１－

1 画面右下のタスクトレイにある PC カードのアイコンをクリックし、[I-O DATA PCMA-9664P2 の中止]をクリックします。



2 [OK]ボタンをクリックします。

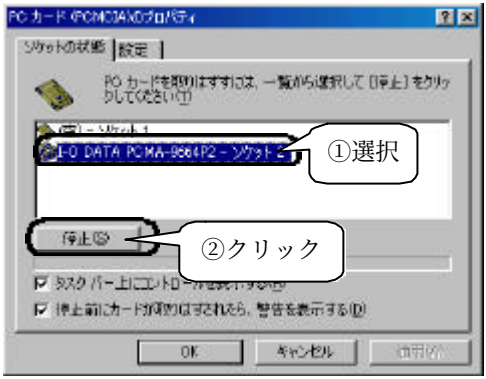
本製品を PC カードスロットから取り外してください。



取り外し方法 －その２－

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[PC カード(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。

2 [I-O DATA PCMA-9664P2]を選択し、[停止]ボタン（Windows 98 の場合）または[終了]ボタン（Windows 95 の場合）をクリックします。



3 [OK]ボタンをクリックします。

本製品を PC カードスロットから取り外してください。

《インストール編》
インストールした情報を削除する場合

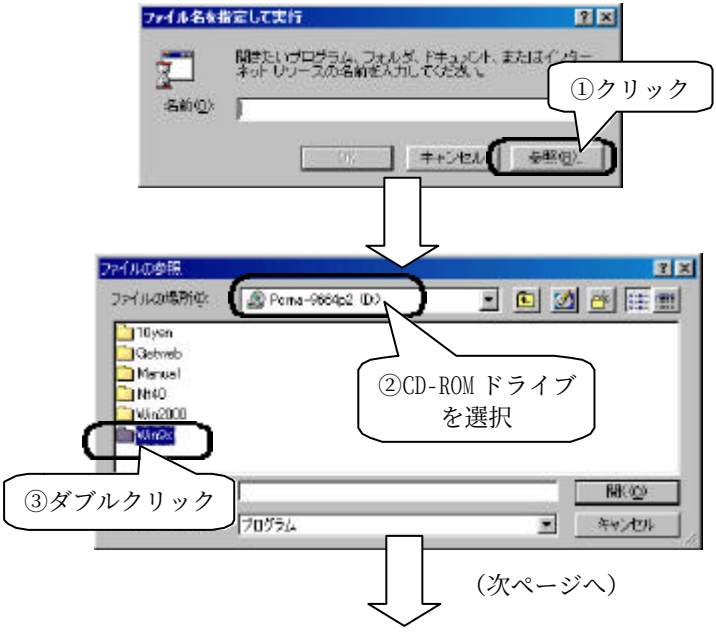
本製品のサポートソフトのインストールをもう１度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

1 本製品が使用中でないことを確認し、パソコンの PC カードスロットから本製品を取り外します。

【使用中に取り外す場合の注意事項】（38 ページ）を参照して取り外します。

2 「PCMA-9664P2 サポートソフト」CD-ROMを CD-ROMドライブにセットします。

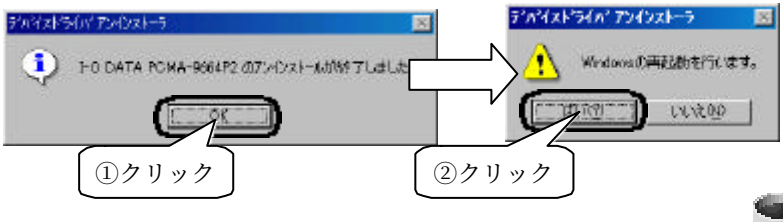
3 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選び、サポートソフトの[WIN9X]フォルダにある[Ddsetup.exe]を起動します。



（前ページより続く）

4 [OK]ボタンをクリックします。

5 アンインストールが終わったら、パソコンを再起動します。



これでアンインストールは完了です。

《インターネット編》
インターネットを楽しむまでの手順

ご使用のパソコンではじめてインターネットを行うときは、下記の手順通り、順番に行ってください。ご使用のパソコンでインターネットを行ったことがある場合は、44 ページ【ダイヤルアップネットワークの設定】から行ってください。

プロバイダと契約する

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。
契約後、接続のためのユーザー名、パスワード、接続先の電話番号などをプロバイダから教えてもらいます。接続にはこれらの情報が必要です。

↓

必要なソフトウェアの確認（43ページ）

契約したプロバイダと接続するときに必要となるソフトウェア「ダイヤルアップネットワーク」および「TCP/IP プロトコル」（ともに Windows 98 標準ソフト）がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、170 ページまたは 172 ページを参照してインストールします。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定（44ページ）

本製品を使ったダイヤルアップネットワークを設定します。
本製品をはじめて使う場合は必ず行ってください。

↓

インターネットを楽しもう（50ページ）

本製品を使ってダイヤルアップし、インターネットへ接続してみましょう。

《インターネット編》
必要なソフトウェアの確認

ダイヤルアップネットワークの確認

1 [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]の中に[ダイヤルアップネットワーク]が表示されることを確認します。

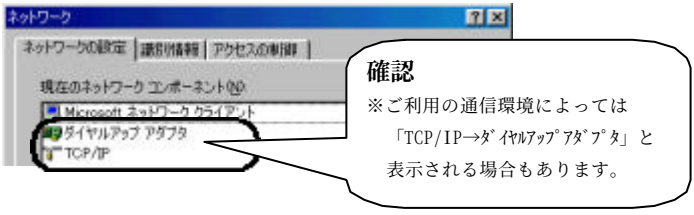
ダイヤルアップネットワークが
表示されない場合は…

【困ったときには】170 ページ
をご参照ください。

TCP/IP プロトコルの確認

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

2 [ダイヤルアップアダプタ]と[TCP/IP]があることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



ﾀﾞｲﾔﾙｱｯﾌﾟｱﾀﾞﾌﾟﾀや TCP/IP が
表示されない場合は…

【困ったときには】172 ページ
をご参照ください。

《インターネット編》
ダイヤルアップネットワークの設定

すでにダイヤルアップネットワークの設定を行っていて、使用するモデムや接続先の電話番号を変更する場合は 48 ページ【設定を変更するとき】を参照してください。はじめてダイヤルアップネットワークの設定を行うとき、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、下記の操作を行います。

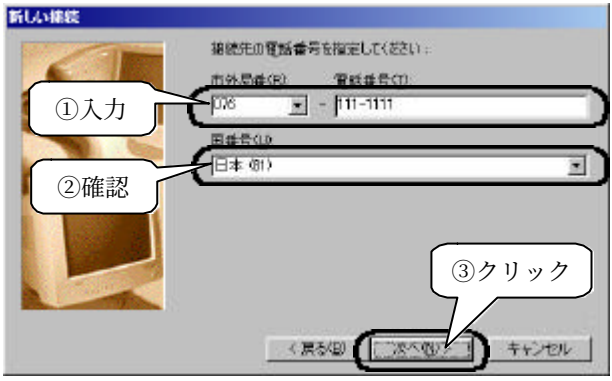
新しい設定を作るとき

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、[新しい接続]アイコンをダブルクリックします。

2 接続名（任意）を指定し、モデムの選択欄から[I-O DATA PCMA-9664P2]を選び、[次へ]ボタンをクリックします。

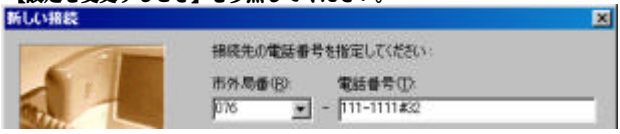
3 接続先（プロバイダ）の電話番号を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

接続先の電話番号については下記の「参考」を必ずお読みください。
また、国名が日本になっていることも確認してください。



参考

1. **設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。**
   ・携帯電話（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき：
   一般のモデムと同じ接続先
   ・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき：PIAFS 32K、64K）対応の接続先
   ・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
   詳しくはプロバイダにお問い合わせください。
2. **お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。182 ページの「■追加設定が必要なケース（AT コマンド/ 電話番号末尾による設定）」をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。「電話番号末尾」欄に設定文字が書かれている場合は、設定文字を下記のように電話番号の末尾に追加してください。**
   なお、追加設定は新しい接続を作成した後でも行うことができます。その場合は、48 ページ【設定を変更するとき】を参照してください。



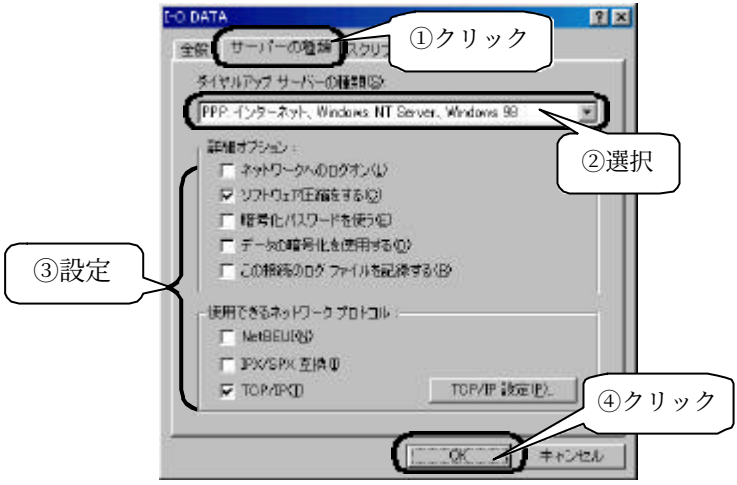
PHS で 32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例

4 下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

新しいアイコンが指定した接続名で作成されます。

5 新しく作成されたアイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

6 [サーバーの種類]タブをクリックし、下記のように設定して、[OK]ボタンをクリックします。



注意！

プロバイダによっては、「TCP/IP 設定」ボタンをクリックし、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、契約したプロバイダにご確認ください。

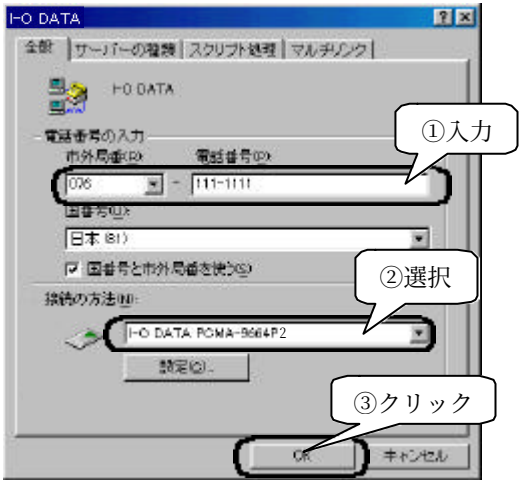
これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。50 ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

設定を変更するとき

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、変更したい接続のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

2 接続先の電話番号を入力し、[接続の方法]に[I-O DATA PCMA-9664P2]を選びます。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

接続先の電話番号については次ページの参考を必ずお読みください。



参考

1. **設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。**
   ・携帯電話（cdmaOne 含む）、ドッチーモでＰＤＣ 通信をするとき：
   一般のモデムと同じ接続先
   ・PHS、H"、ドッチーモでＰＨＳ 通信をするとき：PIAFS（32K、64K）対応の接続先
   ・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
   詳しくはプロバイダにお問い合わせください。
2. **お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。182 ページの「■追加設定が必要なケース（AT コマンド/ 電話番号末尾による設定）」をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。「電話番号末尾」欄に設定文字が書かれている場合は、設定文字を下記のように電話番号の末尾に追加してください。**

PHS で 32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例

これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。次ページからの【インターネットへを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

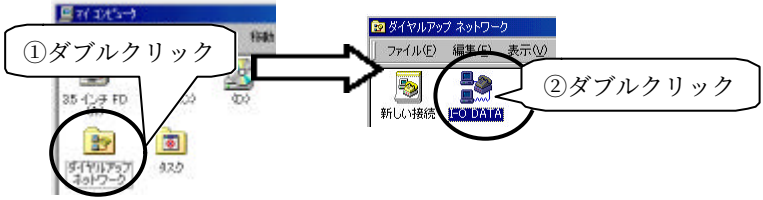
《インターネット編》
インターネットを楽しもう

電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

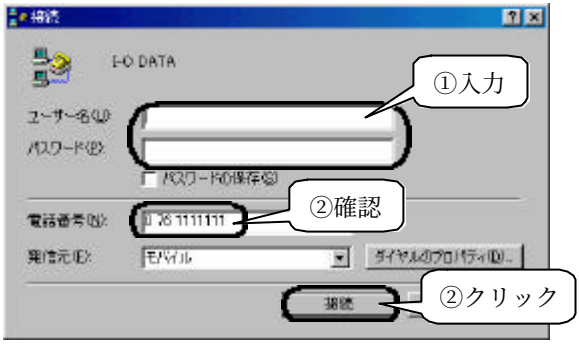
本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。電話機の電波が弱い場合は正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

[マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



2 プロバイダから通知されたユーザー名とパスワードを入力し、電話番号が市外局番から表示されていることを確認後、[接続]ボタンをクリックします。

[接続]ボタンをクリックすると、電話機が指定した電話番号にかかりプロバイダと通信を開始します。電話機の液晶表示を確認してください。



注意！

1. **パスワードは「*****」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**
2. **他のモデムも併用している場合、発信元として本製品用の所在地情報（42 ページの手順 4 で設定した登録名）を選択してください。**
3. **[パスワードの保存] をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。**

3 しばらくして「... に接続中」という画面が消えたら、完了です。

「現在…に接続しています」という画面が表示された場合は［今後、このダイアログ....］をチェック後、［閉じる］ボタンをクリックしてください。
パソコン画面右下のタスクトレイに［接続インジケータ］が表示されます。

［接続インジケータ］が
表示されない場合は…

【困ったときには】175 ページをご参照ください。

4 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、ずっと［接続インジケータ］が表示されています。

5 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
電話機の通話も自動的に切断されるので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。

注意！

1. **ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[切断] ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、[接続インジケータ] が消えることを必ずご確認ください。**
2. **ここで表示される接続速度（上図の例では115,200bps）はパソコンと本製品間の通信速度になります（32 ページの手順 3 で指定した値）。**
3. **電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。**

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

《添付ソフト編》
回線モニターを使う

回線モニターは、通信中の状況や接続時間や実際の通信速度などを確認できるソフトウェアです。必要に応じて、インストールしてください。

注意！

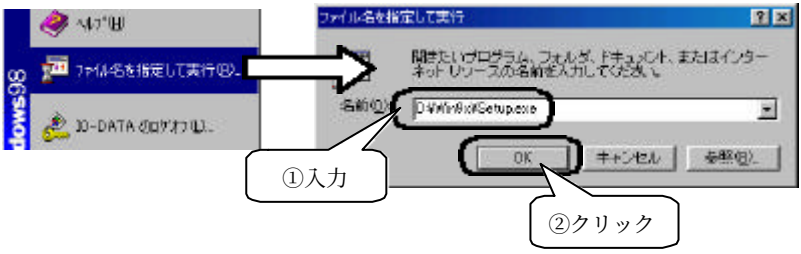
FAX 通信時は通信中の状況や通信速度などを正しくモニタリングできません。インターネット接続時やパソコン通信時にご利用ください。

回線モニターのインストール

1 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブに入れます。

2 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選び、サポートソフトの「SETUP.EXE」を起動します。

名前欄に、[CD-ROM ドライブ名:]\Win9X\Setup.exe と入力し、[OK]ボタンをクリックします。（お使いの CD-ROM ドライブ名がわからない場合は、[マイコンピュータ]を開いてご確認ください。）



3 画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。

途中で[スタートアップへの登録]画面が表示されますが、回線モニターを手動で起動したいときはチェックを外してください。

回線モニターを起動する

回線モニターは通信を開始する前に起動してください。通信開始後に起動しても、モニタリング（通信状態の監視や時間表示など）しません。

1 [スタート]→[プログラム]→[I-O DATA モデムツール]→[回線モニター]を起動します。

2 回線モニターの画面が表示されます。

この時点ではまだ通信が開始されていないので、今月累計接続時間だけが表示されています。

3 ダイヤルアップネットワークを起動するなど、通信を開始すると、モニタリングを始めます。

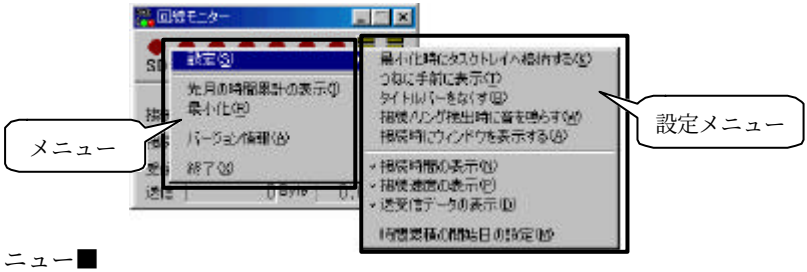
表示内容		意味
インジケータ	ＳＤ	データ送信中に赤ランプ点灯
	ＲＤ	データ受信中に赤ランプ点灯
	ＲＩ	RING 検出したら赤ランプ点灯
	ＣＤ	キャリア検出したら赤ランプ点灯
	ＯＨ	オフフック中に赤ランプ点灯
	ＤＲ	データセットレディ状態で赤ランプ点灯
	ＣＳ	データ送信許可状態で赤ランプ点灯
送受信レベル	ＳＤ	送信レベルを緑色のランプで表示
	ＲＤ	受信レベルを緑色のランプで表示

表示内容		意味
接続時間	今回	今回の接続時間（時：分：秒）
	今月累計	今月になってからの接続時間合計（時：分：秒） ただし、回線モニター起動中の接続時間のみ集計
接続速度		現在、接続している通信速度 パソコンと本製品間の通信速度が表示されます。回線速度（9600bps）は表示されません。
受信	Byte	今回の接続の受信データ量（バイト）
	KB/s	現在の受信データの転送速度（Kバイト/秒）
送信	Byte	今回の接続の送信データ量（バイト）
	KB/s	現在の送信データの転送速度（Kバイト/秒）

4 回線モニターを終了するには、回線モニター画面の[終了]アイコンをクリックします。

回線モニターの各種設定

回線モニター画面で右クリックすると、設定などのメニューが表示されます。



■メニュー■

メニュー項目	意味
設定	各種設定メニューを表示します。
先月の時間累計の表示	先月の接続時間合計を表示します（ただし、回線モニター起動時の接続時間のみ対象）。
最小化	回線モニターを最小化します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。
終了	回線モニターを終了します。

■設定メニュー■

メニュー項目の先頭に「レ」印が表示されている状態がＯＮです。

メニュー項目	ＯＮのときの機能
最小化時にタスクトレイへ格納する	最小化したときに、タスクバーでなく、タスクトレイにアイコンを表示します。 《タスクトレイ設定で最小化した時》 このアイコンをダブルクリックすると　回線モニター画面が再表示されます。
	初期値：ＯＦＦ（＝タスクバー設定）
つねに手前に表示	常に他のウィンドウより手前に回線モニター画面を表示します。
	初期値：ＯＦＦ（＝手前表示しない）
タイトルバーをなくす	タイトルバーを非表示にします。
	初期値：ＯＦＦ（＝タイトルバーあり）
接続/リング検出時に音を鳴らす	接続時（CD/OH 検出時）とリング検出時（RI 検出時）に音を鳴らします。
	初期値：ＯＦＦ（＝音を鳴らさない）
接続時間の表示	接続時間（今回、今月累計）を表示します。
	初期値：ＯＮ（＝表示する）
接続速度の表示	接続速度を表示します。
	初期値：ＯＮ（＝表示する）
送受信データの表示	送受信データ量と転送速度を表示します。
	初期値：ＯＮ（＝表示する）
時間累積の開始日の設定	接続時間の累計を行うときに、月の開始日を設定します。電話料金計算などの締日と合わせることができます。
	初期値：１日

回線モニターを削除するには

インストールした回線モニターを削除したい場合は、回線モニターが起動されていないことを確認してから、以下の作業を行ってください。

1 [スタート]→[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

2 [I-O DATA モデムツール]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。

3 画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

これでアンインストールは完了です。

4 Windows 2000 で使うには

この章では、本製品を Windows 2000 で使用する場合のインストールからインターネット接続までの方法を説明します。

インストール編（必須）

本製品を Windows 2000 で使用するときは、必ず、行ってください。

P61　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。

P66　インストール終了後の確認と設定

正しくインストールできたかどうかの確認と、モデムの設定を行います。

P73　使用中に取り外す場合の注意事項

Windows 2000 を使用中に本製品を取り外す方法を説明します。

P76　インストールした情報を削除する場合

本製品のサポートソフトを再インストールする場合には、インストールした情報を削除します。ここではその方法を説明します。

インターネットに接続するまでの方法を説明します。インターネットを使わないときや、接続経験者は読み飛ばしても結構です。

P81　インターネットを楽しむまでの手順

インターネットへ接続する場合に、必要な作業の流れを説明します。

P82　ダイヤルアップ接続の設定

インターネットを行うときに必要な設定を行います。

P91　インターネットを楽しもう

実際に本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

ここで説明するインストール作業は、本製品をパソコンにはじめて接続したときだけ行います。使用する電話機に合った接続ケーブルを、本製品に接続してから、インストールを始めてください。（10 ページ【接続ケーブルを取り付ける】参照）

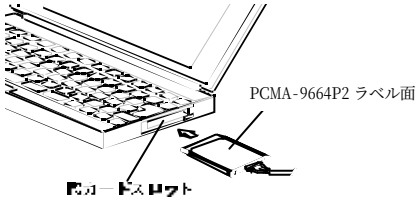
注意！

弊社製CardDock2-EX/DV､IN/DV はWindows 2000 には対応しておりませんので、ご利用いただくことはできません。

1 パソコンの電源を入れ、Windows 2000 を起動します。

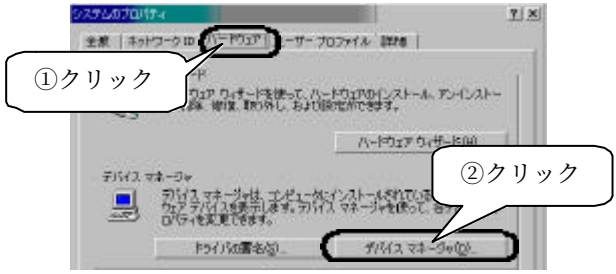
2 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PC カードスロットの奥までしっかりと差し込みます。PC カードスロットの位置はご使用のパソコンの取扱説明書を参照してください。



3 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順に開き、[システム]アイコンをダブルクリックします。

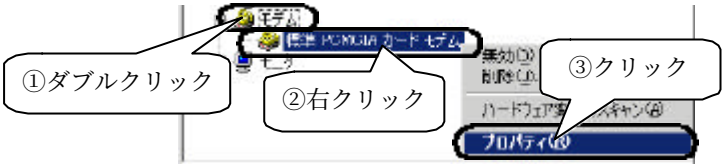
4 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



5

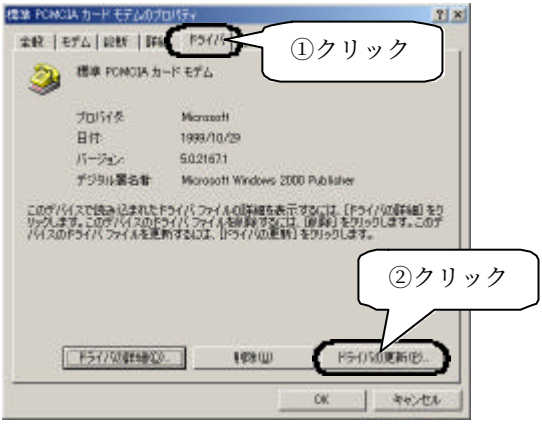
[モデム]をダブルクリック後に[標準 PCMCIA カードモデム]※を右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックします。

※表示されない場合は、画面右上の ✕ ボタンをクリックして画面を閉じ、前ページ手順 ***2*** に戻り本製品を正しく差し込みなおしてください。



6

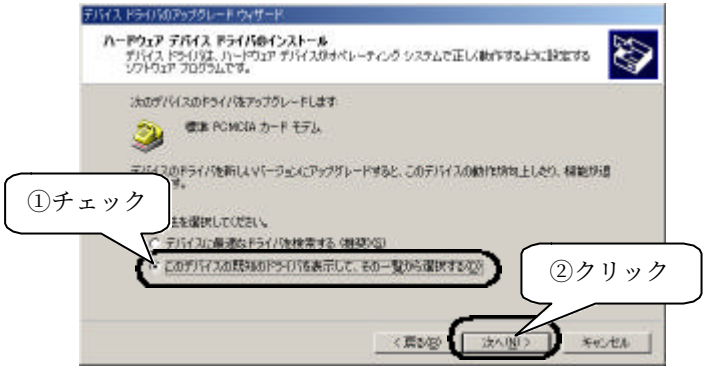
[ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。



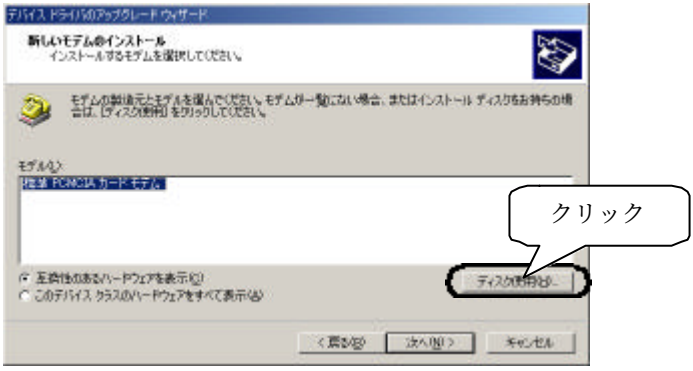
7

[デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始]画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

8 [このデバイスの…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



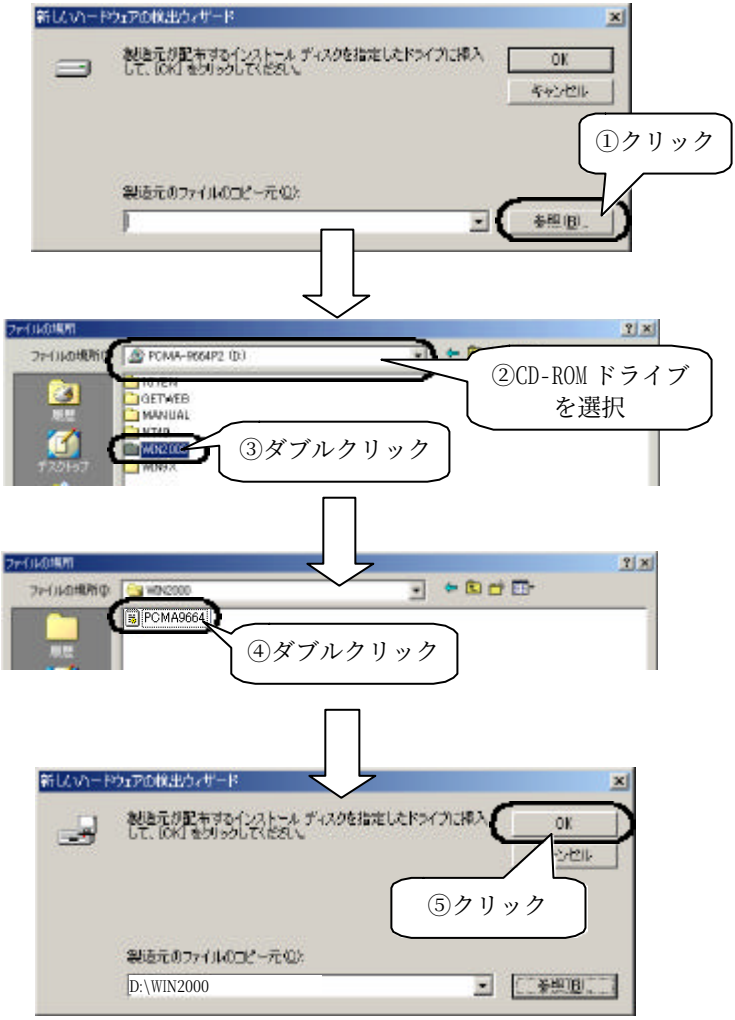
9 [ディスク使用]ボタンをクリックします。



10 「PCMA-9664P2 サポートソフト」CD-ROMを CD-ROMドライブにセットします。

11 [参照]ボタンをクリックします。
サポートソフトを挿入したCD-ROMドライブの[WIN2000]フォルダを指定します。最後に[OK]ボタンをクリックします。

サポートソフトの内容をハードディスクへコピーした場合は、コピー先のフォルダ名を指定してください。

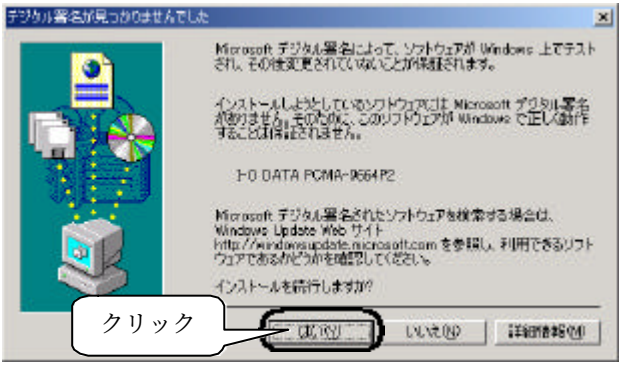


12 [ドライバファイルの検索]画面で、[次へ]ボタンをクリックします。

13 [はい]ボタンをクリックします。

マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行してください。

＊マイクロソフト社はWHQL という組織において、PC 本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりませんが、動作上はまったく問題ありません。



14 コピーを開始します。

しばらくして [新しいハードウェアの検索ウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

これで、インストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認し、モデムを設定します。
次ページ【インストール終了後の確認と設定】へお進みください。

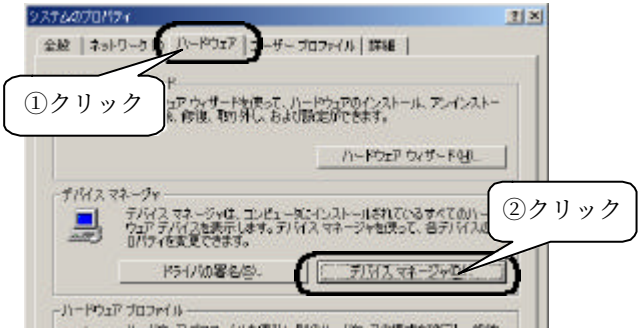
《インストール編》
インストール終了後の確認と設定

インストールが終了したら、パソコンが本製品を正しく認識したかどうかの確認と、モデムの設定を行います。

デバイスマネージャによる確認

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選びます。

2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 [モデム]をダブルクリックして、
[I-O DATA PCMA-9664P2]が表示されていることを確認します。

「I-O DATA PCMA-9664P2」が
表示されない場合は…

【困ったときには】167 ページ
をご参照ください。

4 画面右上の[×]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

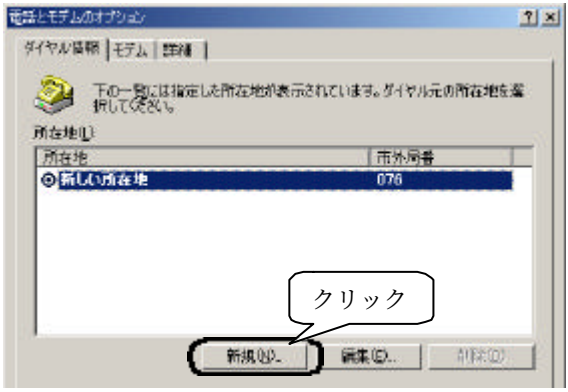
これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次にモデムとしての確認および設定を行います。

モデムの確認と設定

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。

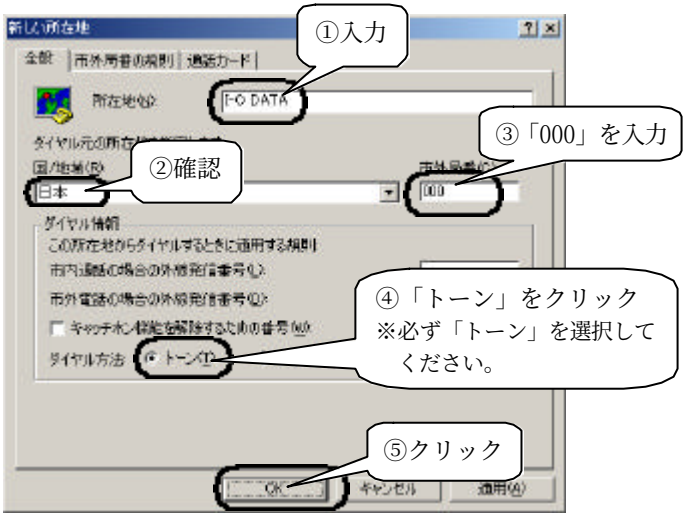
2 [新規]ボタンをクリックします。

本製品で使用する電話機用の所在地がすでに登録されているときは、手順 **4** へ進んでください（一般公衆回線や ISDN 回線用の所在地とは設定内容が異なります。この場合は新しく所在地を追加してください）。



3 [全般]タブで必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	所在地	任意を入力
②	国／地域	[日本]であることを確認
③	市外局番	[000]等存在しない数値を入力 ※携帯電話や PHS は市外局番から発信するので、このような値を仮に設定しておきます。
④	ダイヤル方法	[トーン]を選択



4 [モデム]タブをクリックし、[I-O DATA PCMA-9664P2]をダブルクリックします。

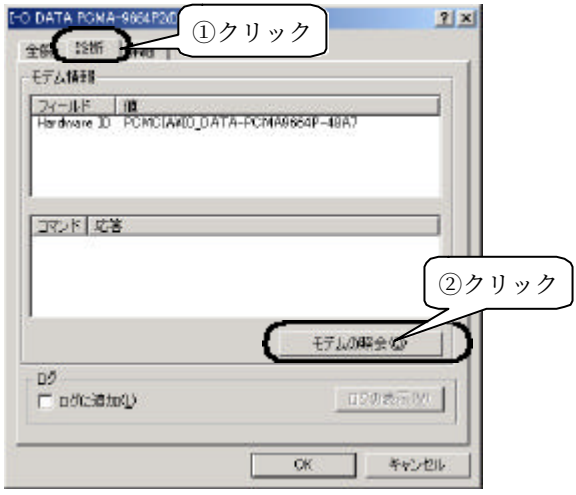
[接続先]欄の COM の後の数字はお使いの環境によって異なります。

5 最高速度を、選択肢中で一番速い速度に設定します。

最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（115200bpsが望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

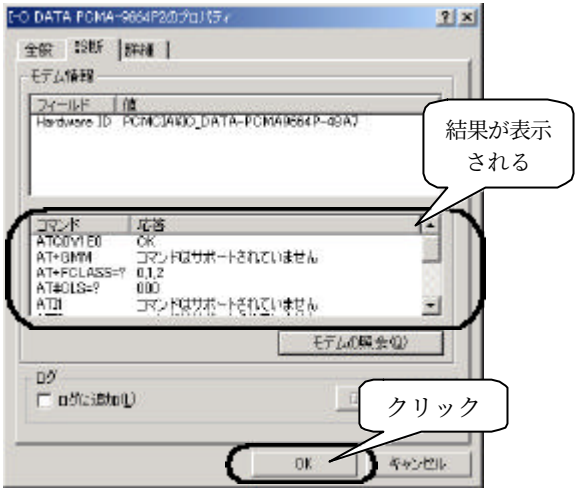
（この速度は回線速度ではなくパソコンと本製品間の速度です。）

6 [診断]タブをクリックし、[モデムの照会]ボタンをクリックします。



7 「モデムと通信しています」と表示され、しばらくして下記のように表示されます。確認後、[OK] ボタンをクリックします。

コマンド応答の部分に「AT・・・・・」と英数字が表示されることを確認してください。表示されたら、本製品は正常に認識されています。



※コマンド欄に表示される内容は、ご使用の接続ケーブルによって異なります。

「ポートが開けません」などと表示された場合は…

【困ったときには】168 ページをご参照ください。

注意！

1. **この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、電話機を介して接続するテストではありません。**
2. **応答に「このコマンドはサポートされていません」と表示される場合がありますが、動作上問題ありません。**

8 [OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。実際に本製品を使う前に、73 ページからの【使用中に取り外す場合の注意事項】をご参照になり、本製品の正しい取り外し方をマスターしてください。

AT コマンドによる追加設定が必要な場合は…

お使いの電話機や通信方式により、追加設定が必要な場合があります。
以下の場合は必ずご参照ください。

- パケット通信対応電話機（NTT ドコモ 208/209/302 シリーズ、cdmaOne など）を使用する場合
- PHS、H"で 64K/32K の通信方式を替えたい場合
- ドッチーモを使用する場合※

※本製品を使用してドッチーモによる通信をする場合、PDC 方式と PHS は自動的に切り替えることはできません。ここで説明する AT コマンドの入力により切り替える必要があります。

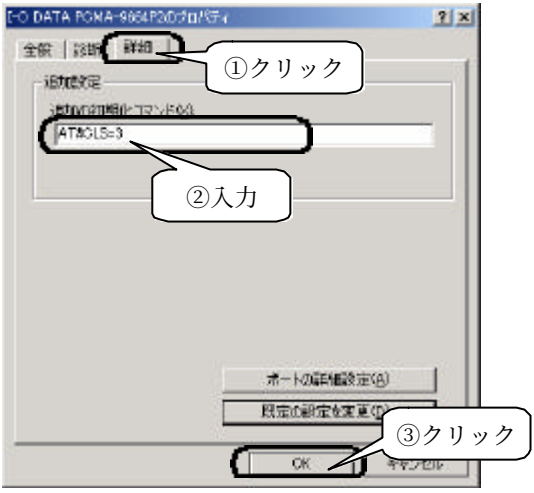
各パターンでの必要な AT コマンドは、182 ページ【追加設定が必要なケース(AT コマンド/電話番号末尾による設定】の「AT コマンド」欄をご参照ください。

1 【追加設定が必要な場合】(182 ページ）をご参照いただき、必要な追加設定の AT コマンドをご確認ください。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。

3 [モデム]タブをクリックし、[I-O DATA PCMA-9664P2]をダブルクリックします。

4 [詳細]タブをクリックし、[追加の初期化コマンド]欄に、必要なATコマンドを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



ドッチーモなどの複合機で、PHS通信（フォールバックなし）をする場合の例

注意！

1. **[追加の初期化コマンド]欄に入力する文字はすべて半角文字で入力してください。**
2. **[追加の初期化コマンド]欄に入力するAT コマンドの意味や詳細は、サポートソフトCD-ROM のmanual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。**

5 開いている画面をすべて閉じます。

※[キャンセル]ボタンや[×]ボタンで閉じると、入力した追加設定が保存されません。必ず[OK]ボタンで閉じてください。

本製品でインターネットを楽しみたい方のために、81ページから【インターネット編】を用意しました。インターネットへの接続方法をわかりやすく説明してあります。はじめてインターネットをご使用になる方は是非、ご参照ください。

《インストール編》
使用中に取り外す場合の注意事項

Windows 2000 を使用中でも本製品を取り外すことができますが、本製品の動作を終了せずに PC カードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

以下のいずれかの方法で取り外してください。

・【取り外し方法　－その１－】（下記）
・【取り外し方法　－その２－】（次ページ）

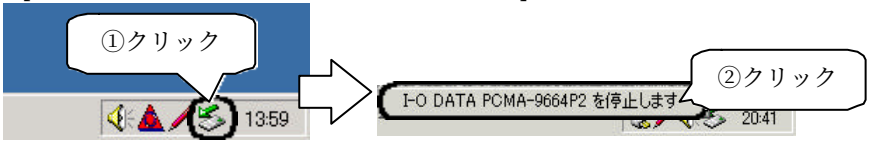
本製品を取り外す場合は、本製品を使用していない（回線切断中である）事を確認してから取り外してください。

注意！

取り外し作業を行うと、実際に本製品を抜かなくても PC カードの動作は終了したとみなされ、本製品は使えなくなります。
再度使いたいときは、いったん本製品を抜いてから再び差し込んでください。

取り外し方法　－その１－

1 画面右下のタスクトレイにある取り外しアイコンをクリックし、[I-O DATA PCMA-9664P2 を停止します]をクリックします。

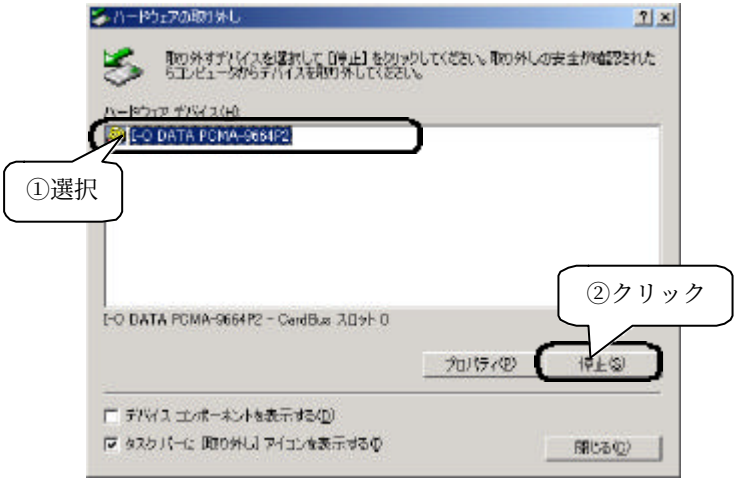


2 [OK]ボタンをクリックします。
本製品を PC カードスロットから取り外してください。

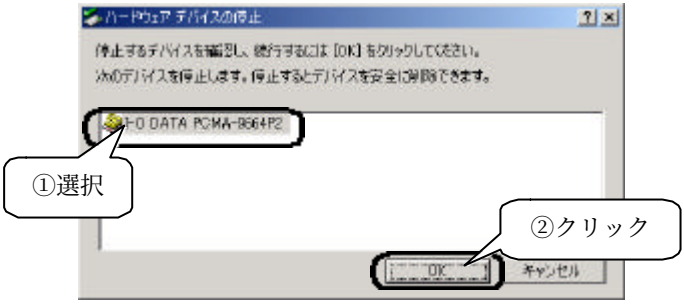
取り外し方法 －その２－

1 画面右下のタスクトレイにある取り外しアイコンをダブルクリックします。

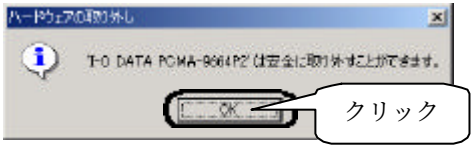
2 [ハードウェアの取り外し]画面が表示されたら、[I-O DATA PCMA-9664P2]を選択し、[停止]ボタンをクリックします。



3 [ハードウェアデバイスの停止]画面で、[I-O DATA PCMA-9664P2]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



4 [OK]ボタンをクリックします。



5 [ハードウェアの取り外し]画面が表示されますので、[閉じる]ボタンをクリックします。

本製品を PC カードスロットから取り外してください。

《インストール編》
インストールした情報を削除する場合

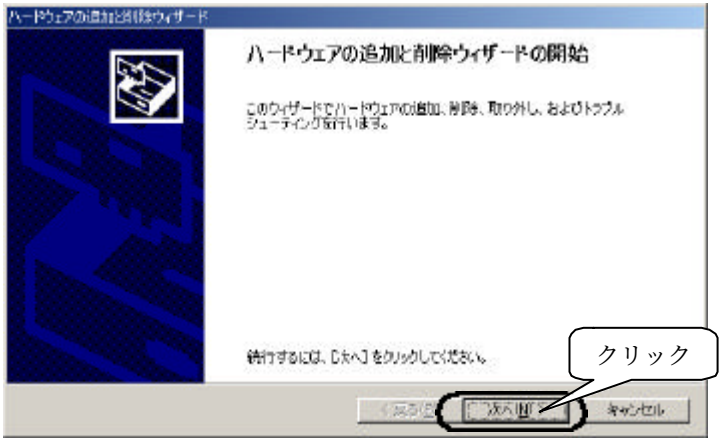
本製品のサポートソフトのインストールをもう１度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

1 本製品が使用中でないことを確認し、パソコンの PC カードスロットから本製品を取り外します。

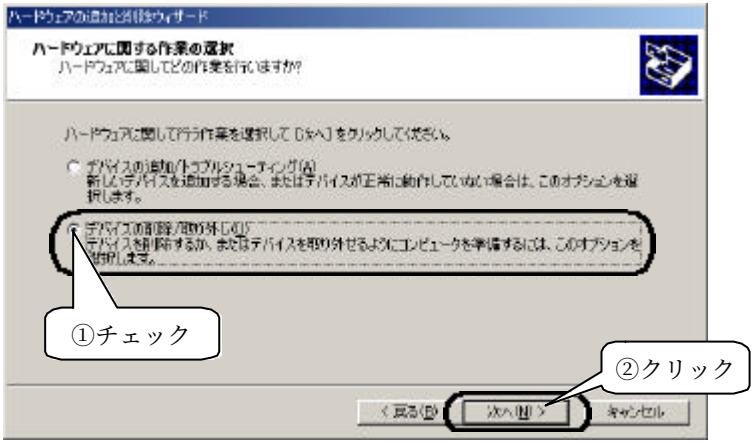
【使用中に取り外す場合の注意事項】（73 ページ）を参照して取り外します。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加と削除]をダブルクリックします。

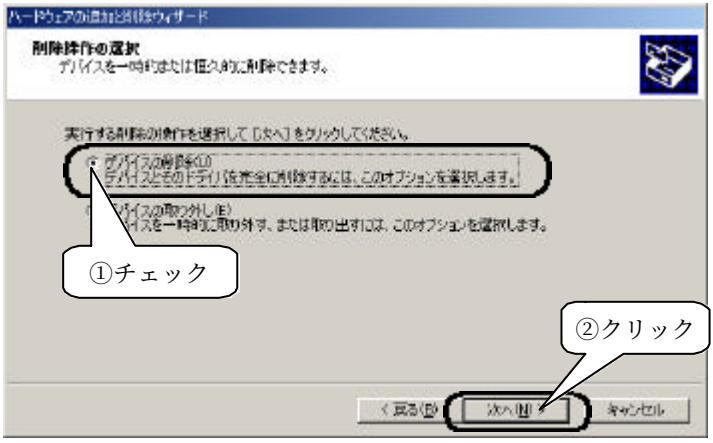
3 [次へ]ボタンをクリックします。



4 [デバイスの削除/取り外し]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

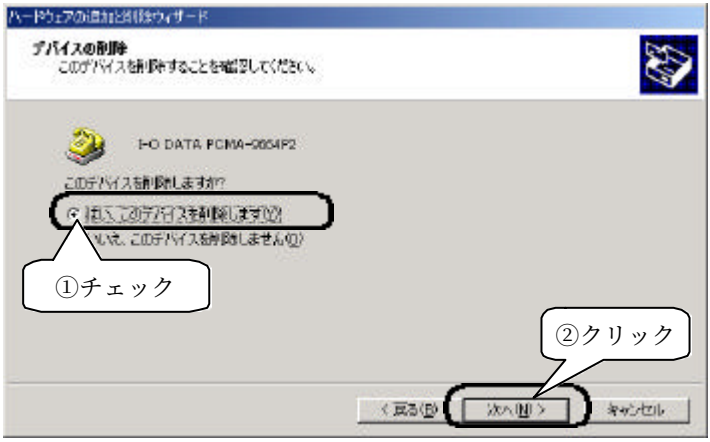


5 [デバイスの削除]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

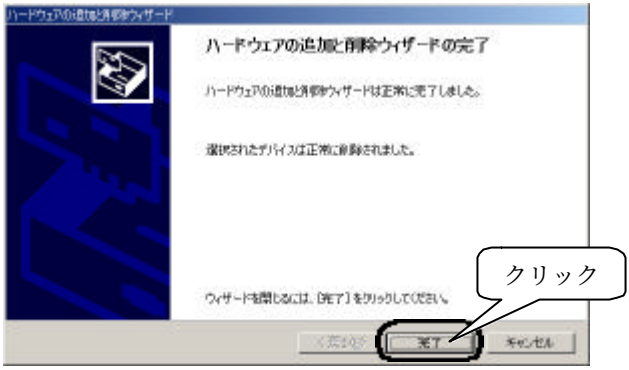


6 [I-O DATA PCMA-9664P2]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

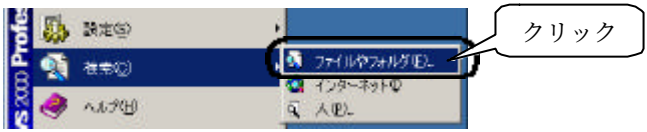
7 [はい、このデバイスを削除します]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



8 [完了]ボタンをクリックします。

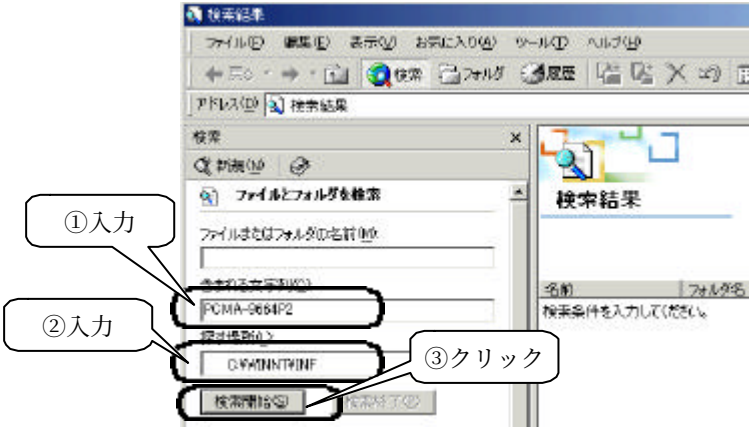


9 [スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]を開きます。



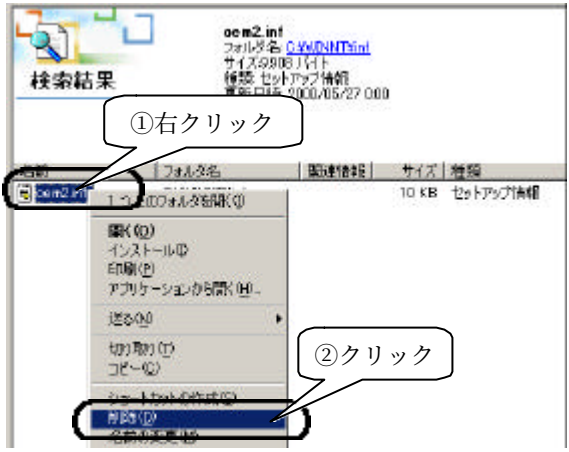
10 [含まれる文字列]に[PCMA-9664P2]、[探す場所]に[C:\WINNT\INF]と入力して、[検索開始]ボタンをクリックします。

（Windows 2000 がＣドライブにインストールされている場合）



11 検索結果欄に表示されたファイルを右クリックして、[削除]を選びます。

表示されるファイル名はご使用の環境により異なります。



12 本製品をパソコンの PC カードスロットから取り外してから、パソコンを再起動します。

これでアンインストールは完了です。

《インターネット編》
インターネットを楽しむまでの手順

ご使用のパソコンではじめてインターネットを行うときは、下記の手順通り、順番に行ってください。

プロバイダと契約する

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップIP接続の契約を行ってください。
契約後、接続のためのユーザー名、パスワード、接続先の電話番号などをプロバイダから教えてもらいます。接続にはこれらの情報が必要です。

↓

ダイヤルアップ接続の設定（82ページ）

本製品を使ったダイヤルアップ接続を設定します。
本製品をはじめて使う場合は必ず行ってください。

↓

インターネットを楽しもう（91ページ）

本製品を使ってダイヤルアップし、インターネットへ接続してみましょう。

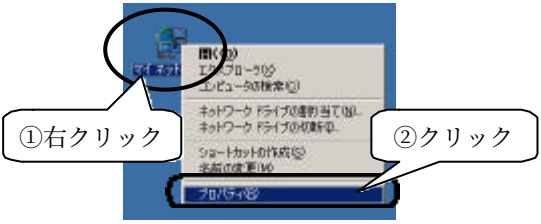
《インターネット編》
ダイヤルアップ接続の設定

すでにダイヤルアップネットワークの設定を行っていて、使用するモデムや接続先の電話番号を変更する場合は 89 ページ【設定を変更するとき】を参照してください。はじめてダイヤルアップ接続の設定を行うとき、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、下記の操作を行います。

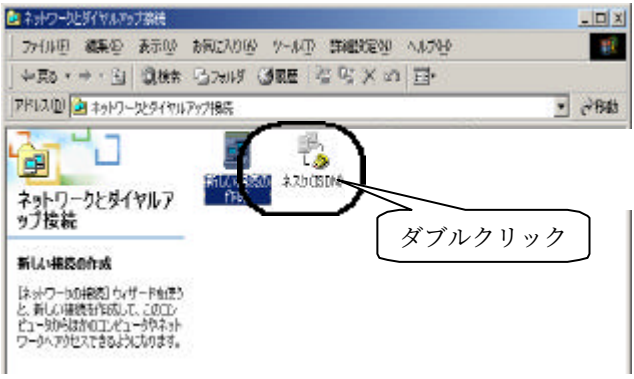
新しい設定を作るとき

インターネットプロバイダから通知されたユーザー名とパスワード、接続先の電話番号が必要です。お手元にご用意ください。

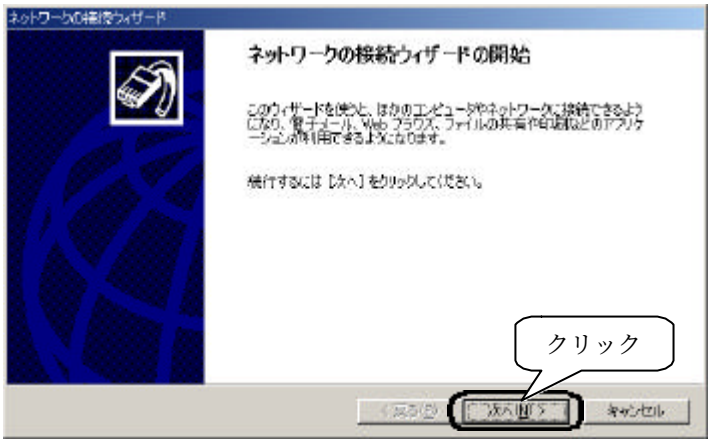
1 [マイネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。



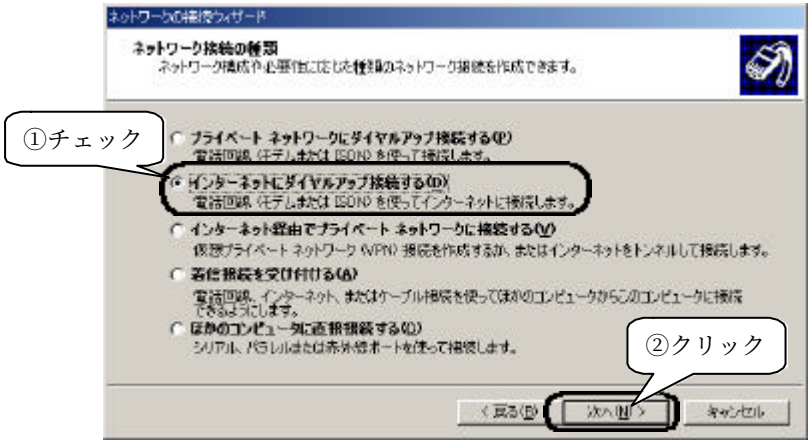
2 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックします。



3 [次へ]ボタンをクリックします。

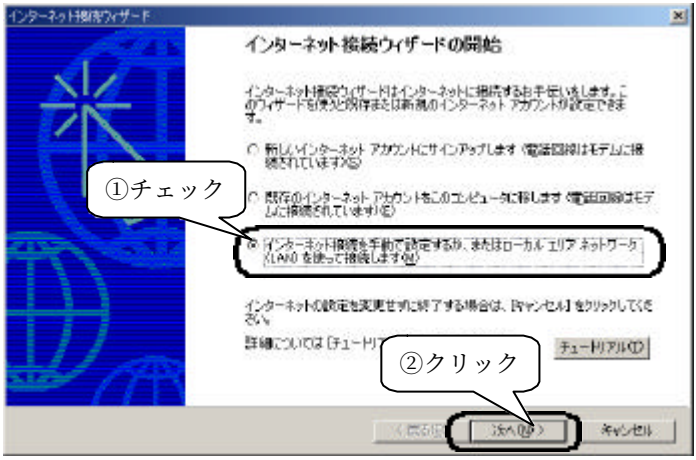


4 [インターネットにダイヤルアップ接続する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



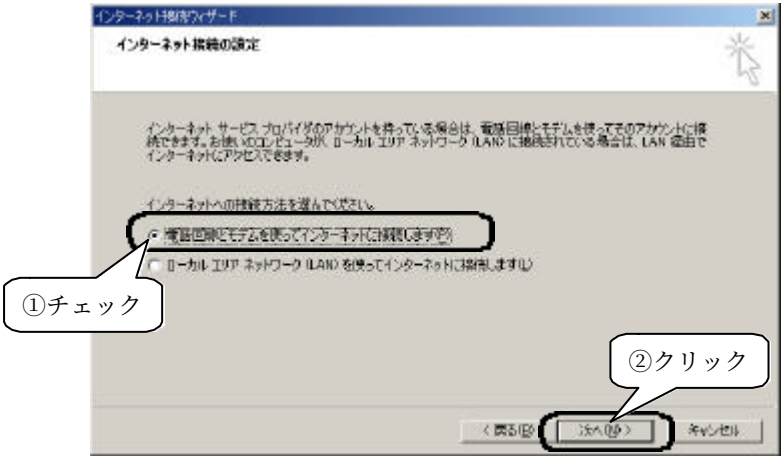
5

[インターネット接続を手動で設定する…]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



6

[電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



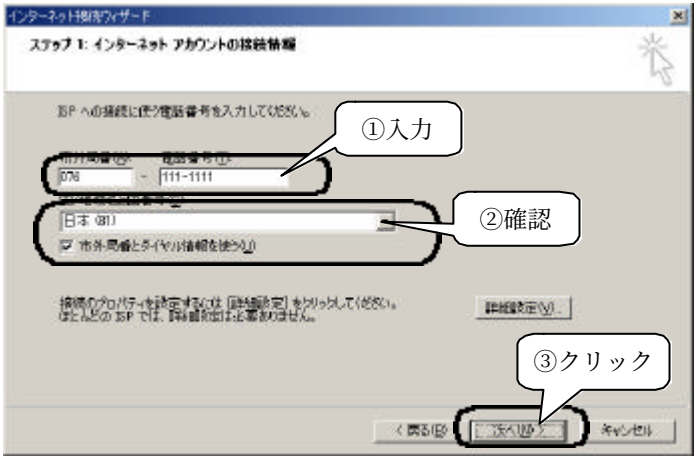
7

複数のモデムがインストールされている場合は、下記の画面が表示されるので、[I-O DATA PCMA-9664P2]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

8

接続先の電話番号を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

接続先の電話番号については次ページの「参考」を必ずお読みください。
また、国名が日本になっていることも確認してください。



注意！

プロバイダ（SP）によっては、「詳細設定」ボタンで、設定が必要な場合もあります。
必要な設定内容については、契約したプロバイダにご確認ください。

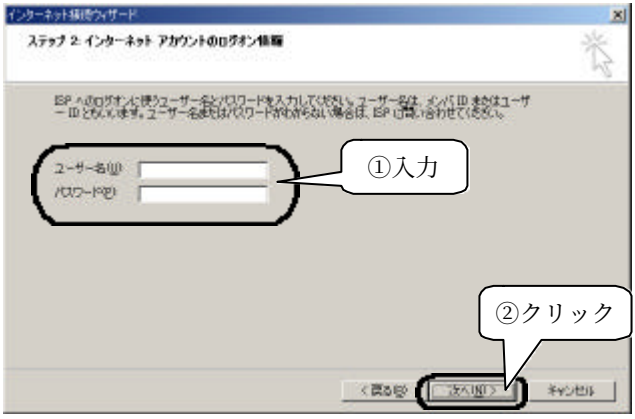
参考

1. 設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。
・携帯電話（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき：
一般のモデムと同じ接続先
・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき：PIAFS（32K、64K）対応の接続先
・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
詳しくはプロバイダにお問い合わせください。
2. お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。182 ページの「■追加設定が必要なケース（AT コマンド/ 電話番号末尾による設定）」をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。「電話番号末尾」欄に設定文字が書かれている場合は、設定文字を下記のように電話番号の末尾に追加してください。
なお、追加設定は新しい接続を作成した後でも行うことができます。その場合は、89 ページ【設定を変更するとき】を参照してください。

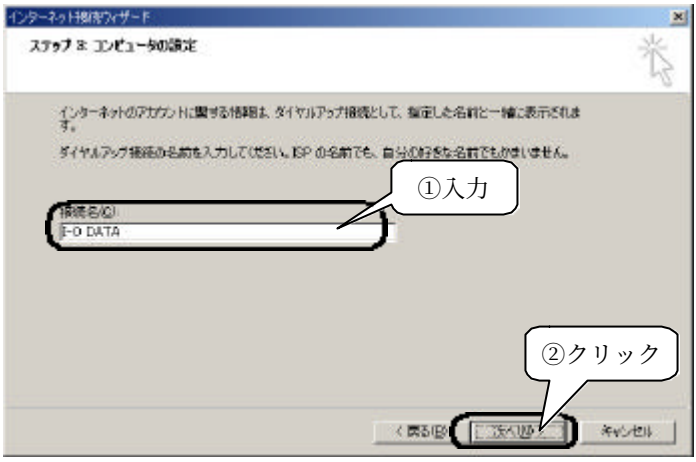
PHS で 32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例

9 プロバイダから通知されたユーザー名とパスワードを入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

パスワードは＊印で表示されます。間違えないように入力してください。

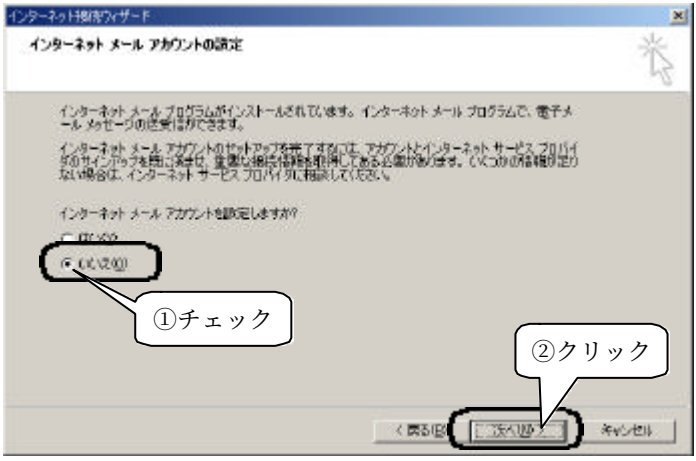


10 接続名（任意）を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

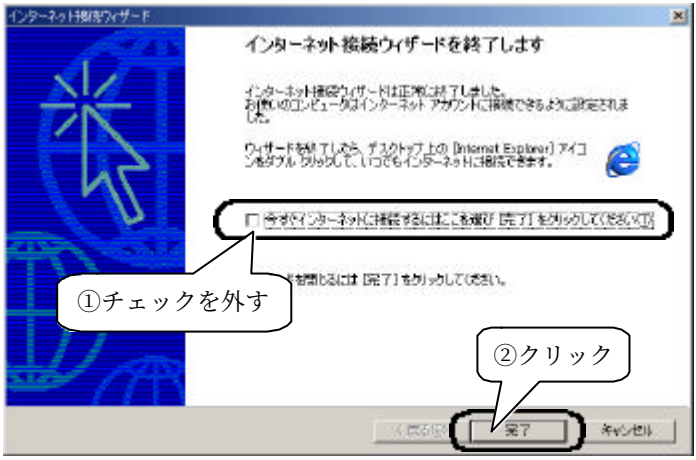


11 [いいえ]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

メールアカウントの設定はメールソフト側で行えるので、本書では、ここで設定は行いません。



12 [今すぐインターネットに…]のチェックを外して、[完了]ボタンをクリックします。

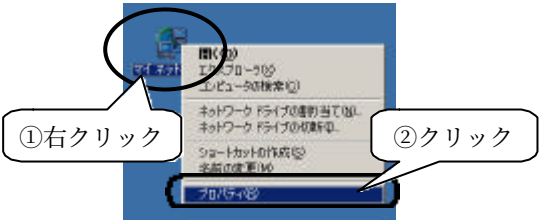


13 新しく作成された接続アイコンを確認します。

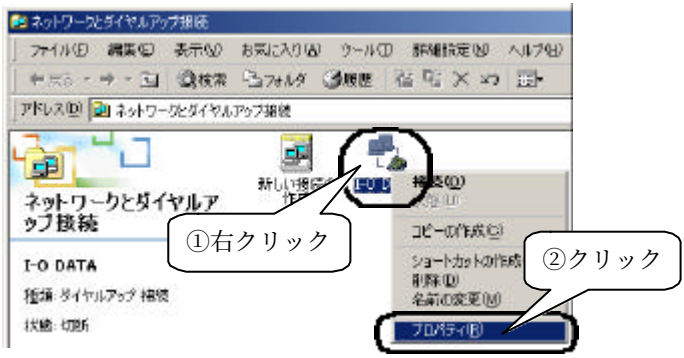
これでダイヤルアップ接続の設定は終了です。91 ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

設定を変更するとき

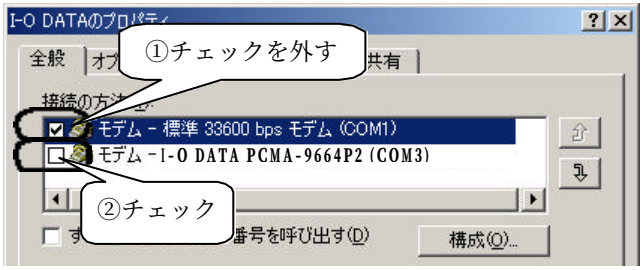
1 [マイネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。



2 変更したい接続のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

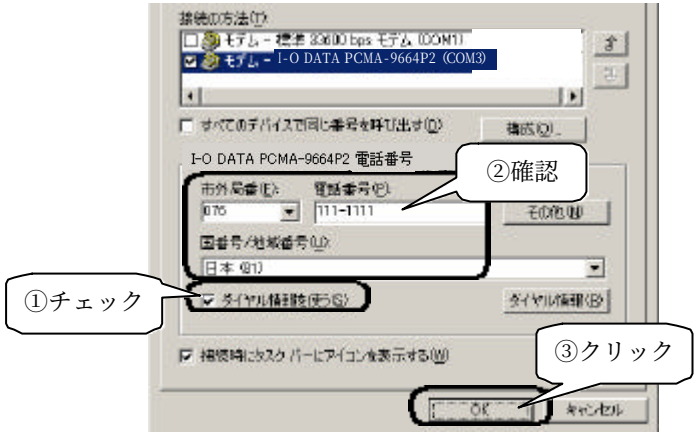


3 [I-O DATA PCMA-9664P2]にチェックし、他のモデムのチェックを外します。



4 [ダイヤル情報を使う]をチェックし、接続先の電話番号や国番号を確認し、[OK]ボタンをクリックします。

接続先の電話番号については下記の「参考」を必ずお読みください。



参考

1. **設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。**
   ・携帯電話（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき：
   一般のモデムと同じ接続先
   ・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき:PIAFS（32K、64K）対応の接続先
   ・パケット通信をするとき: パケット通信に対応している接続先
   詳しくはプロバイダにお問い合わせください。
2. **お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。182 ページの「■追加設定が必要なケース(AT コマンド/ 電話番号末尾による設定）」をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。「電話番号末尾」欄に設定文字が書かれている場合は、「076-111-1111#32」(PHS で32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例 のように電話番号に追加してください。**

これでダイヤルアップ接続の設定は終了です。次ページからの【インターネットへを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

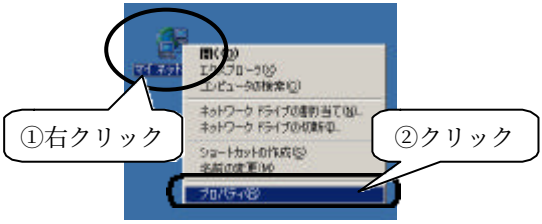
《インターネット編》
インターネットを楽しもう

電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていること、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。電話機の電波が弱い場合は正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

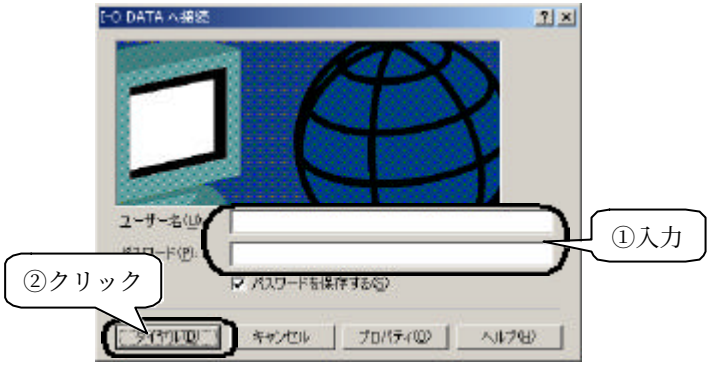
1 [マイネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。



2 新しく作成した接続のアイコンをダブルクリックします。

3 プロバイダから通知されたユーザー名とパスワードを入力し、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

[ダイヤル]ボタンをクリックすると、指定した電話番号にかかり、プロバイダと通信を開始します。電話機の液晶を確認してください。

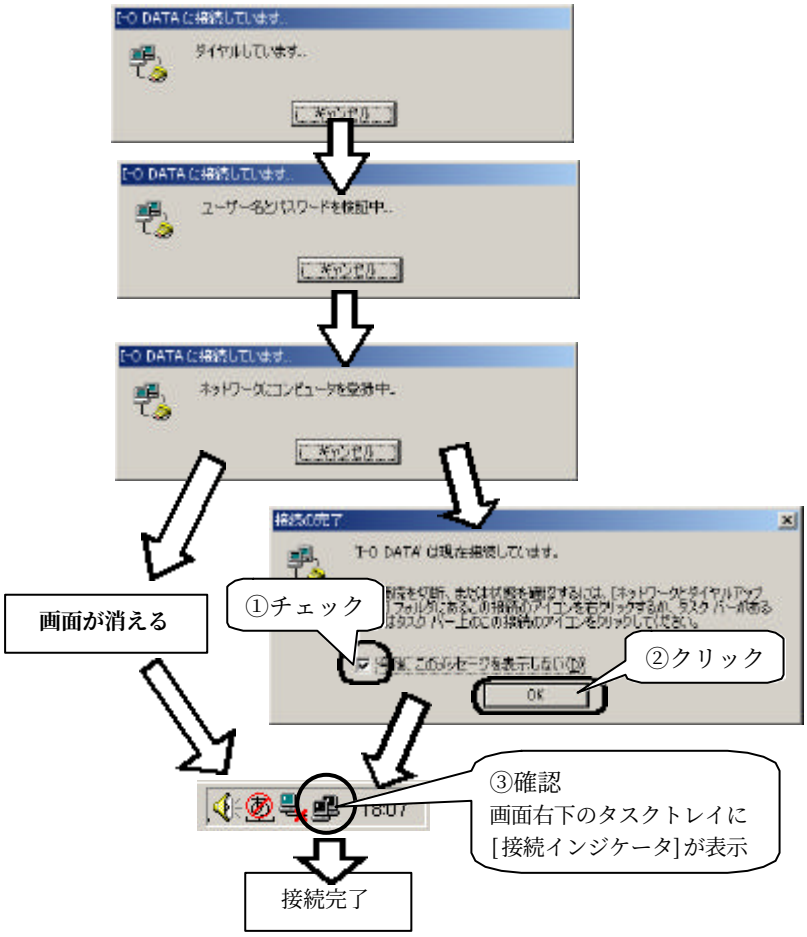


注意！

1. **パスワードは「*****」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**
2. **[パスワードを保存する] をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。**

4 しばらくしてパソコンの画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが表示されたら、接続完了です。

「…は現在接続しています」という画面が表示された場合は［今後、このメッセージを....］をチェック後、［ＯＫ］ボタンをクリックしてください。



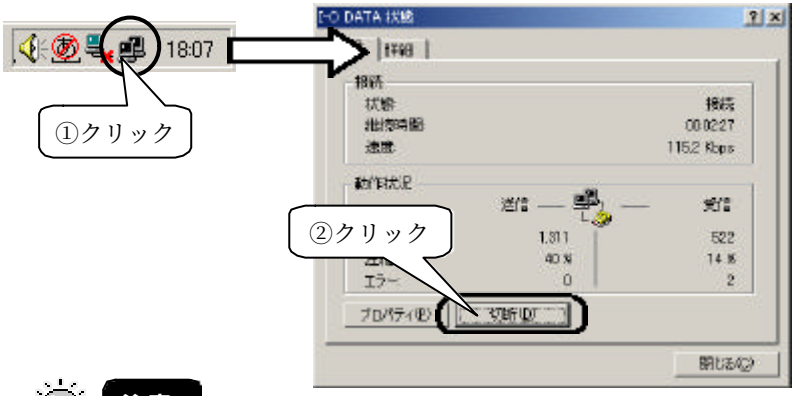
【困ったときには】175 ページをご参照ください。

5 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、ずっと[接続インジケータ]が表示されています。

6 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
電話機の通話も自動的に切断されるので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



注意！

1. **ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[切断]ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、[接続インジケータ] が消えることを必ずご確認ください。**
2. **ここで表示される速度（上図の例では115.2Kbps）はパソコンと本製品間の通信速度です（69 ページの手順 5 で指定した値）。**
3. **電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。**

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

5 Windows NT 4.0 で使うには

この章では、本製品を Windows NT 4.0 で使用する場合のインストールからインターネット接続までの方法を説明します。

インストール編（必須）

本製品を Windows NT 4.0 で使用するときは、必ず、行ってください。

P97　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。

P101　インストール終了後の設定

モデムの設定を行います。

インターネットに接続するまでの方法を説明します。インターネットを使わないときや、接続経験者は読み飛ばしても結構です。

P107　インターネットを楽しむまでの手順

インターネットへ接続する場合に、必要な作業の流れを説明します。

P108　ダイヤルアップネットワークのインストール

インターネットを行うときに必要なソフトウェアのインストールを行います。

P111　ダイヤルアップネットワークの設定

インターネットを行うときに必要な設定を行います。

P116　インターネットを楽しもう

実際に本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

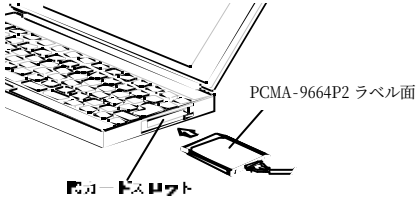
ここで説明するインストール作業は、本製品をパソコンにはじめて接続したときだけ行います。使用する電話機に合った接続ケーブルを、本製品に接続してから、インストールを始めてください。（10 ページ【接続ケーブルを取り付ける】参照）

注意！

1. **弊社製CardDock2-EX/DV、EX/98、IN/DV はWindows NT 4.0 には対応しておりませんので、ご利用いただくことはできません。**
2. **以前に他のモデムを使用していて、本製品が同一のCOM ポートで認識された場合※は、以前のモデムのドライバは削除してから本製品のドライバをインストールしてください。（削除方法は、[スタート] →[設定] →[コントロールパネル] の[モデム] アイコンをダブルクリックし、[モデムのプロパティ] 画面の[情報] タブで[以前に使用していたモデム] を選択後、[削除] ボタンをクリックしてください。）**
   ※本製品のCOM 番号は、次ページの手順 3 で確認します。

1 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PC カードスロットの奥までしっかりと差し込みます。PC カードスロットの位置はご使用のパソコンの取扱説明書を参照してください。



2 パソコンの電源を入れ、Windows NT 4.0 を起動します。

Windows NT 4.0 使用中に PC カードの抜き差しはできません。必ず、Windows NT 4.0 を終了し、パソコンの電源を切った状態で抜き差しを行ってください。

3

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[PC カード]アイコンをダブルクリックします。
挿入したスロットに表示されている[I-O DATA PCMA-9664P]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
表示された COM 番号をメモした後、[OK]ボタンをクリックします。

[I-O DATA PCMA-9664P]の頭に赤い[×]マークが付いている場合は…

環境によっては、パソコンに付属の PC カードドライバをインストールする必要があります。インストール方法等の詳細については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

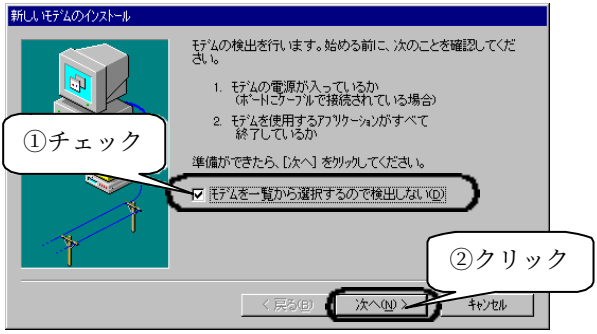
4

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[モデム]アイコンをダブルクリックします。

5

しばらくして下記の画面が表示されたら、[モデムを一覧から…]にチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

※すでに他のモデムがインストールされている場合は、[追加]ボタンをクリックすれば以下の画面が表示されます。



6

[ディスク使用]ボタンをクリックします。

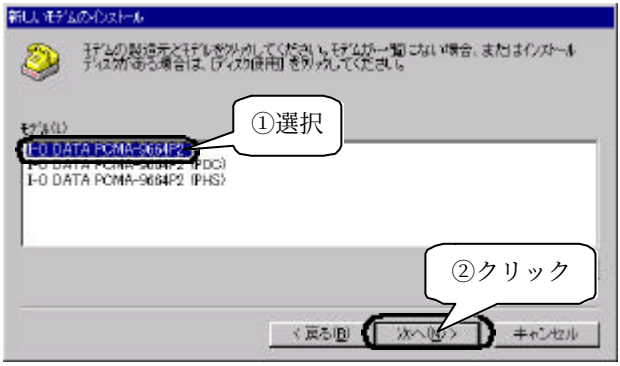
7

「PCMA-9664P2 サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットし、
D:\NT40 (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)
と入力して[OK]ボタンをクリックします。

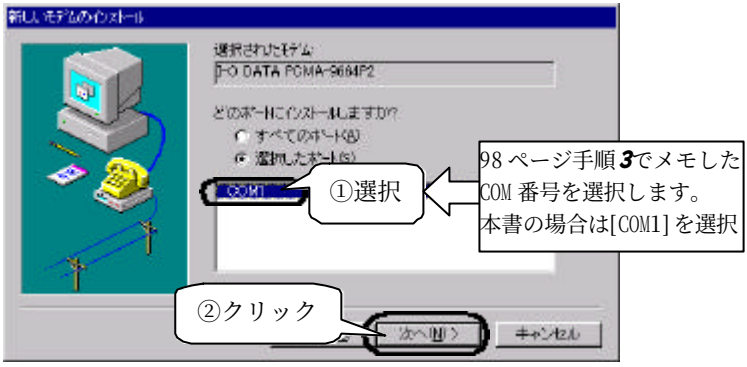
(CD-ROM ドライブが D ドライブの場合の例)

8

[I-O DATA PCMA-9664P2]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



9 98 ページ手順 ***3***でメモしたCOM番号を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



10 コピーを開始します。

初めてモデムのインストールをする場合は、[所在地情報]の画面が表示されることがあります。103 ページ手順 ***5*** を参照し、必要な情報を設定します。

11 モデムが正常にセットアップされたことを知らせる画面が表示されますので、[完了]ボタンをクリックします。

12 [閉じる]ボタンをクリックして、[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

以上でインストールは終了です。
次はモデムを設定します。
次ページ【インストール終了後の設定】へお進みください。

注意！

Windows NT 4.0 使用中に本製品をPC カードスロットから取り外すことは出来ません。本製品をPC カードスロットから取り外す際は、必ずWindows NT 4.0 を終了してパソコンの電源を切った状態で取り外してください。

《インストール編》
インストール終了後の設定

インストールが終了したら、モデムの設定を行います。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[モデム]アイコンをダブルクリックします。

2 [I-O DATA PCMA-9664P2]を選択した状態で、[プロパティ]ボタンをクリックします。

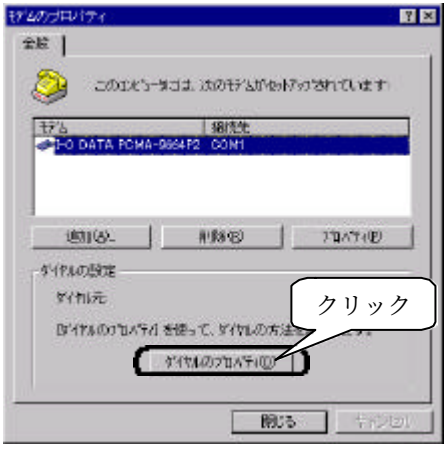
3 [最高速度]を選択肢中で一番速い速度に設定し、[OK]ボタンをクリックします。

最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（115200bps が望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。

参考

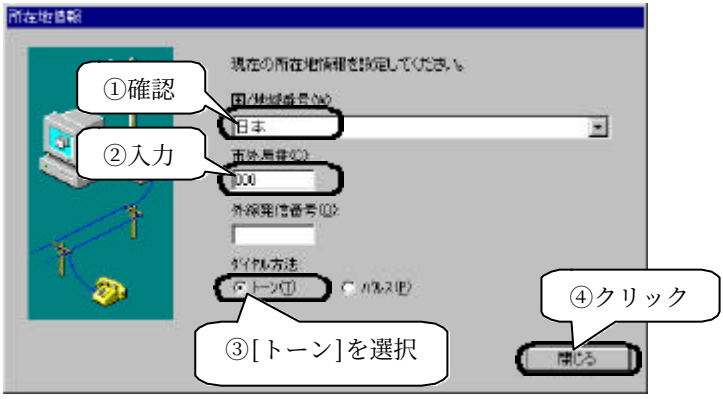
1. **ご使用になるパソコンの種類によっては設定した速度で通信できない場合があります。その場合は自動的に通信速度が落ちますので、あらかじめご了承ください。**
2. **ここで設定する速度は、端末速度 パソコンとモデム間の速度) です。**

4 [モデムのプロパティ]画面の[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックします。



5 必要な情報を設定し、[閉じる]ボタンをクリックします。

No	項目	設定内容
①	国名/地域番号	[日本]であることを確認
②	市外局番	[000]等存在しない数値を入力 ※携帯電話や PHS は市外局番から発信するので、このような仮の値を設定しておきます。
③	ダイヤル方法	[トーン]を選択



6 [閉じる]ボタンをクリックし、[モデムのプロパティ]画面を閉じます。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。
１度これらのインストールを行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

以上でモデムのインストールは終了です。
@nifty 等の BBS のみに使用する場合は、以上で設定は終了です。
本製品でインターネットを楽しみたい方のために、107 ページ【インターネットを楽しむまでの手順】から 116 ページ【インターネットを楽しもう】では、インターネットへの接続方法をわかりやすく説明してあります。はじめてインターネットをご使用になる方は是非、ご参照ください。

AT コマンドによる追加設定が必要な場合は…

お使いの電話機や通信方式により、追加設定が必要な場合があります。
以下の場合は必ずご参照ください。

- パケット通信対応電話機（NTT ドコモ 208/209/302 シリーズ、cdmaOne など）を使用する場合
- PHS、H"で 64K/32K の通信方式を替えたい場合
- ドッチーモを使用する場合※

※本製品を使用してドッチーモによる通信をする場合、PDC 方式と PHS は自動的に切り替えることはできません。ここで説明する AT コマンドの入力により切り替える必要があります。

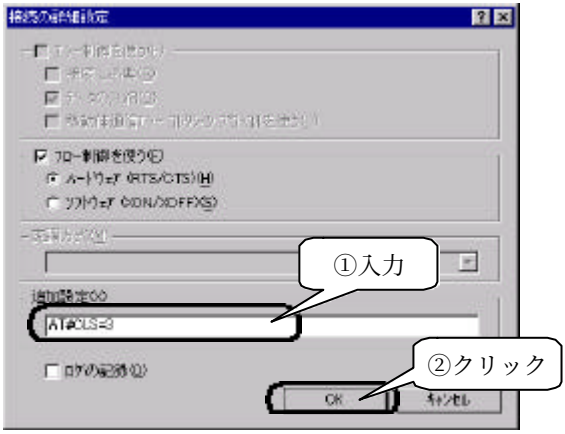
各パターンでの必要な AT コマンドは、182 ページ【追加設定が必要なケース(AT コマンド/電話番号末尾による設定】の「AT コマンド」欄をご参照ください。

1 【追加設定が必要な場合】（182 ページ）をご参照いただき、必要な追加設定の AT コマンドをご確認ください。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[モデム]を開き、変更したいモデムを選択して[プロパティ]ボタンをクリックします。

3 [接続]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。

4 [追加設定]欄に、必要なATコマンドを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



ドッチーモなどの複合機で、PHS通信（フォールバックなし）をする場合の例

注意！

1. **[追加設定] 欄に入力する文字はすべて半角文字で入力してください。**
2. **[追加設定] 欄に入力するAT コマンドの意味や詳細は、サポートソフトCD-ROM の manual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。**

5 開いている画面をすべて閉じます。

本製品でインターネットを楽しみたい方のために、次ページから【インターネット編】を用意しました。インターネットへの接続方法をわかりやすく説明してあります。はじめてインターネットをご使用になる方は是非、ご参照ください。

《インターネット編》
インターネットを楽しむまでの手順

ご使用のパソコンではじめてインターネットを行うときは、下記の手順通り、順番に行ってください。ご使用のパソコンでインターネットを行ったことがある場合は、111 ページ【ダイヤルアップネットワークの設定】から行ってください。

プロバイダと契約する

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。
契約後、接続のためのユーザー名、パスワード、接続先の電話番号などをプロバイダから教えてもらいます。接続にはこれらの情報が必要です。

↓

ダイヤルアップネットワークのインストール（P108）

契約したプロバイダと接続するときに必要となるソフトウェア「ダイヤルアップネットワーク」(Windows NT 4.0 標準ソフト)がインストールされていることを確認します。
インストールされていないときは、インストールします。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定（P111）

本製品を使ったダイヤルアップネットワークを設定します。
本製品をはじめて使う場合は必ず行ってください。

↓

インターネットを楽しもう（P116）

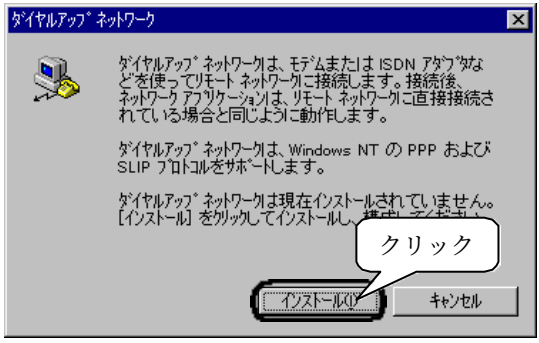
本製品を使ってダイヤルアップし、インターネットへ接続してみましょう。

《インターネット編》
ダイヤルアップネットワークのインストール

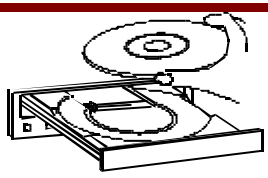
インターネットに接続するには、[ダイヤルアップネットワーク]が必要です。
ここでは、[ダイヤルアップネットワーク]のインストールについて説明します。
既に、[ダイヤルアップネットワーク]をインストールしている場合は、111 ページ【ダイヤルアップネットワークの設定】へお進みください。

1 [マイコンピュータ]の[ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [インストール]ボタンをクリックします。



3 Windows NT 4.0 の CD-ROMを CD-ROMドライブにセットします。



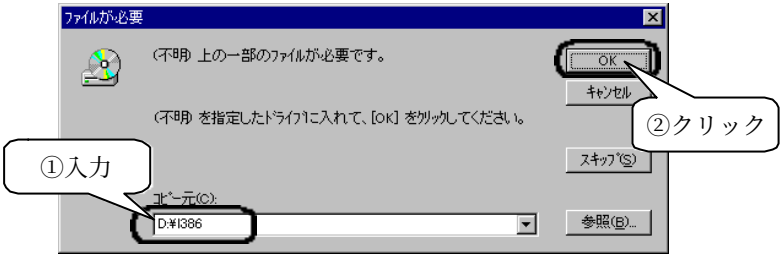
4

下記の画面が表示された場合は、以下を入力して[OK]ボタンをクリックします。

「D:\i386」　(DOS/V マシン、NEC PC98-NX シリーズ)

「D:\PC98」　(NEC PC-9821 シリーズ)

(ともに CD-ROM ドライブが D ドライブの場合の入力例です。)



5

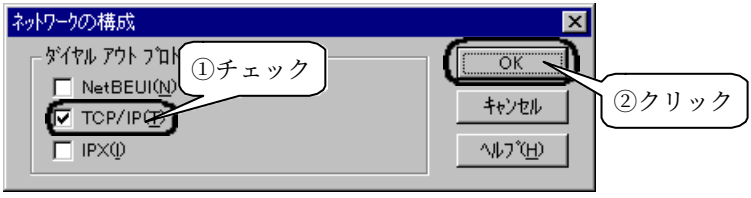
[RAS デバイスの追加]画面で、[I-O DATA PCMA-9664P2]を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

6

[リモートアクセスセットアップ]画面が表示されますので、[ネットワーク]ボタンをクリックします。

7

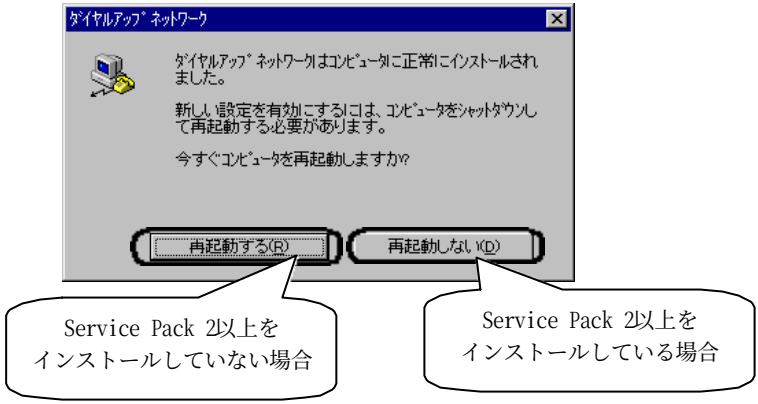
[ネットワークの構成]画面が表示されますので、[TCP/IP]のみをチェックして、[OK]ボタンをクリックします。



8

[リモートアクセスセットアップ]画面に戻りますので、[続行]ボタンをクリックします。

9 [ダイヤルアップネットワーク]画面に戻ります。



- **Service Pack 2 以上をインストールしている場合**
  [再起動しない]をクリックしてService Packをもう一度インストールしてから再起動してください。
- **Service Pack 2 以上をインストールしていない場合**
  ［再起動する］をクリックしてパソコンを再起動してください。

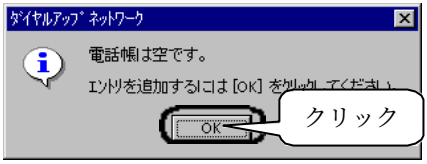
以上で、インストールは終了です。
次にインターネットに接続するための【ダイヤルアップネットワークの設定】について説明しますので、次ページへ進んでください。

《インターネット編》
ダイヤルアップネットワークの設定

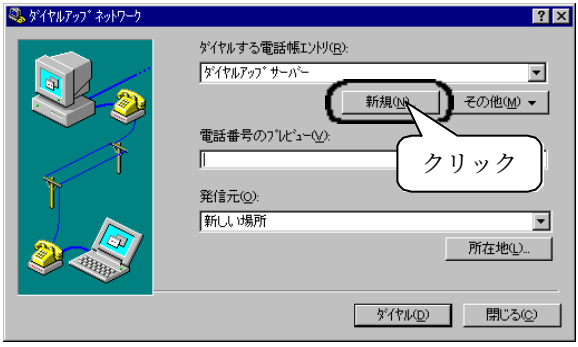
インターネットに接続するには、[ダイヤルアップネットワーク]の設定が必要です。

1

[マイコンピュータ]の[ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックし、以下の画面で[OK]ボタンをクリックします。

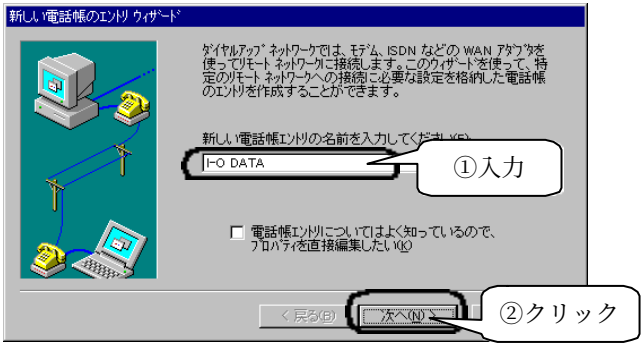


（既に[ダイヤルアップネットワーク]がインストールならびに設定されている場合は、下記の画面が表示されますので、[新規]ボタンをクリックしてください。）

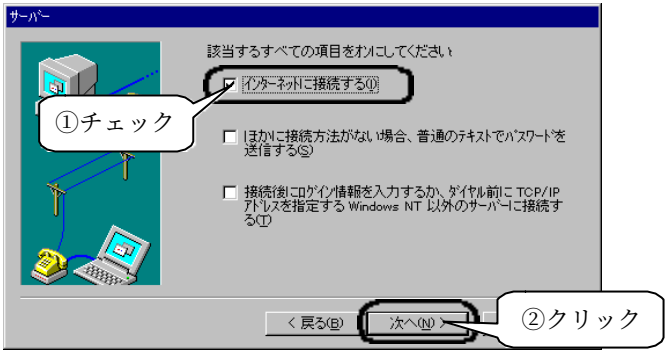


2

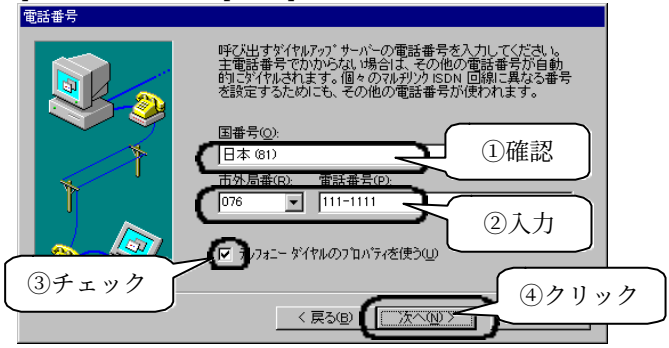
電話帳に登録する名前（任意）を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



3 [インターネットに接続する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



4 [国番号]が[日本]となっていることを確認後、プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力し、[テレフォニーダイヤルのプロパティを使う]にチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



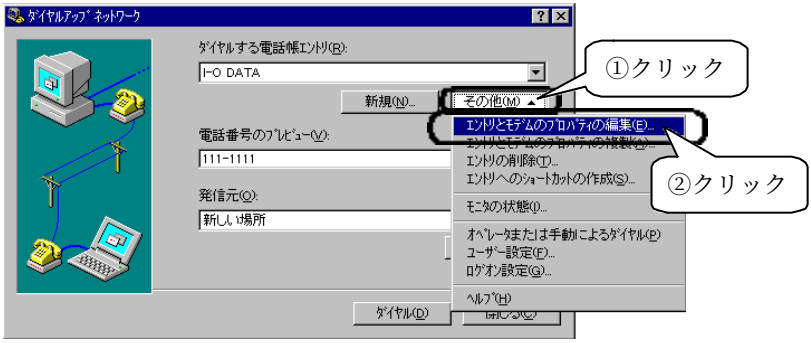
参考

1．設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。
・電話機（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき：一般のモデムと同じ接続先
・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき：PIAFS 32K、64K）対応の接続先
・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

2．お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。182 ページの「■追加設定が必要なケース（AT コマンド/ 電話番号末尾による設定）」をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。「電話番号末尾」欄に設定文字が書かれている場合は、「076-111-1111#32」（PHS で32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例）のように電話番号に追加してください。

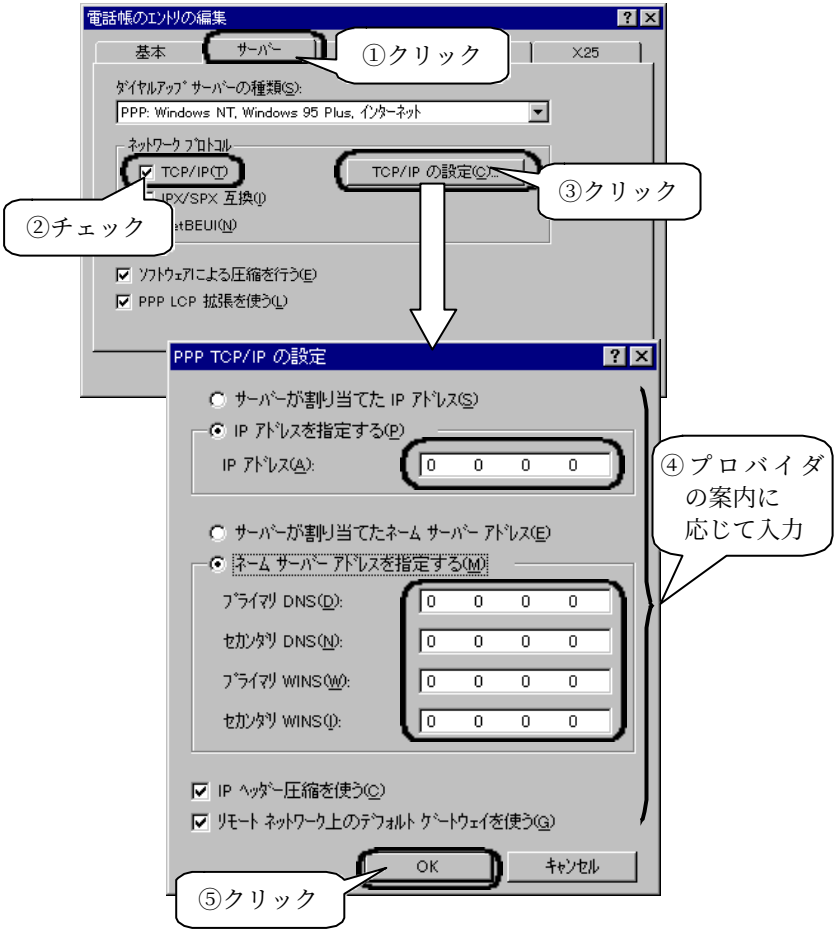
5 [完了]ボタンをクリックします。

6 [ダイヤルアップネットワーク]画面に戻りますので、[その他]をクリックし、[エントリとモデムのプロパティの編集]をクリックします。



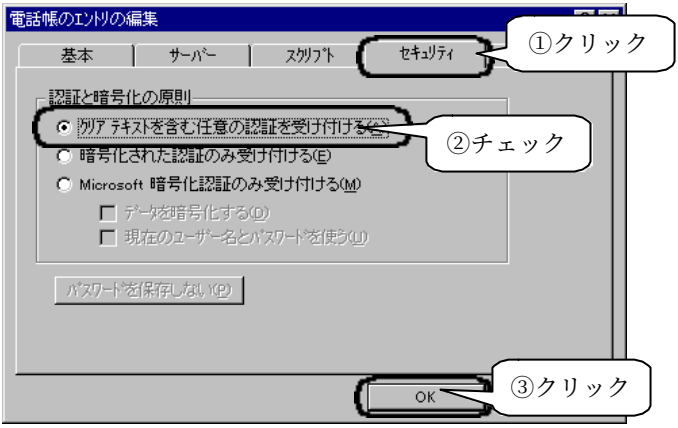
7 [基本]タブをクリックし、[ダイヤル方法]で[I-O DATA PCMA-9664P2]を選択します。

8 [サーバー]タブをクリックし、[ネットワークプロトコル]の[TCP/IP]をチェックします。
次に、[TCP/IPの設定]ボタンをクリックします。
[IPアドレス][プライマリ(セカンダリ)DNS][プライマリ(セカンダリ)WINS]については、各プロバイダの案内に応じて入力してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



9

[電話帳のエントリの編集]画面に戻ったら、今度は[セキュリティ]タブをクリックし、[クリア テキストを含む任意の認証を受け付ける]をチェックします。
チェック後、[OK]ボタンをクリックします。



10

[閉じる]ボタンをクリックします。

これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。次ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットへ接続してみましょう。

《インターネット編》
インターネットを楽しもう

電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。電話機の電波が弱い場合は、正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

2 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[OK]ボタンをクリックします。

注意！

1. **パスワードは[*****]と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**
2. **[パスワードの保存] をチェックすると、次回からパスワードが[*] 印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。**

3 インターネットに接続されます。

画面右下のタスクトレイに[ダイヤルアップネットワークモニタ]アイコンが追加され、ダブルクリックすると接続状況を確認できます。

[回線が使用中です]などと表示された場合は…

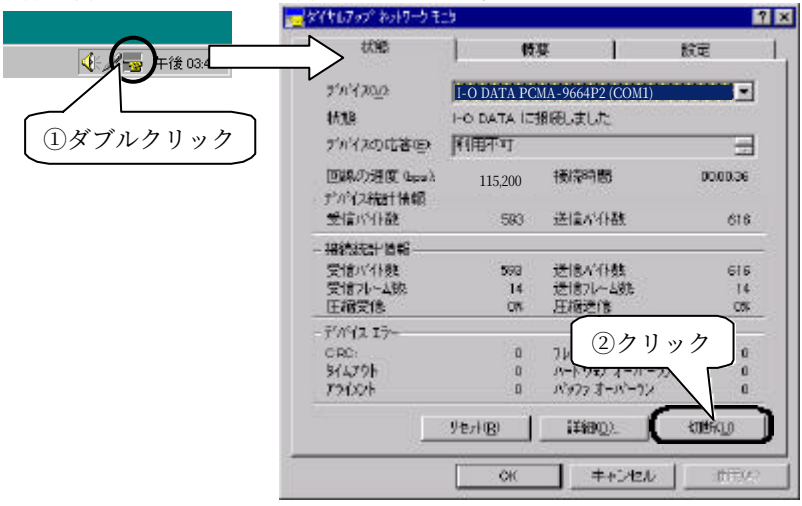
【困ったときには】P176をご参照ください。

4 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、ずっと[ダイヤルアップネットワークモニタ]が表示されています。また、接続中の電話機の液晶には「V42.bis」(PDCの場合)「PIAFS」(PHSの場合)と表示されます。

5 インターネット利用が終わったら、画面右下の[ダイヤルアップネットワークモニタ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[ダイヤルアップネットワークモニタ]が消えます。電話機の通話も自動的に切断されるので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



注意！

1. ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず［切断］ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、［ダイヤルアップネットワークモニタ］が消えることを必ずご確認ください。

2. ここで表示される接続速度（前ページの図の例では115200bps）はパソコンと本製品間の通信速度になります（102 ページの手順 *3* で指定した値）。

3. 携帯電話の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

6 Windows CE で使うには

この章では、本製品を Windows CE で使用する場合の取り扱いからインターネット接続までの方法を説明します。

接続編（必須）

P120　パソコンへ接続する

本製品をパソコンへ接続します。

インターネットに接続するまでの方法を説明します。インターネットを使わないときや、接続経験者は読み飛ばしても結構です。

P121　インターネットを楽しむまでの手順

インターネットへ接続する場合に、必要な作業の流れを説明します。

P122　リモートネットワークの設定

インターネットを行うときに必要な設定を行います。

P125　インターネットを楽しもう

実際に本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

《接続編》
パソコンへ接続する

ここでは、本製品を Windows CE マシンへ接続する際の取り扱いについて説明します。

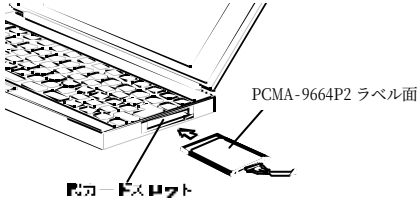
注意！

1. ハンドヘルドPC を使用中に本製品の抜き差しはできません。
必ずWindows CE を終了し、電源を切った後で抜き差しを行ってください。
2. AC アダプタを接続せずにバッテリでお使いの場合、本製品を差すと[このバッテリで使用しますか ?] と表示されるので、[はい] ボタンをタップします。

1 ハンドヘルド PC の電源を切ります。

2 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PC カードスロットの奥までしっかりと差し込みます。PC カードスロットの位置はご使用のハンドヘルド PC の取扱説明書を参照してください。



3 ハンドヘルド PC の電源を入れます。

以上で、本製品の接続は終了です。
※Windows CE マシンでは上記の接続のみで認識され、使用可能な状態となります。本製品でインターネットを楽しみたい方のために、次ページ【インターネットを楽しむまでの手順】から 125 ページ【インターネットを楽しもう】では、インターネットへの接続方法をわかりやすく説明してあります。はじめてインターネットをご使用になる方は是非、ご参照ください。

《インターネット編》
インターネットを楽しむまでの手順

ご使用のパソコンではじめてインターネットを行うときは、下記の手順通り、順番に行ってください。

プロバイダと契約する

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップIP接続の契約を行ってください。
契約後、接続のためのユーザー名，パスワード、接続先の電話番号などをプロバイダから教えてもらいます。接続にはこれらの情報が必要です。

↓

リモートネットワークの設定（122ページ）

本製品を使ったリモートネットワークを設定します。
本製品をはじめて使う場合は必ず行ってください。

↓

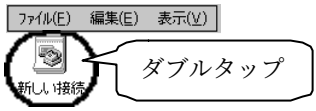
インターネットを楽しもう（125ページ）

本製品を使ってダイヤルアップし、インターネットへ接続してみましょう。

《インターネット編》
リモートネットワークの設定

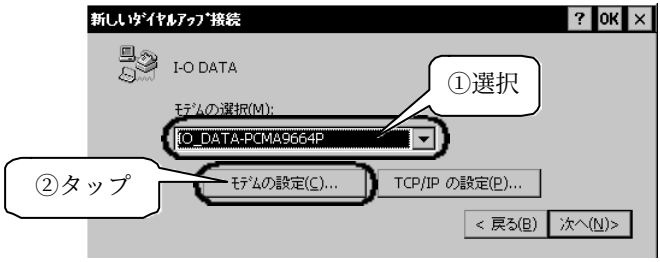
1 [スタート]→[プログラム]→[通信]を開き、[リモートネットワーク]アイコンをダブルタップします。

2 [新しい接続]アイコンをダブルタップします。



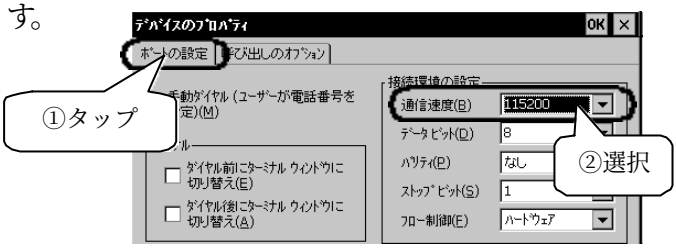
3 接続名を入力（任意）し、[ダイヤルアップ接続]にチェックし、[次へ]ボタンをタップします。

4 [モデムの選択]欄で[IO_DATA-PCMA9664P]を選択し、[モデムの設定]ボタンをタップします。



5

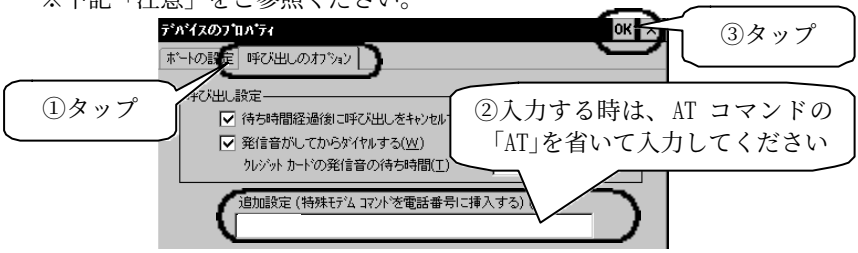
[ポートの設定]タブをタップし、[通信速度]欄で[115200]を選択します。



6

[呼び出しのオプション]タブをタップし、[追加設定]欄に必要なATコマンド※を入力後、[OK]ボタンをタップします。

※下記「注意」をご参照ください。



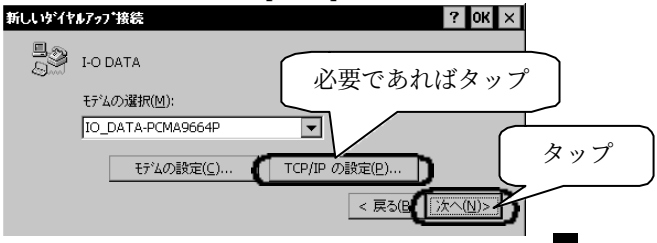
注意！

1. **[追加設定] 欄に入力する文字はすべて半角文字で入力してください。**
2. **182 ページの「■追加設定が必要なケース(AT コマンド/ 電話番号末尾による設定)」をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。「AT コマンド」欄に設定文字が書かれている場合は、設定文字を[追加設定] に入力してください。**
3. **[追加設定] 欄に入力するAT コマンドの意味や詳細は、サポートソフトCD-ROM の manual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。**

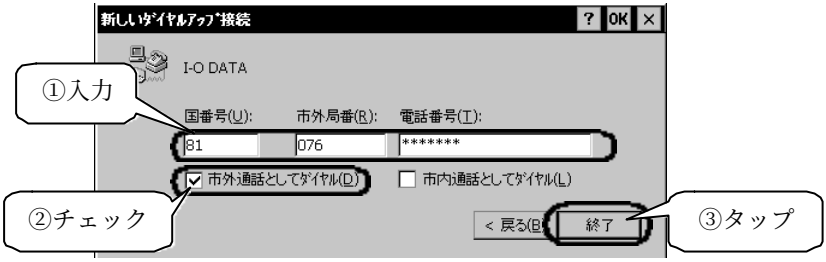
7

プロバイダによって必要であれば、[TCP/IP の設定]ボタンをタップして設定を行います。

設定が不要または終了したら、[次へ]ボタンをタップします。



8 接続先のプロバイダの電話番号（国番号は８１）を入力し、[市外通話としてダイヤル]をチェックして、[終了]ボタンをタップします。



参考

1．設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。
・電話機（dmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき：一般のモデムと同じ接続先
・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき：PIAFS 32K、64K）対応の接続先
・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

2. お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。182 ページの「■追加設定が必要なケース(AT コマンド/ 電話番号末尾による設定)」をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。「電話番号末尾」欄に設定文字が書かれている場合は、0076-111-1111#32」（PHS で32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例）のように電話番号に追加してください

9 作成した接続のアイコンが表示されます。

これでリモートネットワークの設定は終了です。次ページの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットへ接続してみましょう。

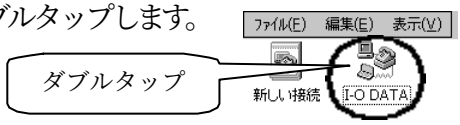
《インターネット編》
インターネットを楽しもう

電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。電話機の電波が弱い場合は、正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

1 作成した接続アイコンをダブルタップします。



2 プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、[接続]ボタンをタップします。

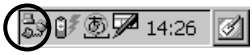
注意！

1. パスワードは[*****]と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。

2.[パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが[*]印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。

3 インターネットに接続されます。

画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが追加され、ダブルタップすると接続状況を確認できます。

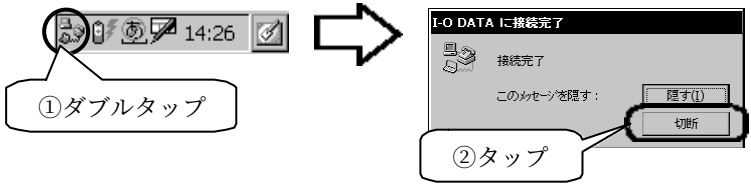


4 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、ずっと[接続インジケータ]が表示されています。

5 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]アイコンをダブルタップし、[切断]ボタンをタップします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
電話機の通話も自動的に切断されるので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



注意！

1. ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[切断] ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、[接続インジケータ] が消えることを必ずご確認ください。

2. 電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

7 Macintosh で使うには

この章では、本製品を Macintosh で使用する場合のインストールからインターネット接続までの方法を説明します。

インストール編（必須）

本製品を Macintosh で使用するときは、必ず、行ってください。

P129　必要なファイルをコピーする

モデムの認識に必要な CCL ファイルなどをコピーします。

P130　パソコンへ接続する

本製品をパソコンへ接続します。

P131　インストールした情報を削除する場合

本製品のサポートソフトを再インストールする場合には、インストールした情報を削除します。ここではその方法を説明します。

インターネット(Mac OS)編

Mac OSでインターネットに接続するまでの方法を説明します。インターネットを使わないときや、接続経験者は読み飛ばしても結構です。

P132　インターネットを楽しむまでの手順

インターネットへ接続する場合に、必要な作業の流れを説明します。

P134　[インターネット接続アシスタント]での接続手順

Mac OSの[インターネット接続アシスタント]でのインターネット接続手順について説明します。

P141　PPP ダイヤラでの接続手順

Mac OSのPPPダイヤラでのインターネット接続手順について説明します。

インターネット(漢字Talk)編

漢字Talkでインターネットに接続するまでの方法を説明します。インターネットを使わないときや、接続経験者は読み飛ばしても結構です。

P148　インターネットを楽しむまでの手順

インターネットへ接続する場合に、必要な作業の流れを説明します。

P149　接続のための設定

インターネットへ接続するために必要な設定を行います。

P159　インターネットを楽しもう

実際に本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

《インストール編》
必要なファイルをコピーする

この作業は、本製品をパソコンの PC カードスロットに接続する前に行います。

1 パソコンの電源を入れ、Macintosh を起動します。

2 「PCMA-9664P2 サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットします。CD-ROM アイコンがマウントされます。

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックして、[Mac]フォルダの中の[CCL]フォルダを開きます。

4 [CCL]フォルダにある CCL ファイルをすべて[機能拡張]フォルダの中の[Modem Scripts]フォルダへコピーします。

[機能拡張]フォルダは、Mac OS がインストールされているドライブの[システムフォルダ]の中にあります。

これでソフトウェア側の準備はＯＫです。この作業を行うのは、はじめて本製品をお使いになるときだけです。次回からは必要ありません。

次ページへお進みください。

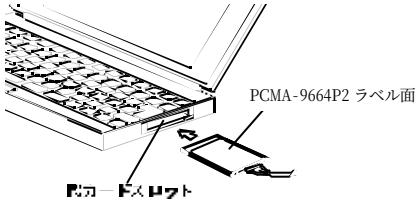
《インストール編》
パソコンへ接続する

使用する電話機に合った接続ケーブルを、本製品に接続してから、インストールを始めてください。（10 ページ【接続ケーブルを取り付ける】参照）

1 パソコンを起動します。

2 本製品を PC カードスロットに差し込みます。

ケーブルが本製品に接続されていることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PC カードスロットの奥までしっかりと差し込みます。PC カードスロットの位置はご使用のパソコンの取扱説明書を参照してください。



これで本製品を使う準備ができました。
本製品をインターネットで活用する場合は、使用している OS によって下記のページへ進んでください。

- Mac OS をご使用の場合
  【インターネット（Mac OS）編】（132 ページ）
- 漢字 Talk をご使用の場合
  【インターネット（漢字 Talk）編】（148 ページ）

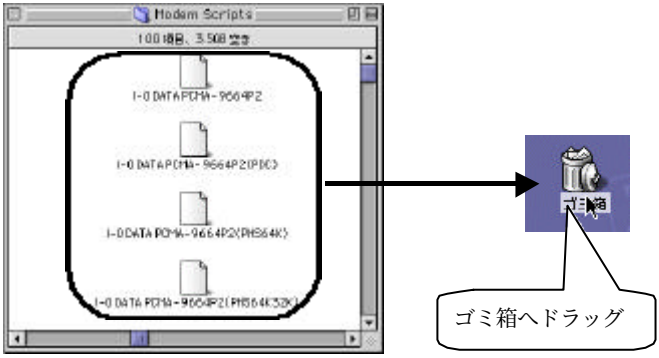
《インストール編》
インストールした情報を削除する場合

本製品のサポートソフトのインストールをもう１度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

1 本製品が使用中でないことを確認し、パソコンの PC カードスロットから本製品を抜きます。

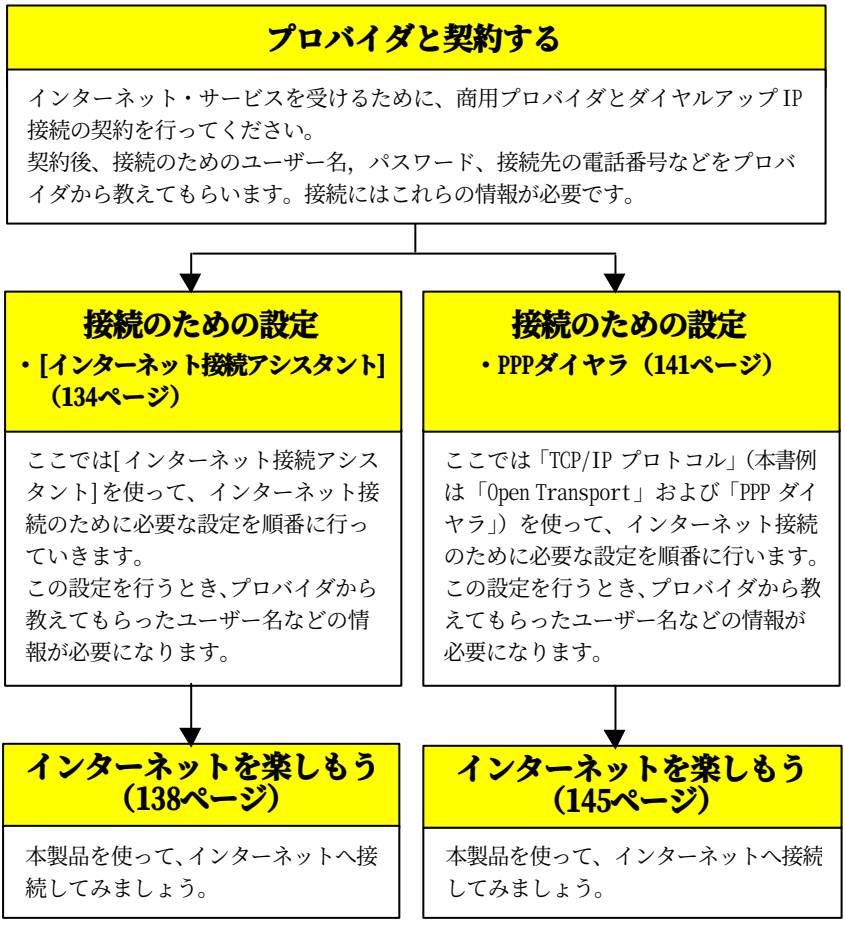
2 129 ページ手順 **4**でコピーしたすべてのファイル※をゴミ箱に入れて削除します。

※[機能拡張]フォルダの中の[Modem Script]フォルダ内にあります。



3 「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」を実行します。

《インターネット(Mac OS)編》
インターネットを楽しむまでの手順



では、さっそく、インターネット接続を目指して、頑張ってみましょう。

手順を確認する

インターネットへ接続するためには、パソコン本体に[インターネット接続アシスタント]があるかどうかによって手順が異なります。
まず以下の手順で確認してください。

1 アップルメニューから［インターネットアクセス］をクリックします。

2 表示されたメニュー内に[インターネット接続アシスタント]があるかどうかを確認します。

※確認後は、メニューを閉じてください。

[インターネット接続アシスタント]が……

ある場合は… → 次ページ【[インターネット接続アシスタント]での接続手順】へ進んでください。

ない場合は… → 141 ページ【PPP ダイヤラでの接続手順】へ進んでください。

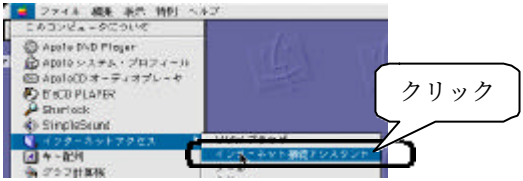
《インターネット(Mac OS)編》
[ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ接続ｱｼｽﾀﾝﾄ]での接続手順

ここでは、Mac OS の[インターネット接続アシスタント]でのインターネット接続手順について説明します。

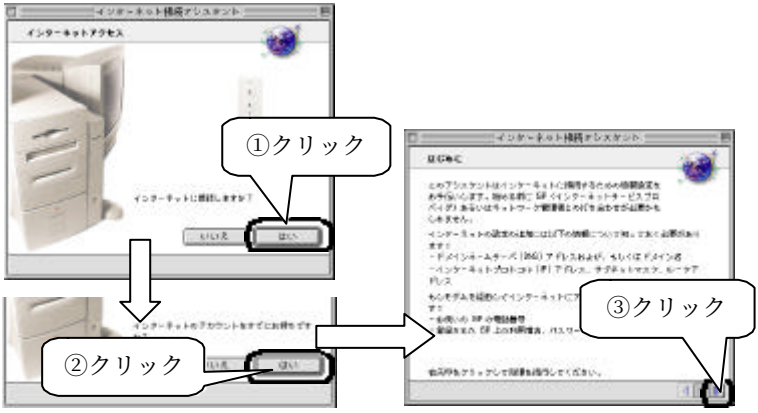
接続のための設定

1 アップルメニューから、[インターネットアクセス]→[インターネット接続アシスタント]を起動します。

※Mac OS9 の場合は、起動ディスク(例えば Macintosh HD)→[インターネット]フォルダ→[インターネット接続アシスタント]アイコンを順にダブルクリックして起動します。



2 [はい]ボタンをクリックして処理を進め、[はじめに]が表示されたら、内容を確認して、[▶]ボタンをクリックします。

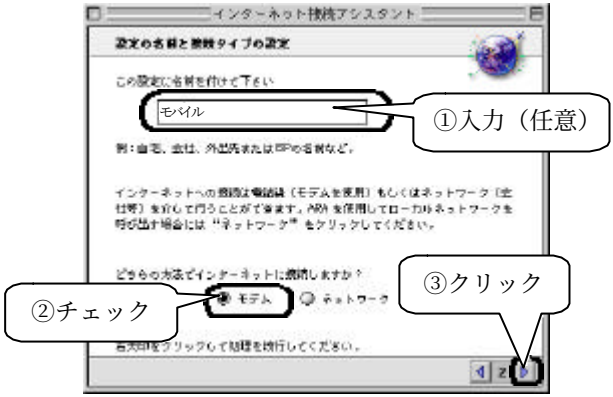


「情報がないか不適切」と表示された場合は…

【困ったときには】177 ページをご参照ください。

3

[設定の名称と接続タイプの設定]を下記のように行い、[▶]ボタンをクリックします。



4

[モデム設定]画面が表示されたら、以下の各設定を行います。
設定が終わったら、[▶]ボタンをクリックします。

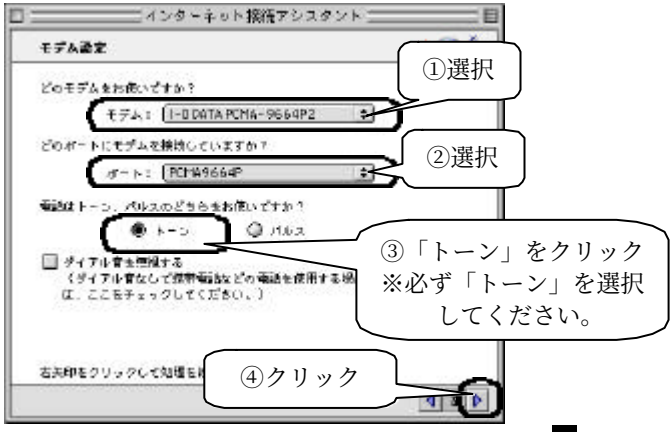
①[モデム：]は、[I-O DATA PCMA-9664P2]を選択します。

参考

お使いの電話機や通信方式により、[モデム] の選択が異なる場合があります。183 ページの【追加設定が必要なケース（モデムの選択による設定）】をご参照いただき、必要なモデムの種類をお調べください。

②[ポート：]は、[PCMA9664P]を選択します。

③[ダイヤル：]は、[トーン]をチェックします。

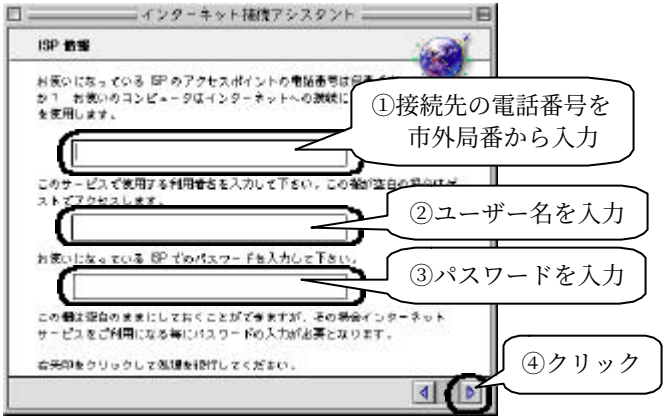


モデムに[I-O DATA PCMA-9664P2]と表示されない場合は…

【困ったときには】177 ページをご参照ください。

5 [ＩＳＰ情報（プロバイダからの通知情報）を下記のように設定し、[▶]ボタンをクリックします。

入力内容がわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。



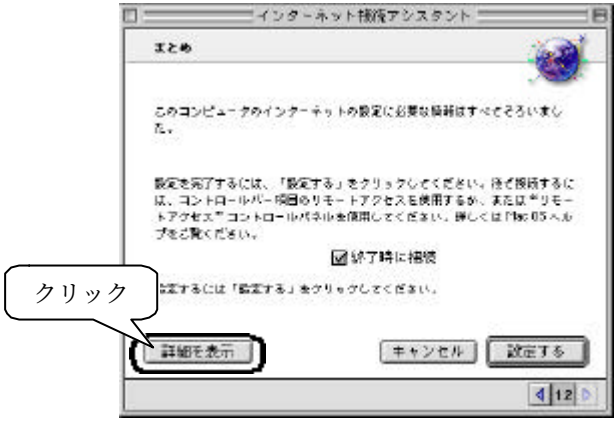
参考

設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。
・電話機（cdmaOne 含む）、ドッチーモでＰＤＣ 通信をするとき：
一般のモデムと同じ接続先
・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき:PIAFS（32K、64K）対応の接続先
・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

6 後は画面の指示にしたがって、適切な内容を設定してから、[▶]ボタンをクリックして、処理を進めてください。

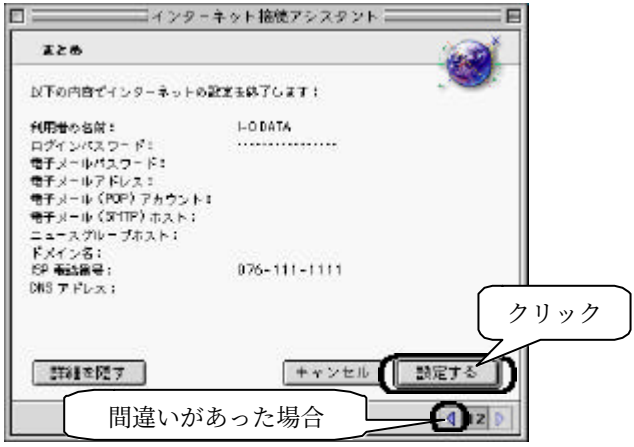
入力内容がわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。

7 下記の画面が表示されたら、[詳細を表示]ボタンをクリックします。



8 以下の画面が表示されるので、設定した内容を確認後、[設定する]ボタンをクリックします。

内容に間違いがあった場合は、[◀]ボタンをクリックして、必要な設定画面に戻り、内容を修正してください。



これで、インターネット接続の準備は完了しました。
手順 **7**の画面で[終了時に接続]がチェックされているので、この後は、自動的に接続画面が表示されます。139 ページの手順 **2**へ進んでください。
なお、次回接続時からは次ページの手順 **1**から始めてください。

インターネットを楽しもう

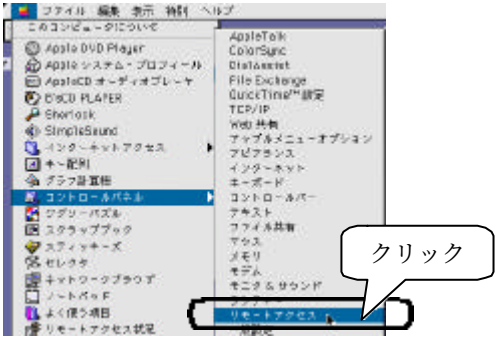
電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

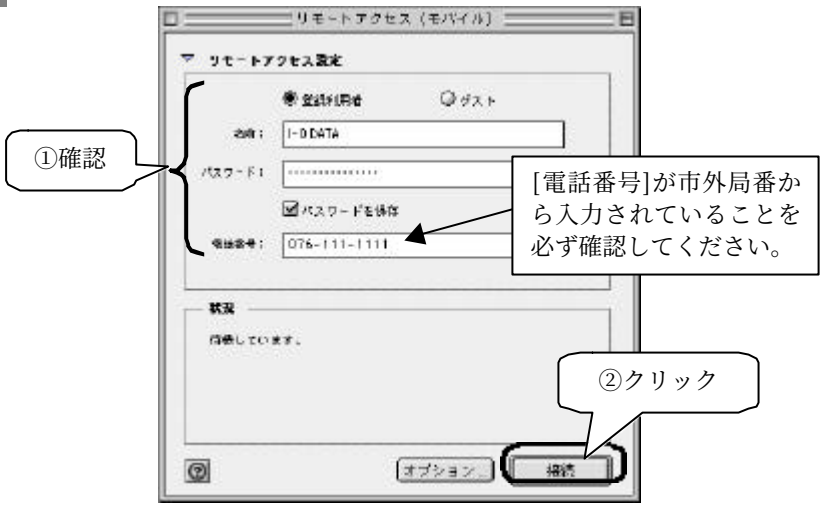
本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。電話機の電波が弱い場合は、正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

前ページの設定から引き続き行っているときは、次ページの手順 ***2***から始まります。

1 アップルメニューから[コントロールパネル]→[リモートアクセス]を起動します。



2 内容を確認して、[接続]ボタンをクリックします。



3 状況欄に下記のように表示されたら、接続完了です。

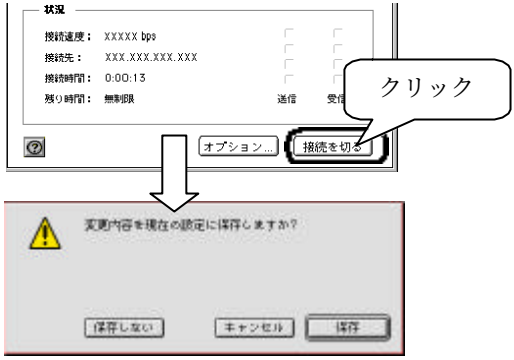
状況欄に
「この電話番号は話し中です」
と表示される場合は…

【困ったときには】177 ページをご参照ください。

4 ブラウザや電子メールを開いて、インターネットをお楽しみください。

5 インターネットの使用が終わったら、[接続を切る]ボタンをクリックします。

これで電話機の通話が切断され、通信が終了します。



注意！

1. 変更内容とは、前ページ手順２の内容です。接続先の電話番号やユーザー名、パスワードなどを変更してから接続した場合は[保存] ボタンをクリックしてください。次回からその内容が最初に表示されます。

2. ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[接続を切る] ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、[状況] が[待機しています] となっていることを必ずご確認ください。

3. ここで表示される接続速度はパソコンと本製品間の通信速度になります。

4. 電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

《インターネット(Mac OS)編》
PPP ダイヤラでの接続手順

ここでは、Mac OS に[インターネット接続アシスタント]が無い場合のインターネット接続手順（PPP ダイヤラでの接続手順）について説明します。

接続のための設定

[インターネット接続アシスタント]が無い場合に、インターネット接続をするためには、下記のソフトウェアが必要となります。
お使いのパソコンにインストールされていることを確認してください。

- TCP/IP プロトコル（インターネットに必要な通信手順）
- PPP ダイヤラ（電話回線を用いてプロバイダにダイヤルアップ IP 接続するためのソフトウェア）

ここでは、PPP ダイヤラとして[OpenTransportPPP]を例にして説明します。

注意！

1.本製品には[TCP/IP プロトコル]および[PPP ダイヤラ]は付属しておりません。パソコン本体に無い場合はお客様各自でご用意願います。
2.TCP/IP プロトコル最新版の入手方法に関しては、アップルコンピュータ株式会社のアップルカスタマーアシスタントセンター(CAC)にお問い合わせください。

■TCP/IP プロトコルの設定■

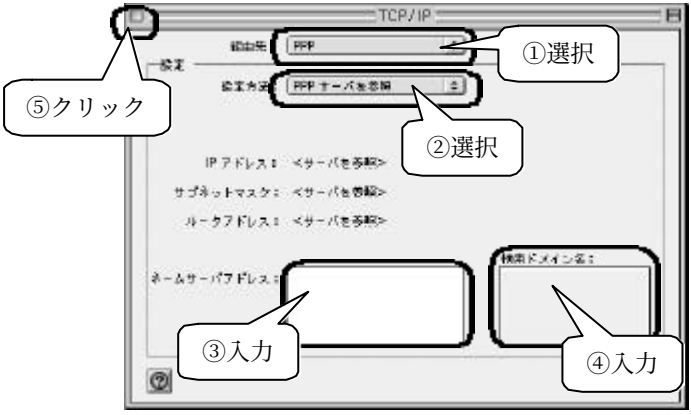
1

[システム]フォルダ内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[TCP/IP]アイコンをダブルクリックします。

2

[TCP/IP 設定]画面が表示されたら、以下の各設定を行います。
設定が終わったら、[TCP/IP 設定]画面を閉じます。

①[経由先：]は、プルダウンメニューから[PPP]を選択します。
②[設定方法：]は、[PPP サーバーを参照]を選択します。
③[ネームサーバーアドレス：]には、ご契約したプロバイダから案内されている IP アドレス（DNS アドレス）を入力します。
④[検索ドメイン名：]には、ご契約したプロバイダから案内されているドメイン（DNS サーバー名称）を入力します。
※③④の設定内容の詳細については、プロバイダにご確認ください。



これで TCP/IP プロトコルの設定は終わりです。
引き続き、次ページの【PPP ダイヤラの設定】へ進んでください。

■PPP ダイヤラの設定■

ここではPPPダイヤラとして、OpenTransportPPP を使用する場合の手順を説明します。

1 [システム]フォルダ内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[モデム]アイコンをダブルクリックします。

2 [モデム]画面が表示されたら、以下の各設定を行います。
設定が終わったら、[モデム]画面を閉じます。

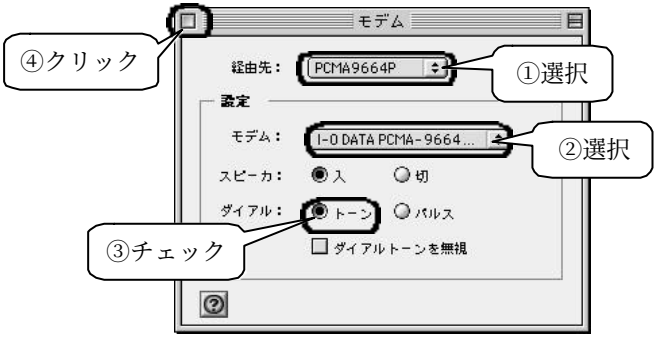
①[経由先：]は、本製品を接続しているカードスロットもしくはカード名を選択します。

②[モデム：]は、[I-O DATA PCMA-9664P2]を選択します。

参考

お使いの電話機や通信方式により、[モデム] の選択が異なる場合があります。183 ページの【追加設定が必要なケース（モデムの選択による設定）】をご参照いただき、必要なモデムの種類をお調べください。

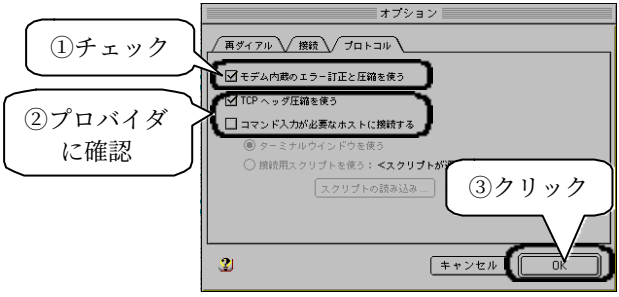
③[ダイヤル：]は、[トーン]をチェックします。



3 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[PPP]アイコンをクリックし、[PPP]画面で[オプション]ボタンをクリックします。

4 以下の設定を行います。

①[モデム内蔵のエラー訂正と圧縮を使う]にチェックします。
②[TCP ヘッダ圧縮を使う]および[コマンド入力が必要なホストに接続する]のチェックは、各プロバイダに確認してください。
③設定後、[OK]ボタンをクリックします。



5 設定が終わったら、[PPP]画面を閉じます。

これで、インターネット接続の準備は完了しました。
次ページの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネット接続を行ってみましょう。

インターネットを楽しもう

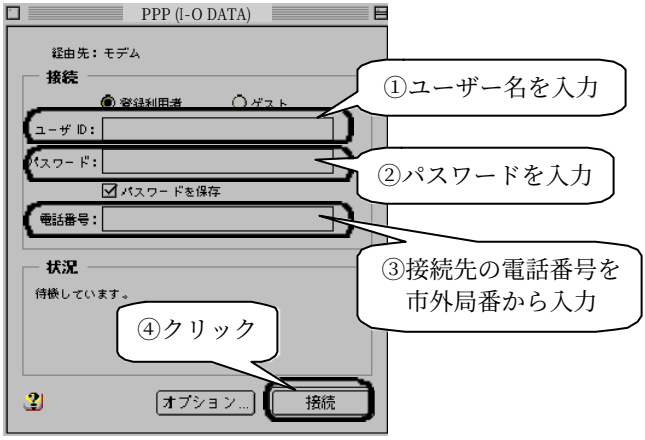
電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。電話機の電波が弱い場合は、正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

1 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[PPP]をクリックします。

2 ISP 情報（プロバイダからの情報）を以下のように設定し、[接続]ボタンをクリックします。



参考

設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。
・電話機（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき：一般のモデムと同じ接続先
・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき：PIAFS 32K、64K）対応の接続先
・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

3 状況欄に以下のように表示されたら、接続完了です。

表示される速度は環境により異なります。

状況欄に
「この電話番号は話し中です」
と表示される場合は…

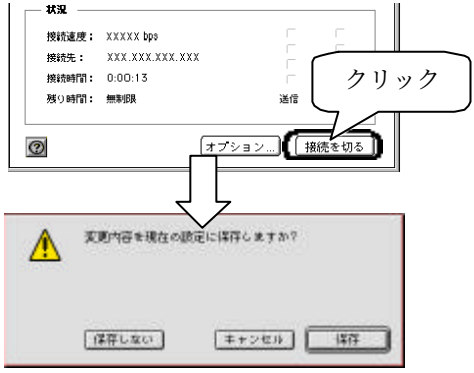
【困ったときには】177 ページをご参照ください。

4 ブラウザや電子メールを開いて、インターネットをお楽しみください。

5 インターネットの使用が終わったら、[接続を切る]ボタン※をクリックします。

これで電話機の通話が切断され、通信が終了します。

※ご使用の PPP によっては[切断]ボタンや[解除]ボタンなどの場合があります。



注意！

1.変更内容とは、145 ページ手順 2 の内容です。接続先の電話番号やユーザー名、パスワードなどを変更してから接続した場合は[保存] ボタンをクリックしてください。次回からその内容が最初に表示されます。

2.ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[接続を切る] ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、[状況] が[待機しています。] となっていることを必ずご確認ください。

3.ここで表示される接続速度はパソコンと本製品間の通信速度になります。

4.電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

《インターネット(漢字 Talk)編》
インターネットを楽しむまでの手順

プロバイダと契約する

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。
契約後、接続のためのユーザー名，パスワード、接続先の電話番号などをプロバイダから教えてもらいます。接続にはこれらの情報が必要です。

↓

接続のための設定（149ページ）

[TCP/IP プロトコル]（本書例は[OpenTransport]）および[PPP ダイヤラ]（本書例は[ConfigPPP]および[FreePPP]）を使って、インターネット接続のために必要な設定を順番に行っていきます。
この設定を行うとき、プロバイダから教えてもらったユーザー名などの情報が必要になります。

↓

インターネットを楽しもう（159ページ）

本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

では、さっそく、インターネット接続を目指して、頑張りましょう。

《インターネット(漢字 Talk)編》
接続のための設定

下記の操作は、初めて本製品を使うときだけ行います。
すでにプロバイダ（ISP）との契約が済み、ユーザー名などの情報を持っていることを確認してから、始めてください。（以下の設定終了時には、インターネットへの接続も行いますので、電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認しておいてください。）

接続のための設定

ダイヤルアップ IP 接続を行うためには、下記のソフトウェアが必要となります。
お使いのパソコンにインストールされていることを確認してください。

- TCP/IP プロトコル（インターネットに必要な通信手順）
- PPP ダイヤラ（電話回線を用いてプロバイダにダイヤルアップ IP 接続するためのソフトウェア）

ここでは、PPP ダイヤラとして[ConfigPPP]と[FreePPP]を例にして説明します。

注意！

1.本製品には[TCP/IP プロトコル]および[PPP ダイヤラ]は付属しておりません。パソコン本体に無い場合はお客様各自でご用意願います。
2.TCP/IP プロトコル最新版の入手方法に関しては、アップルコンピュータ株式会社のアップルカスタマーアシスタントセンター(CAC)にお問い合わせください。
3.バージョンによっては画面や操作が異なる場合があります。

■TCP/IP プロトコルの設定■

1 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[TCP/IP]アイコンをダブルクリックします。

2 [TCP/IP 設定]画面が表示されたら、以下の各設定を行います。
設定が終わったら、[TCP/IP 設定]画面を閉じます。

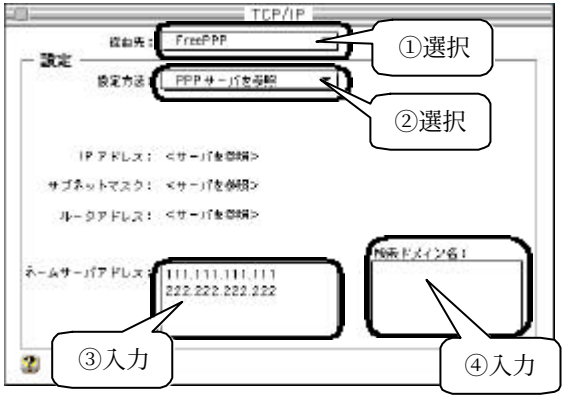
①[経由先：]は、プルダウンメニューからご利用になる PPP ダイヤラの名称を選択します。

②[設定方法：]は、[PPP サーバーを参照]を選択します。

③[ネームサーバーアドレス：]には、ご契約したプロバイダから案内されている IP アドレス（DNS アドレス）を入力します。

④[検索ドメイン名：]には、ご契約したプロバイダから案内されているドメイン（DNS サーバー名称）を入力します。

※③④の設定内容の詳細については、プロバイダにご確認ください。



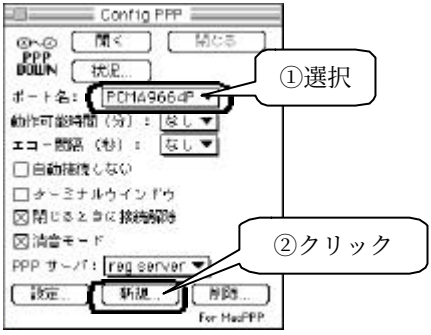
これで TCP/IP プロトコルの設定は終わりです。
引き続き、次ページの【PPP ダイヤラの設定】へ進んでください。

■PPP ダイヤラの設定(ConfigPPP の場合) ■

ここでは、PPP ダイヤラとして、ConfigPPP を使用する場合の手順を説明します。
FreePPP をお使いの場合は 154 ページを参照してください。

1 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダ内にある[ConfigPPP]アイコンをダブルクリックします。

2 [ポート名:]に[PCMA-9664P]を選択し、[新規]ボタンをクリックします。



3 [PPP サーバー名:]に、接続先のプロバイダ名などを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

4 手順 **1**の画面に戻るので、[設定]ボタンをクリックします。

5 以下の内容を設定し、[認証]ボタンをクリックします。

①[トーン][パルス]：[トーン]をチェックします。

②[電話番号]：プロバイダのアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。

③[モデム初期値]：必要なATコマンド※を入力します。

※下記「注意」をご参照ください。

ドッチーモなどの複合機で、PHS 通信（フォールバックなし）をする場合の例

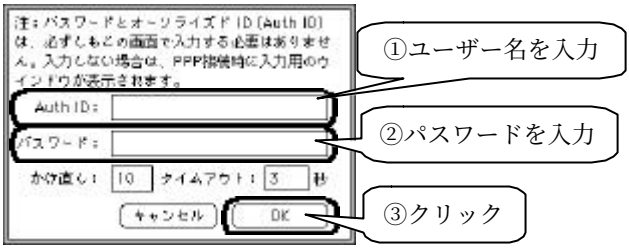
注意！

1.[モデム初期値] 欄に入力する文字はすべて半角文字で入力してください。

2.182 ページの「■追加設定が必要なケース(AT コマンド/ 電話番号末尾による設定)」をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。「AT コマンド」欄に設定文字が書かれている場合は、設定文字を[モデム初期値] 欄に入力してください。追加設定が不要な場合は[AT&F] と入力してください。

3.[モデム初期値] 欄に入力するAT コマンドの意味や詳細は、サポートソフトCD-ROM のmanual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。

6 ISP 情報（プロバイダからの通知情報）を下記のように入力し、[OK] ボタンをクリックします。



7 手順 **4**の画面に戻るので、[終了]ボタンをクリックします。

これで ConfigPPP の設定は終了しました。
159 ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネット接続を行ってみましょう。

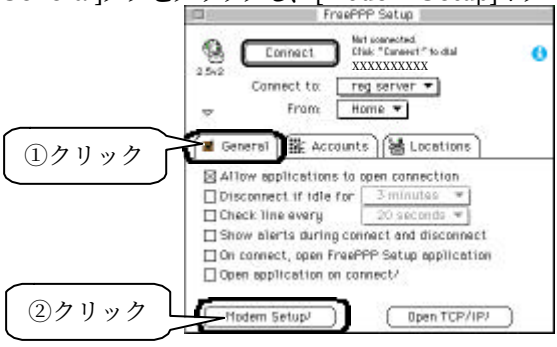
■PPP ダイヤラの設定(FreePPP の場合) ■

ここでは、PPP ダイヤラとして、FreePPP を使用する場合の手順を説明します。
ConfigPPP をお使いの場合は 151 ページを参照してください。

1 メニューバーの電話のアイコンをプレス(マウスのボタンを押し続ける) し、[Open FreePPP Setup]を選択します。
（電話のアイコンが無い場合は、FreePPP インストール先の[Open FreePPP Setup]をダブルクリックします。）

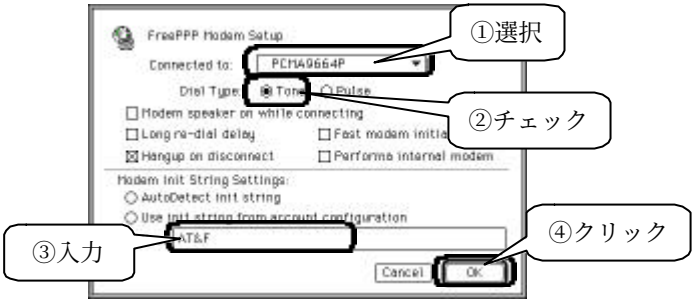
2 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]フォルダの[FreePPP]をダブルクリックし、画面左下にある小さな三角のボタンをクリックします。

3 [General]タブをクリックし、[Modem Setup]ボタンをクリックします。



4 以下の内容を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

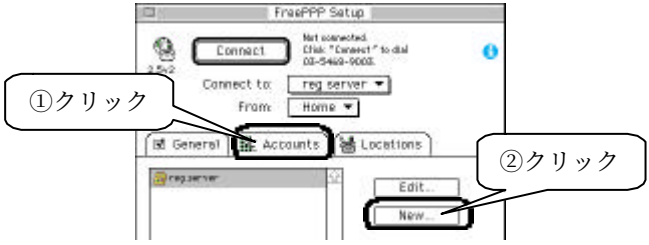
①[Connected to：]：[PCMA9664P]を選択します。
②[Dial Type：]：[Tone]をチェックします。
③[Modem Init String Setting：]：必要な AT コマンド※を入力します。
※下記「注意」をご参照ください。



注意！

1. [Modem Init String Setting] 欄に入力する文字はすべて半角文字で入力してください。
2. 182 ページの「■追加設定が必要なケース(AT コマンド/ 電話番号末尾による設定)」をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。「AT コマンド」欄に設定文字が書かれている場合は、設定文字を[Modem Init String Setting] 欄に入力してください。追加設定が不要な場合は[AT&F] と入力してください。
3. [Modem Init String Setting] 欄に入力するAT コマンドの意味や詳細は、サポートソフト CD-ROM のmanual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。

5 前ページ手順 *3*の画面に戻りますので、[Accounts]タブをクリックし、[New]ボタンをクリックします。

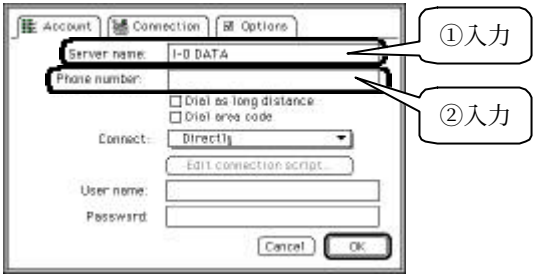


6 以下の内容を入力します。

[Server name：]：プロバイダの名称などを入力します。

[Phone Number：]：プロバイダのアクセスポイントの電話番号※を市外局番から入力します。

※下記「参考」をご参照ください。

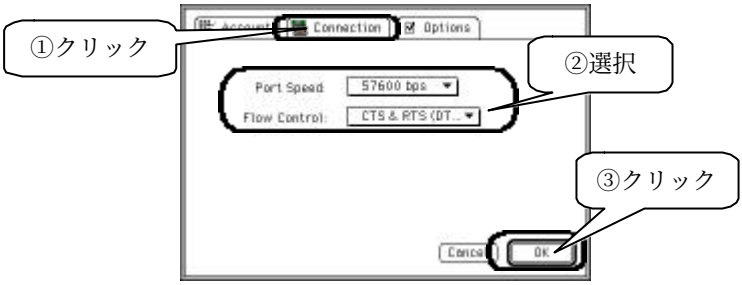


参考

1. 設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。
   ・電話機（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき：
   一般のモデムと同じ接続先
   ・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき：PIAFS（32K、64K）対応の接続先
   ・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
   詳しくはプロバイダにお問い合わせください。
2. お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります※。182 ページ【追加設定が必要な場合】をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。電話番号末尾欄に設定文字が書かれている場合は、「076-111-1111#32」（PHS で32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例）のように電話番号に追加してください。
   ※152 ページ手順 **5** または155 ページ手順 **4** でAT コマンドを入力した場合は、電話番号の末尾に追加設定は不要です。

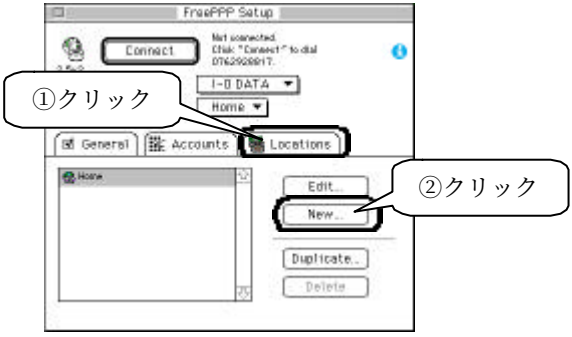
7

[Connection]タブをクリックして以下のように設定し、[OK]ボタンをクリックします。



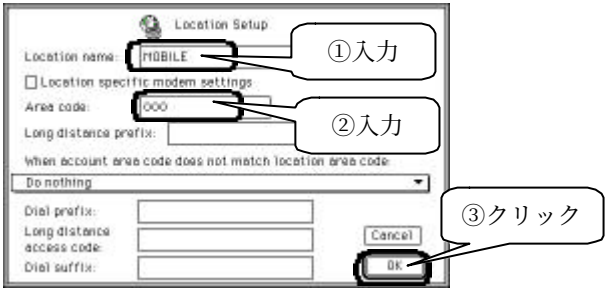
8

154 ページ手順 ***3***の画面に戻るので、[Locations]タブをクリックし、[New]ボタンをクリックします。



9 以下のように設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No.	項目	設定内容
①	Location name	任意の登録名を入力
②	Area code	[000]等存在しない数値を入力 ※携帯電話や PHS は市外局番から発信するので、 このような値を仮に設定しておきます。



10 154 ページ手順 **3**の画面に戻るので、画面左上のクローズボタンをクリックします。

これで ConfigPPP の設定は終了しました。
次ページの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネット接続を行ってみましょう。

《インターネット(漢字 Talk)編》
インターネットを楽しもう

電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

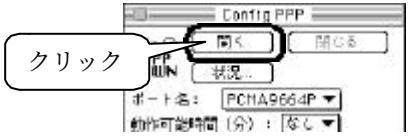
本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。電話機の電波が弱い場合は、正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

ここでは、FreePPP と ConfigPPP の場合に分けてインターネットへの接続について説明します。

■ConfigPPP の場合■

1 [システムフォルダ]内の[コントロールパネル]の[Config PPP]または[FreePPP]をダブルクリックします。

2 [開く]または[接続]ボタンをクリックします。
プロバイダへ接続し、インターネットが利用できるようになります。
接続できないときは、[状況]ボタンをクリックしてみてください。



3 接続が終わったら、[閉じる]または[解除]ボタンをクリックします。

■FreePPP の場合■

1 メニューバーの電話のアイコンをプレス（マウスのボタンを押し続ける）し、[Open PPP Connection]を選択します。

2 接続が終わったら、電話のアイコンメニューから
[Close PPP Connection]を選択します。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

8 付　録

ここでは、以下のことを説明します。必要に応じてお読みください。

P162　困ったときには＜目次＞

うまく取り付けできない、思ったように動作しないときなどには、同じ現象がないかどうか、まず、ここを参照ください。

P164　困ったときには＜内容＞

ここには問題の現象とその対処方法が書かれています。問題の大半はすぐに解決できることです。是非、お試しください。
なお、ここには添付ソフトの操作上の疑問などは書いてありません。添付ソフトの詳細については、それぞれのオンラインマニュアルなどをご参照ください。

P179　サービス品（添付ソフト）について

サービス品の添付ソフトについて説明してあります。

P182　追加設定が必要な場合

ご使用の電話機や通信方式によって追加設定が必要な場合があります。ここには、必要なケースや設定内容をまとめてあります。

P184　ハードウェア仕様

本製品の基本仕様を説明してあります。

P186　用語解説

本製品に関する基本的な用語を簡単に説明してあります。

困ったときには＜目次＞

ケーブル接続時のトラブル（Windows、Macintosh 共通編）

状態	参照頁
接続ケーブルのコネクタが本製品に入らない	164
接続ケーブルのコネクタが電話機の接続コネクタに入らない	

状態	参照頁
本製品を接続してもインストール画面が表示されない	165
「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」または「指定の場所にはお使いのハードウェアに関する情報がありません」と表示される	166
インストール終了後の確認で、「I-O DATA PCMA-9664P2」の先頭に「！」マークが付いている	
インストール終了後の確認で、「I-O DATA PCMA-9664P2」が表示されない	167
インストール終了後の確認で、「ポートが開けません」と表示されたり、応答がない	168
ダイヤルアップネットワークが表示されない（Windows 98/95）	170
ダイヤルアップアダプタや TCP/IP が表示されない（Windows 98/95）	172

インターネット接続時のトラブル（Windows 編）

状態	参照頁
ダイヤルアップ接続を行っても、[接続インジケータ]が表示されない	175
「回線が使用中です」と表示される	176
「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」と表示される	
「ダイヤル先のコンピュータから切断されました」と表示される	

インターネット接続時のトラブル（Macintosh 編）

状態	参照頁
「情報がないか不適切」と表示される	177
モデムやポートに「I-O DATA PCMA-9664P2」と表示されない	
状況欄に「この電話番号は話し中です」と表示される	
「利用者として認証されませんでした」と表示される	178
「お使いのモデムが正しく応答しません」と表示される	

困ったときには＜内容＞

ケーブル接続時のトラブル (Windows、Macintosh 共通編)

接続ケーブルのコネクタが本製品に入らない

原因 接続ケーブルのコネクタが正しくない。

対処 接続ケーブルの両端のコネクタは形状が異なります。本製品側に差し込むコネクタかどうかを確認してください。【接続ケーブルを取り付ける】10 ページを参照してください。

原因 コネクタの向き(裏表)が正しくない。

対処 コネクタの向き(裏表)を変えて、もう１度差し込んでください。向き(裏表)が一致していれば、コネクタを差し込むのにそんなに力は要りません。

接続ケーブルのコネクタが電話機の接続コネクタに入らない

原因 接続ケーブルが使用する電話機に合っていない。

対処 本製品は、使用する電話機によって４本のケーブルを使い分けるようになっています。どの電話機にどの接続ケーブルを使うかは【接続ケーブルの見分け方】8 ページを参照してください。

原因 コネクタの向き(裏表)が正しくない。

対処 コネクタの向き(裏表)を変えて、もう１度差し込んでください。向き(裏表)が一致していれば、コネクタを差し込むのにそんなに力は要りません。

原因 電話機の接続コネクタが違う。

対処 電話機によって接続コネクタの位置が異なります。また接続コネクタにはカバーがかかっていますので、電話機の取扱説明書も合わせて参照してください。

インストール時のトラブル（Windows編）

本製品を接続してもインストール画面が表示されない

原因 パソコンの PC カードスロットに、本製品がきちんと接続していない。

対処 本製品が、パソコンの PC カードスロットに奥まできちんと挿入されていることを確認してください。また、挿入の際にはカードの裏表も確認してください。

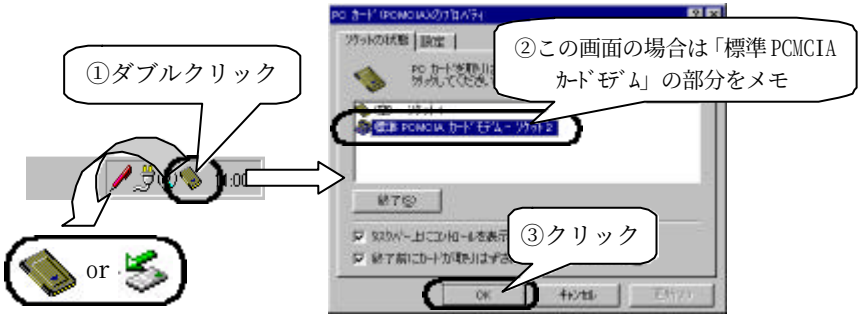
原因 PC カードドライバが 32 ビットになっていない。（Windows 95 のみ）

対処 【PC カードのドライバの確認】（22 ページ）をご参照になり、32 ビットカードドライバをインストールしてください。

原因 すでに何らかの形でインストールされ、誤認識されている。

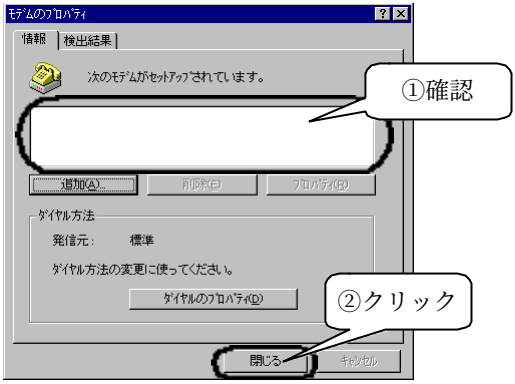
対処 本製品を差し込んだ状態で、以下の手順でドライバを削除後、もう1度、インストールをやり直してください。

1 画面右下のタスクトレイに表示されている［PCカード］アイコンをダブルクリックします。挿入したPCカードスロットに表示されるモデム名の名称をメモした後、［ＯＫ］ボタンをクリックして画面を閉じます。



2 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を開き、［モデム］アイコンをダブルクリックします。***1***でメモしたモデムを選択して、［削除］ボタンをクリックします。

3 指定したモデムが削除されます。
指定したモデムが消えたことを確認し、[閉じる]ボタンをクリックして画面を閉じます。



4 本製品をPCカードスロットから取り外してください（取り外し方については、【使用中に取り外す場合の注意事項】(Windows 98/95は38ページ）を参照してください）。再度、挿入するとインストールが始まりますので、もう１度、インストールを行ってください。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」または「指定の場所にはお使いのハードウェアに関する情報がありません」と表示される

原因 挿入したCD-ROMまたは指定したフォルダが間違っている。

対処 挿入したCD-ROMが「PCMA-9664P2サポートソフト」CD-ROMであることを確認してください。
[参照]ボタンをクリックして、CD-ROMの[WIN9X]フォルダを指定してください。

インストール終了後の確認で、「I-O DATA PCMA-9664P2」の先頭に「!」マークが付いている

原因 正しくインストールされていない。

対処 インストールした情報をいったん削除してから、もう１度、インストールしてみてください。
Windows 98/95の場合：【インストールした情報を削除する場合】40ページおよび【サポートソフトのインストール】17ページを参照
Windows 2000の場合：【インストールした情報を削除する場合】76ページおよび【サポートソフトのインストール】61ページを参照

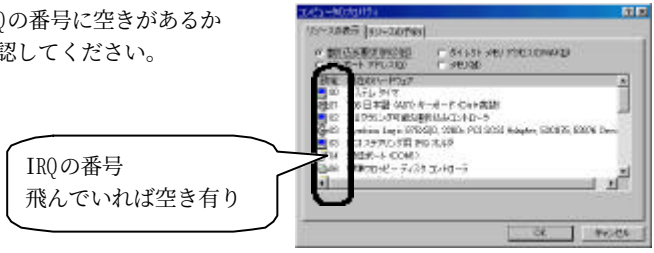
原因 パソコンによっては起動直後にPCカードを挿入すると「！」マークが表示される場合がある。

対処 本製品を接続したまま、パソコンを再起動してください。

原因 リソースが競合している。

対処 本製品を取り外してから、下記の方法で、IRQの空きがあるかどうか確認してください。

1. [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選び、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
2. 一番上に表示されている[コンピュータ]の部分をダブルクリックします。
3. IRQの番号に空きがあるか確認してください。



空きがない場合は、使用していないデバイスを取り外すなどして、空きを作ってから、本製品を接続してください。

インストール終了後の確認で、「I-O DATA PCMA-9664P2」が表示されない

原因 パソコンのPCカードスロットに、本製品がきちんと接続されていない。

対処 一度PCカードスロットから本製品を抜き、もう一度パソコンのPCカードスロットに最後まできちんと本製品を接続し直してみてください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 インストールした情報をいったん削除してから、もう1度、インストールしてみてください。

Windows 98/95の場合：【インストールした情報を削除する場合】40ページおよび【サポートソフトのインストール】17ページを参照

Windows 2000の場合：【インストールした情報を削除する場合】76ページおよび【サポートソフトのインストール】61ページを参照

インストール終了後の確認で、「ポートが開けません」と表示されたり、応答がない

原因 パソコンの PC カードスロットに、本製品がきちんと挿入されていない。

対処 一度 PC カードスロットから本製品を抜き、もう一度パソコンの PC カードスロットに最後まできちんと本製品を挿入し直してみてください。

原因 リソースが競合している（内蔵モデムが使用しているポートと競合している場合もあります）。

対処 本製品をPCカードスロットに差し込んだ状態で、次の手順を行って、リソースを変更してみてください。
変更が終わったら、もう１度、インストール終了後の確認を行ってください。

■確認手順

1 [マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]を選び、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

2 [ポート(COM/LPT)]をダブルクリックし、[COMx]（例 COM1、COM2など）と表示されているものがある場合は、その番号をメモします。

3 [モデム]をダブルクリックし、本製品以外のモデムが存在するかどうかを確認します。存在する場合は、そのモデムをダブルクリックし、[モデム]タブをクリックして、COM番号（例 COM1、COM2など）をメモし、[キャンセル]ボタンをクリックして画面を閉じます。

4 [モデム]に表示されている[I-O DATA PCMA-9664P2]をダブルクリックし、[リソース]タブをクリックして、[I/Oの範囲]を確認します。

5 下記表を参考にして、現在、存在しないCOM番号に対応する[I/Oの範囲]をメモします。次の「■変更の詳細手順」を行って、[I-O DATA PCMA-9664P2]の[I/Oの範囲]を、メモした値に変更してください。

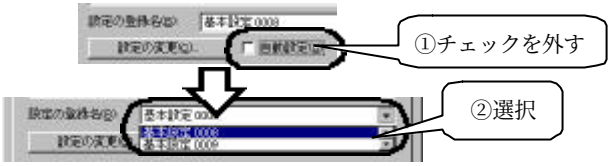
COM 番号と使用している[I/O の範囲]

COM 番号	I/O の範囲
COM1	03F8～03FF
COM2	02F8～02FF
COM3	03E8～03EF
COM4	02E8～02EF

例）手順**2**で「通信ポート（COM1）」があり、手順**3**で「内蔵モデム（COM2）」が使用されていた場合、「I-O DATA PCMA-9664P2」の[I/O の範囲]は、COM3 か COM4 の値にします。

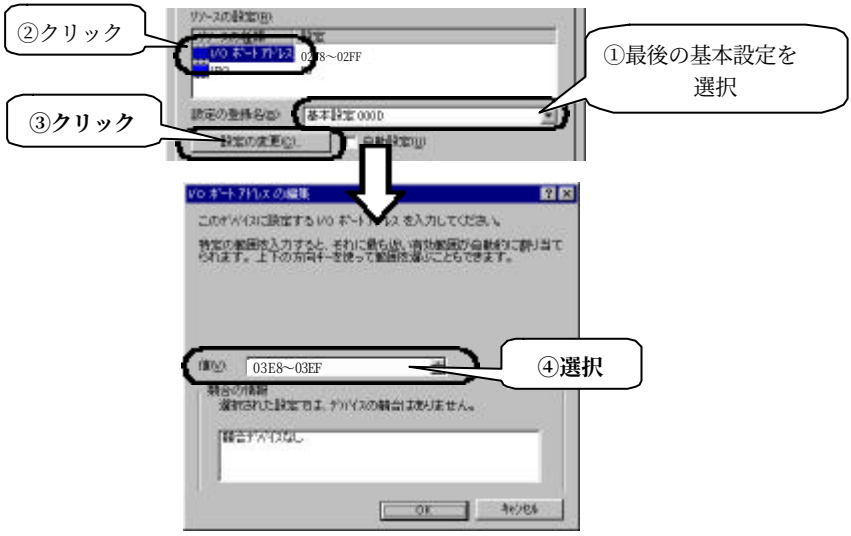
■変更の詳細手順

1 [自動設定]のチェックを外してから、[設定の登録名]の中から、[I/0の範囲]が競合（重複）していない値になる基本設定を探します。
（割り込みは変更不要ですが、「競合するデバイスなし」となる値であれば、４以外に変更可能）
競合しない値が見つかったときは、手順**3**へ進みます。



2 競合しない基本設定が見つからなかった場合

1. 基本設定を最後の選択肢にします。
2. [I/0ﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ]をクリックします。
3. [設定の変更]ボタンをクリックします。
4. 値の編集画面になるので、変更したい値にします。



3 [ＯＫ]ボタンをクリックしながら、順番に画面を閉じて行きます。リソースが手動で変更されているメッセージが表示されるので[はい]ボタンをクリックして続行します。再起動が要求されたら、再起動してください。
変更が終わったら、もう１度、【インストール終了後の確認】を行ってください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 インストールした情報をいったん削除してから、もう１度、インストールしてみてください。
Windows 98/95 の場合：【インストールした情報を削除する場合】40 ページおよび【サポートソフトのインストール】17 ページを参照
Windows 2000 の場合：【インストールした情報を削除する場合】76 ページおよび【サポートソフトのインストール】61 ページを参照

ダイヤルアップネットワークが表示されない (Windows 98/95)

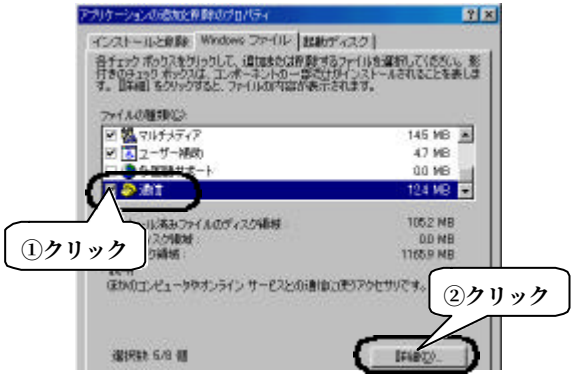
原因 ダイヤルアップネットワークがインストールされていない。

対処 下記の手順でダイヤルアップネットワークをインストールします。

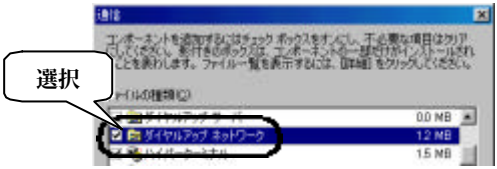
1 [アプリケーションの追加と削除]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

2 [Windowsﾌｧｲﾙ]タブをクリックします。
表示が切り替わるまでに時間がかかります。お待ちください。

3 [通信]をクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。

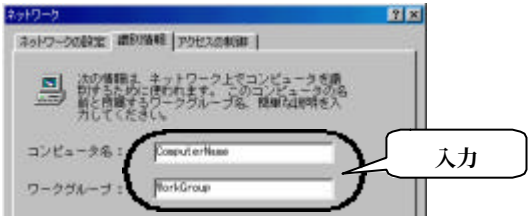


4 [ダイヤルアップネットワーク]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



5 手順**3**の画面に戻るので、[OK]ボタンをクリックします。
WindowsのCD-ROMを用意し、画面の指示にしたがって処理を進めます。

6 下記の画面になったら、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名とﾜｰｸｸﾞﾙｰﾌﾟ名を入力し、[閉じる]ボタンをクリックします。これらの名称はインターネットを使うときには使用しないので、適当な名称を入力してください（「コンピュータの説明」は省略可）。



7 [OK]ボタンをクリックします。
インストールが終わったら、パソコンを再起動します。
[ケーブル接続]はインターネットを使うときには不要ですので、インストールは行いません。

8 Windowsが再起動すると、下記の画面が表示されるので、[キャンセル]ボタンをクリックします。

ダイヤルアップアダプタや TCP/IP が表示されない (Windows 98/95)

原因 ダイヤルアップアダプタやTCP/IPがインストールされていない。

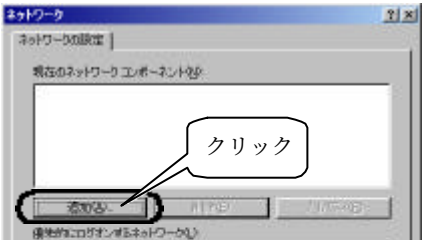
対処 下記の手順でダイヤルアップアダプタやTCP/IPをインストールします。

●「ダイヤルアップアダプタ」と「TCP/IP」の両方の表示が無い場合のインストール手順

以下の手順で「TCP/IP」をインストールすることによって、両方とも（「ダイヤルアップアダプタ」と「TCP/IP」）がインストールされます。

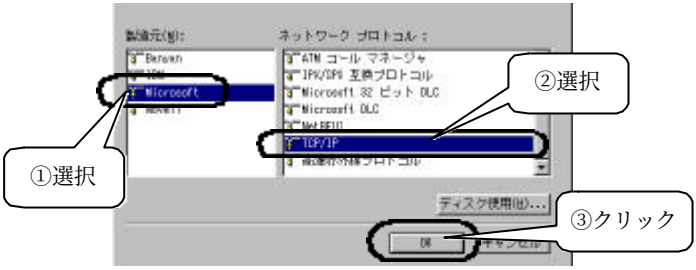
1 [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [追加]ボタンをクリックします。



3 [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

4 [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[ＯＫ]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

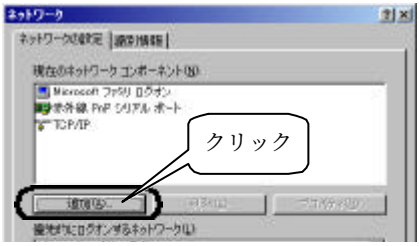


5 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

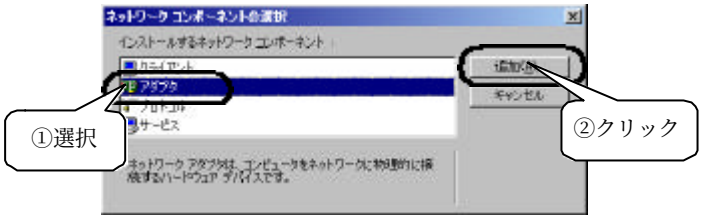
●「ダイヤルアップアダプタ」のみ表示が無い場合のインストール手順（「TCP/IP」の表示がある場合）

1 [ネットワーク]を起動します。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [追加]ボタンをクリックします。



3 [アダプタ]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



4 [Microsoft]の[ダイヤルアップアダプタ]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

5 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

インターネット接続時のトラブル（Windows 編）

ダイヤルアップ接続を行っても、[接続インジケータ]が表示されない。

原因
パソコンの PC カードスロットに、本製品がきちんと挿入されていない。

対処
一度 PC カードスロットから本製品を抜き、もう一度パソコンの PC カードスロットに最後まできちんと本製品を挿入し直してみてください。

原因
正しくインストールされていない。

対処
正しくインストールされていることを確認してください。
Windows 98/95 の場合
【インストール終了後の確認と設定】30 ページを参照
Windows 2000 の場合
【インストール終了後の確認と設定】66 ページを参照

原因
電話機の電源が入っていない。

対処
電話機の電源を入れてからもう１度ダイヤルアップ接続してください。

原因
電話機の接続コネクタに、本製品に取り付けたケーブルが正しく接続されていない。

対処
電話機の接続コネクタにケーブルをきちんと差し込んでから（カチッと音がするまで）もう１度ダイヤルアップ接続してください。

原因
所在地情報で設定した市外局番が「000」になっていない、または、ダイヤル方法（トーン）の指定が違っている。

対処
設定した内容を確認してください。
Windows 98/95 の場合：【モデムの確認と設定】31 ページを参照
Windows 2000 の場合：【モデムの確認と設定】67 ページを参照

原因
接続先の電話番号が違っている、または、お使いの電話機や通信方式に合ったアクセスポイントの電話番号になっていない。

対処
お使いの電話機や通信方式によって、使用するアクセスポイントの電話番号が異なる場合があります。プロバイダにお問い合わせください。電話番号を確認および変更するには下記のページを参照してください。
Windows 98/95 の場合：【設定を変更するとき】48 ページを参照
Windows 2000 の場合：【設定を変更するとき】89 ページを参照

原因 必要な追加設定が設定されていない。

対処 お使いの電話機や通信方式によって、AT コマンドや電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。【追加設定が必要な場合】182 ページを参照して、追加設定が必要かどうかご確認ください。

原因 接続先のアクセスポイントが混雑している。

対処 時間をおいてもう１度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

「回線が使用中です」と表示される。

原因 接続先のアクセスポイントが混雑している。

対処 [ＯＫ]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンを押します。時間をおいてもう１度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」と表示される

原因 接続先の電話番号が違っている。

対処 [ＯＫ]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンを押します。接続アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）入力してください。

原因 接続先のアクセスポイントが混雑している。

対処 [ＯＫ]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンを押します。時間をおいてもう１度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

「ダイヤル先のコンピュータから切断されました」と表示される

原因 接続先の電話番号が違っている。

対処 [ＯＫ]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル]ボタンを押します。接続アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）入力してください。

原因 ユーザー名やパスワードが違っている。

対処 [ＯＫ]ボタンを押し、接続画面が表示されたら、もう１度、ユーザー名やパスワードを入力し、[ＯＫ]ボタンを押します。アルファベットの大文字や小文字に注意してください。

インターネット接続時のトラブル（Macintosh 編）

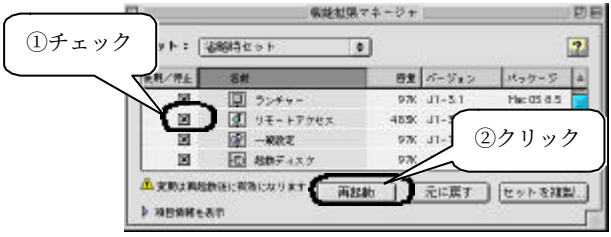
「情報がないか不適切」と表示される

原因 接続に必要なソフトウェア「リモートアクセス」がインストールされていない。

対処 画面を閉じると、「本当に終了してよろしいですか」と表示されるので、[終了]ボタンをクリックします。
下記の操作を行って「リモートアクセス」をインストールしてください。

1 アップルメニューから[コントロールパネル]→[機能拡張マネージャ]を開きます。

2 [リモートアクセス]に[×]印をつけて、[再起動]ボタンをクリックします。
画面の指示にしたがって、インストールを行ってください。



モデムに「I-O DATA PCMA-9664P2」と表示されない

原因 必要なモデム設定ファイルが「機能拡張」フォルダにコピーされていない。

対処 【必要なファイルをコピーする】129 ページを参照して、「機能拡張」フォルダに必要なモデム設定ファイルをコピーしてください。

状況欄に「この電話番号は話し中です」と表示される

原因 本製品に取り付けた電話機の「通話」ボタンをクリックしている。

対処 「HOLD」で通話を切り、電話機を切ってから、再度、通信ソフトの[接続]ボタンをクリックしてください。。

原因 接続先の電話番号が違っている。PHS や H"をご使用の場合、アクセスポイントが PIAFS 対応になっていない。

対処 プロバイダに PIAFS 対応の電話番号を確認してください。
また、市外局番から電話番号が入力されていることも確認してください。

原因 接続先のアクセスポイントが混雑している。

対処 時間をおいてから、再度[接続]ボタンをクリックするか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を入力してから[接続]ボタンをクリックしてください。

原因 ダイヤル方法（トーン）の指定が違っている。

対処 ダイヤル方法が「トーン」になっているか確認してください。

Mac OS → ・インターネット接続アシスタント：135 ページ手順 ***4***
・PPP ダイヤラ：143 ページ手順 ***2***

漢字 Talk → ・ConfigPPP：152 ページ手順 ***5***
・FreePPP：155 ページ手順 ***4***

「利用者として認証されませんでした」と表示される

原因 ユーザー名やパスワードが違っている。

対処 [OK]ボタンをクリックして警告画面を閉じてください。
アルファベットの大文字や小文字に注意してユーザー名やパスワードを入力し、[接続]ボタンをクリックしてください。正しく入力してもこの画面が表示されるようなら、プロバイダにユーザー名やパスワードを確認してください。

「お使いのモデムが正しく応答しません」と表示される

原因 モデムが正しく接続されていない。

対処 [OK]ボタンをクリックして警告画面を閉じてください。
本製品の PC カードスロットに正しく挿入されているかどうかをご確認ください。
正しく挿入後、再度[接続]ボタンをクリックします。

サービス品（添付ソフト）について

本製品にはいろいろなサービス品のソフトウェアが添付されています。
ここではそれらの添付ソフトを目的別に紹介します。必要に応じてお使いください。

98 Windows 98 対応　95 Windows 95 対応　2000 Windows 2000 対応
NT 4.0 Windows NT 4.0 対応

注意！

以下および次ページの添付ソフトの使用方法については、弊社ではサポートしておりません。添付ソフトについてのお問い合わせは、【サービス品に関するお問い合わせ】(189 ページ) を参照してください。

●パソコンからダイレクトにFAX を送信した（携帯電話使用時のみ）

98　95(OSR2 以降)　2000　NT 4.0

まいと～くFAX 2001 Lite

FAX の送受信用ソフトウェア「まいと～く FAX 2001 Lite」※をご利用ください。「まいと～く FAX 2001 Lite」をインストールすれば、パソコン上で作成した文章やイラストを、プリントアウトせずに、簡単&ダイレクトに相手の FAX に送信できます。FAX 番号を登録しておけば、一斉送信もＯＫ。プリントアウトしないので、とてもきれいに送信できます。

※インストール方法、その他詳細は、「まいと～くFAX 2001 Lite」 CD-ROM 内のオンラインマニュアルおよびヘルプを参照してください。

注意！

1. **FAX の通信制御手順（モデムクラス）はclass1 ECM 有にチェックを付けて使用してください。**
2. **「まいと～くFAX 2001 Lite」のサポートは株式会社インターコムで行っております。詳細は「まいと～くFAX 2001 Lite」パッケージを参照してください。**
3. **「まいと～くFAX 2001 Lite」のサンプル原稿（Thanksv4.mfs）や画像が入った原稿など、階調を持つ原稿を送信すると、相手FAX によっては正常に送信できない場合があります。階調のあまり無い原稿の送信をおすすめします。**
4. **FAX 送信時は、相手FAX が自動切換タイプの場合、切換が出来ず、送信が失敗してしまう場合があります。FAX 専用モードで送信することをおすすめします。**

5．　パケット通信対応電話機（NTT ドコモの208/209/302 シリーズなど）で使用する場合は、以下の設定が必要です。

①「まいと～く FAX 2001 Lite」を起動し、[FAX のプロパティ] を開きます。
②[使用するモデム] 欄に[I-O DATA PCMA-9664P2] と表示されていることを確認し、[使用する回線] 欄で[デジタル携帯電話回線] を選択します。
③[モデムのプロパティ] ボタンをクリックします。
④[モデムコマンド] 欄で、末尾に「#CLS=1」と追加入力してください。
⑤[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

●通信料を気にせず、ホームページをゆっくり見たい

98　95　2000　NT 4.0

Getweb!

ホームページ自動ダウンロードソフト「Getweb!」をご利用ください。

「Getweb!」は、あらかじめＵＲＬを登録しておくことにより、自動的にそのホームページをダウンロードするソフトウェアです。ダウンロード後、電話回線を切ってから、ゆっくりホームページを見ることができ、データ通信料の節約になります。

※詳細は、サポートソフトCD-ROM 内の Getweb フォルダのReadme またはヘルプファイルを参照してください。

● 10 円メールを使いたい

98　95

10 円メールマスター

パソコンで 10 円メールが利用できるユーティリティ「10 円メールマスター」※をご利用ください。NTT ドコモのデジタル電話機を使用して、通話料金 10 円でメールの送受信が可能になります。詳細は、「10 円メールマスター」のヘルプ、または「お読み下さい」を参照してください。

※インストールは、サポートソフトCD-ROM 内の 10mail フォルダのSetup.exe を実行してください。

注意！

「10 円メールマスター」を利用するには、マスターネット（株式会社ゼロ）との契約が必要です。詳細は、「10 円メールマスター」のヘルプ、または「お読み下さい」を参照してください。

● Lotus NOTES で、モバイル通信をしたい　98　95
モデム設定ファイル

サポートソフトディスクに入っている Lotus NOTES 用のモデム設定ファイルをご利用ください。利用方法は次の通りです。

サポートソフトディスクに入っている「IOMDM9664.MDM」というファイルを、Lotus Notes がインストールされているフォルダの Notes\data\modems フォルダに、コピーします。

次に、Lotus NOTES を起動し、以下のような設定を行います。

1. 「ファイル」→「ツール」→「ユーザーリファレンス...」を選択します。
2. ［ポート］をクリックします。
3. 本製品が接続されているポート（例えばCOM3）を選択します。
4. 必要に応じて［ポートを有効にする】を選択してポートを使用可能にします。
5. ［ポートオプション］をクリックします。
   ポートは、接続されているポート名です。例えば、［COM3オプション］をクリックします。
6. モデムの種類を選択します。
7. 追加するモデム設定があれば追加します。特になければ省略しても結構です。
8. ［ＯＫ］をクリックします。
9. ［ＯＫ］をクリックして、［ユーザーリファレンス］画面を閉じます。

※Lotus NOTES の操作などについては、ロータス社にお問い合わせください。

追加設定が必要な場合

お使いの電話機や通信方式により追加設定が必要な場合があります。下記の表を参照いただき、追加設定が必要な場合は、設定方法のページを参照して設定を行ってください。

■追加設定の方法■

- Windows 98 の場合
  - ・AT コマンドによる設定：35 ページ参照
  - ・電話番号末尾による設定：45 ページまたは 49 ページ参照
- Windows 2000 の場合
  - ・AT コマンドによる設定：71 ページ参照
  - ・電話番号末尾による設定：86 ページまたは 90 ページ参照
- Windows CE の場合
  - ・AT コマンドによる設定：123 ページ参照
  - ・電話番号末尾による設定：124 ページ参照
- Macintosh の場合
  - ・電話番号末尾による設定：156 ページ参照
  - ・モデム（CCL ファイル）の選択による設定：135 ページまたは 143 ページ参照
  - ・AT コマンドによる設定：152 ページまたは 155 ページ参照

■追加設定が必要なケース（AT コマンド/ 電話番号末尾による設定）■

「AT コマンド」と「電話番号末尾」の両方に設定内容が書いてある場合はどちらかの方法で設定してください。（両方行う必要はありません。）

「×」は、電話番号末尾への付加による設定はできないことを示します。

ケース	AT コマンド	電話番号末尾
NTT ドコモの 208・209・302 シリーズで PDC 通信（データ通信）をする	AT#CLS=1	J
パケット通信対応機で PDC 通信（データ通信）をする	AT#CLS=1	J

ケース	AT コマンド	電話番号末尾
PHS の PIAFS 64K 対応機で、32K のみ対応のアクセスポイントに接続する（32K に固定）	ATS141=0	#32
PHS でフォールバックする場合（64K→32K）	ATS142=1	×
H"またはα-DATA32 の PIAFS 64K 対応機で、32K のみ対応のアクセスポイントに接続する（32K 固定）	ATS141=0	##3
ドッチーモなどの複合機で PHS 通信をする（フォールバック※なしの場合）	AT#CLS=3	×
ドッチーモなどの複合機で PHS 通信をする（フォールバックありの場合）	AT#CLS=3S142=1	×

※「フォールバック」：通信状況などにより、指定した速度で通信できない場合、自動的に速度を落として通信する機能をいいます。フォールバックしない場合、指定速度で通信ができない場合は、通信不可となります。

■追加設定が必要なケース（モデムの選択による設定）■

Macintosh の[モデム]画面で、使い方に応じたモデムを選択してください。

ケース	モデム（CCL ファイル）
NTT ドコモの 208・209・302 シリーズで PDC（データ）通信をする	I-O DATA PCMA-9664P2(PDC)
64K 対応の PHS でフォールバックする	I-O DATA PCMA-9664P2(PHS64K32K)
ドッチーモなどの複合機で PHS 通信をする（フォールバックなしの場合）	I-O DATA PCMA-9664P2(PHS64K)
ドッチーモなどの複合機で PHS 通信をする（フォールバックありの場合）	I-O DATA PCMA-9664P2(PHS64K32K)

参考

入力するＡＴ コマンドの意味や詳細は、サポートソフトCD-ROM のmanual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。

ハードウェア仕様

■ PDC方式接続時(データモード)

通信回線	1回線
適用回線	デジタル携帯電話/ 自動車電話回線
制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	16芯プラグ
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	携帯電話通信：最高9600bps パケット通信：最高28800bps
通信規格	RCR STD-27F準拠

■ PDC方式接続時(FAXモード)

通信方式	半二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	最高9600bps
通信規格	RCR STD-27F準拠
通信制御手順	G3/EIA class 1、class 2

■ cdmaOne方式接続時

通信回線	1回線
適用回線	cdmaOne携帯電話回線
制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	18芯プラグ
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	携帯電話通信：最高14400bps パケット通信：最高64000bps
通信規格	ARIB STD-T53、IS-707、IS-99準拠

■ H"&α-DATA32対応電話機(DDIポケット)接続時

通信回線	1回線
適用回線	PHS電話回線
制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	12芯プラグ
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	PIAFS 2.1：最高64000bps（実効速度58400bps） PIAFS 1.0：最高32000bps（実効速度29200bps）
通信規格	PIAFS 1.0/2.1,RCR STD-28準拠

■ PHS(NTTドコモ、アステル)接続時

通信回線	1回線
適用回線	PHS電話回線
制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	16芯プラグ
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	PIAFS 2.0：最高64000bps（実効速度58400bps） PIAFS 1.0：最高32000bps（実効速度29200bps）
通信規格	PIAFS 1.0/2.0,RCR STD-28準拠

■ 一般仕様

端末インターフェイス	PCカード規格準拠
電源電圧	5.0V（+5V±5%）
消費電流	50mA(typ※)
使用温度湿度範囲	温度：0～40℃（パソコンの動作温度範囲であること） 湿度：35～90%（ただし、結露なきこと）
使用可能な 割り込み番号	IRQ 2,3,4,5,7,9,10,15
ケーブル長	約50cm
質量	約30g（接続ケーブルを除く）

※Typical：使用中の標準的な数値

用語解説

PDC（ピーディーシー） *(Personal Digital Cellular)*

デジタル電話機に関する日本国内の通信方式。TDMA方式という時分割多重接続を採用しています。これに対し、cdmaOneではCDMA方式という符合分割多重接続を採用しています。

PIAFS（ピアフ） *(PHS Internet Access Forum Standard)*

PHSやH"などの端末を使ったデジタルデータ通信規格。PIAFSプロトコルという専用のプロトコルを使い、接続先がPIAFS対応の場合はわずか１秒程度で認識が完了します。
32KbpsでPIAFS1.0と、64KbpsでPIAFS2.0（H"端末の場合はPIAFS2.1）の２つの規格があります。

bps（ビーピーエス） *(Bit per Second)*

データ通信速度の単位。１秒間に送受信できるビット数を表わします。
例）9600bps は１秒間に 9600bit の情報（データ）を送受信。

COM ポート（コムポート）

Windows ではシリアルインターフェイスを COM ポートと呼びます。

ITU-T（アイティーユー・ティー）

ITU（国際通信連合）の付属機関である国際電信電話諮問委員会(旧 CCITT)を指します。国際通信に関する審議と勧告を行います。

PPP（ピーピーピー） *(Point-to-Point Protocol)*

同期および非同期式のポイント・ツー・ポイント・シリアルリンク回線方式に関するパケット通信規約。不特定多数の人が、たまにしか利用しない場合に、IP アドレスを一義的に割り当てるのは不経済なため、PPP では利用時に一時的に割り当てる方式をとります。ダイヤルアップネットワークのための IP 接続用の通信規約で、ファイルやデータの転送が可能です。

TCP/IP（ティーシーピーアイピー） *(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)*

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル（＝通信規約）一式。主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含みます。インターネットでは一般的に使われています。

パケット通信

データを一定のブロックに分け、まとめて送る通信方式。一定の長さに分けたデータブロックをパケットと呼びます。宛先や信号順位など（タブデータ）をパケットに付けて、空き回線を見つけて断続的に送ります。常時回線を繋いだままの一般通信に比べ、通信費用が安くなる。パケット通信を使うには、別途契約が必要です。

フォールバック

通信状況などにより、指定した速度で通信ができない場合、自動的に速度を落として通信する機能。フォールバックしない場合、指定速度で通信ができない場合は、通信不可になります。

プロトコル

通信規約。コンピュータ同士が相互で通信を行うための様々な取り決めです（通信速度や通信方式、エラーチェックの方法、データの形式など）。

プロバイダ（インターネットサービスプロバイダ、ISP）

一般的に言うプロバイダとは、インターネットへの接続サービスを行っている接続業者のことです。正式にはインターネットサービスプロバイダ（ISP）と言います。インターネットを利用するためには、利用者もしくは所属する組織が各種学術研究ネットワークに加入するか、ISPと呼ばれる接続業者に加入する必要があります。

PLANT コールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット **http://www.iodata.co.jp/support/**
「PLANT コールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E_Mail をお送りください。

@nifty **ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ (SIODATA) サポート会議室**

■郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「PCMA-9664P2」係宛

■電話

電話番号 **金沢** **076-260-3644**
東京 **03-3254-1144**
受付時間 **9:30〜19:00 月〜金曜日 (祝祭日を除く)**

■FAX

FAX 番号 **金沢** **076-260-3360**
東京 **03-3254-9055**
宛先 **株式会社アイ・オー・データ機器**
PLANT コールセンター「PCMA-9664P2」係 宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サービス品に関するお問い合わせ

サービス品（添付ソフト）に関しては、以下へお問い合わせください。
※サービス品に付き、弊社ではサポート致しておりません。

「まいと～く FAX 2001 Lite」に関するお問い合わせ

住所　〒110-8654　東京都台東区北上野　1－10－14
住友上野ビル5号館2階
株式会社インターコム
『まいと～く』サポート係　宛

電話番号　03-3842-6017　（サポート専用）

FAX 番号　03-3842-6012

E-mail　myfax@intercom.co.jp

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）

「Getweb!」に関するお問い合わせ

住所　〒171-0021　東京都豊島区西池袋　3－30－3
西池本田ビル8F
株式会社ウェブテクノロジ　ユーザーサポート係　宛

FAX 番号　03-5954-9755

インターネット　http://www.webtech.co.jp/
E-mail　getweb@webtech.co.jp

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポートライブラリ」
@nifty　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ（SIODATA）　ライブラリ 9（LIB 9）

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「PCMA-9664P2」 サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社 PLANT コールセンターやサービス窓口ではお受けできません。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータにつきましては、故障症状確認の際にすべて消去されます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「PCMA-9664P2」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口	**「PCMA-9664P2」　サービス窓口**
電話番号	**金沢　076-260-3663**
受付時間	**9:30～12:00　13:00～17:00** **月～金曜日（祝祭日を除く）**

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。